

江別市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査報告書

平成31年3月
江別市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の種類と実施方法	1
3. 配布と回収状況	1
4. 調査結果の見方	2
II 就学前調査	3
1. お子さんご家族の状況について	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	5
3. 保護者の就労状況について	11
4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について	18
5. 地域の子育て支援事業の利用について	23
6. 土日等の休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について	26
7. お子さんの病気の際の対応について	29
8. 一時預かり等の不特定の教育・保育事業の利用について	33
9. 就学後における放課後の過ごし方について	37
10. 育児休業等の職場の両立支援制度について	40
11. 幼児教育・保育の無償化について	45
12. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて	48
III 小学生調査	56
1. お子さんご家族の状況について	56
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	58
3. 保護者の就労状況について	63
4. 放課後の過ごし方について	70
5. お子さんの病気の際の対応について	73
6. 一時預かり等の利用について	76
7. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて	77
IV 資料編	85

I 調査の概要

1. 調査の目的

現行の江別市子ども・子育て支援事業計画が2019年度で終了となることから、第2期江別市子ども・子育て支援事業計画(2020年～24年度)策定の基礎資料とするために実施したものです。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査の対象(母集団)	実施方法
就学前子どもアンケート	市内の就学前(0～5歳) 5,173人の保護者	無作為集出 1,500人 郵送による配布・回収
小学生アンケート	市内の就学児童(小学1～6年生) 5,724人の保護者	無作為抽出 1,500人 郵送による配布・回収

【基準日】平成30年11月 1日

【調査期間】平成30年11月30日～12月21日(12月28日回収分まで受付)

3. 配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は次のとおりです。

	配布数(件)	回収数(件)	回収率(%)
就学前子どもアンケート	1,500	946	63.1
小学生アンケート	1,500	892	59.5

4. 調査結果の見方

設問ごとにその設問内容を示すタイトルをつけています。

タイトルの横には、次のデータを掲載しています。

- ・ 限定設問である場合の回答対象者
- ・ 質問形態（SA=単数回答、MA=複数回答、FA=文字記述、NA=数量回答）

SA=単数回答：「1つに○」等、選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA=複数回答：「あてはまるものすべてに○」等、選択肢を2つ以上選ぶ質問形態

FA=文字記述回答

NA=数量回答：日数や時間、回数などの数値を記入してもらう質問形態

- ・ 集計結果のグラフ・表における「無回答」は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（単数回答設問における複数回答等）の件数を示しています。
- ・ 数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ・ 集計は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ・ グラフ上で表している数値については、表現の都合により2.0%未満を掲載していない場合があります。
- ・ お子さんの年齢を示す設問については、
「平成24年4月2日～平成25年4月1日」は「6歳」、
「平成25年4月2日～平成26年4月1日」は「5歳」、
「平成26年4月2日～平成27年4月1日」は「4歳」、
「平成27年4月2日～平成28年4月1日」は「3歳」、
「平成28年4月2日～平成29年4月1日」は「2歳」、
「平成29年4月2日～平成30年4月1日」は「1歳」、
「平成30年4月2日～」は「0歳」と表現しています。

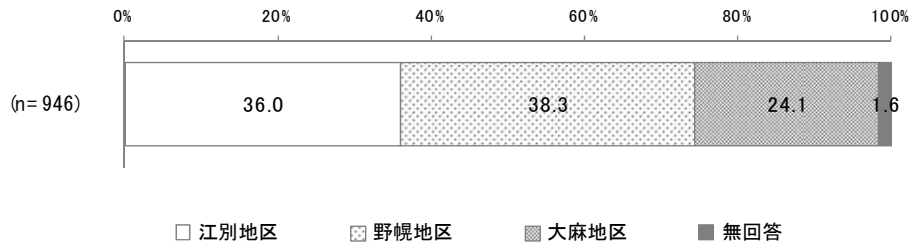
II 就学前調査

1. お子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地域 (FA)

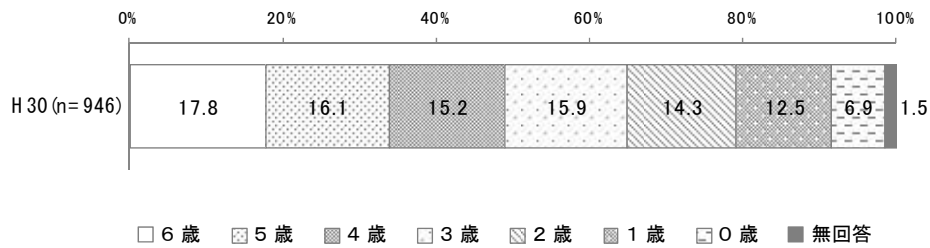
「江別地区」が36.0%、「野幌地区」が38.3%、「大麻地区」が24.1%となっています。

図表1 お住まいの地域



問2 お子さんの生年月 (SA)

図表2 お子さんの生年月

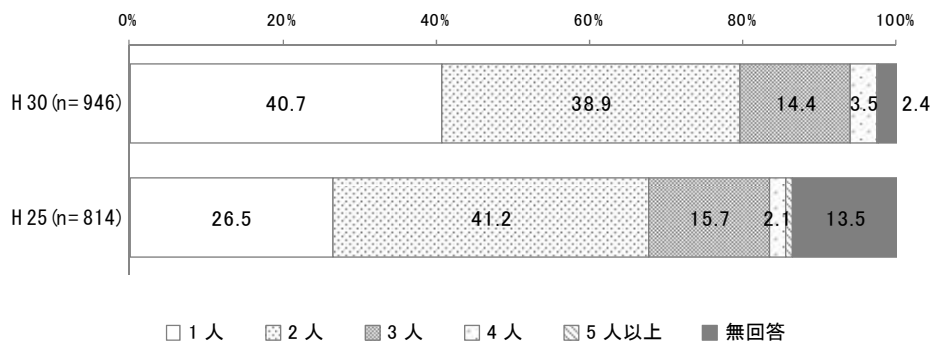


問3 お子さんの人数と末子の生年月 (SA)

「1人」が40.7%で最も多く、次いで「2人」が38.9%となっています。

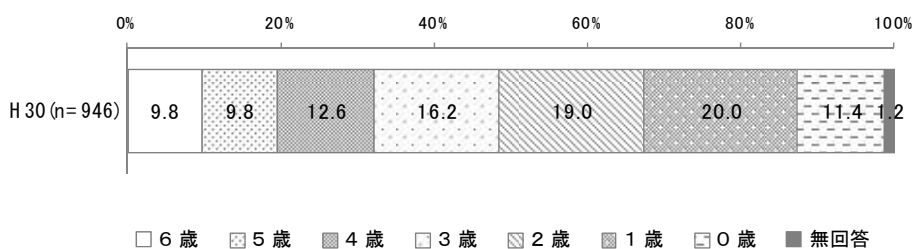
前回調査 (H25) と比べると、「1人」が14.2ポイント増加しています。

図表3 お子さんの人数



「1歳」が20.0%、「2歳」が19.0%、「3歳」が16.2%となっています。

図表4 末子の生年月日

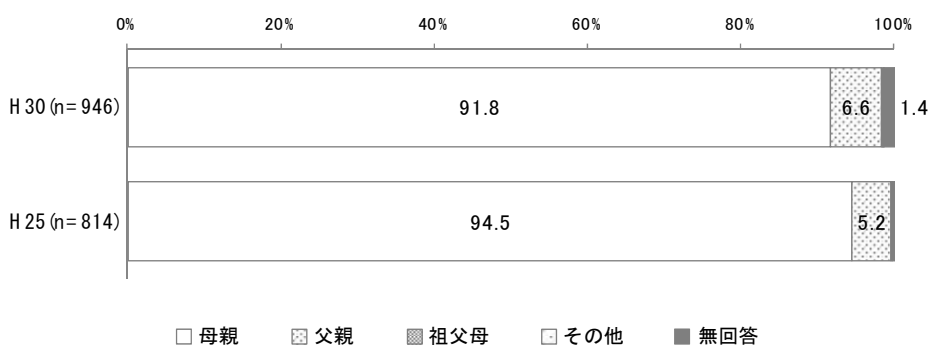


問4 回答者 (SA)

「母親」が91.8%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表5 回答者

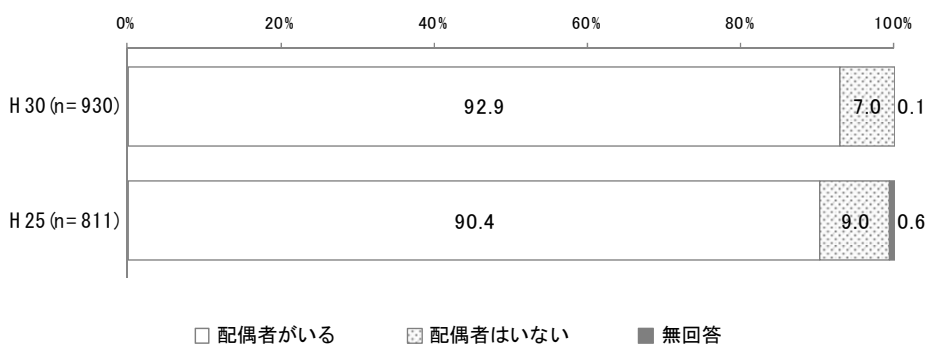


問5 回答者の配偶関係 (SA)

「配偶者がいる」が92.9%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

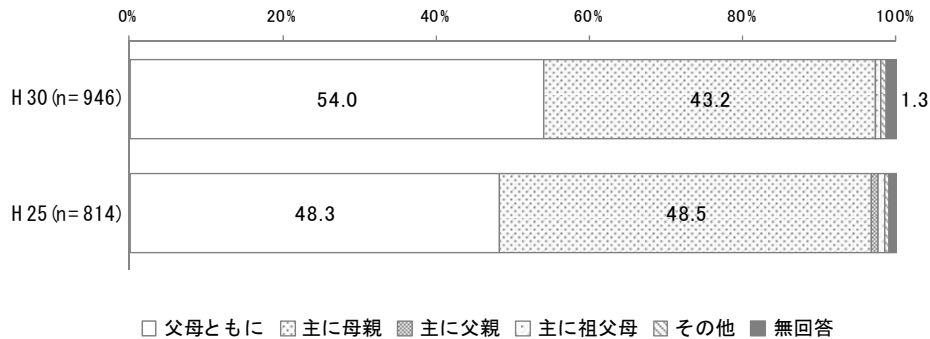
図表6 回答者の配偶関係



問6 子育てを主に行っている人 (SA)

「父母ともに」が54.0%と最も多く、次いで「主に母親」が43.2%となっています。
 前回調査（H25）と比べると、「父母ともに」が5.7ポイント増加しています。

図表7 子育てを主に行っている人



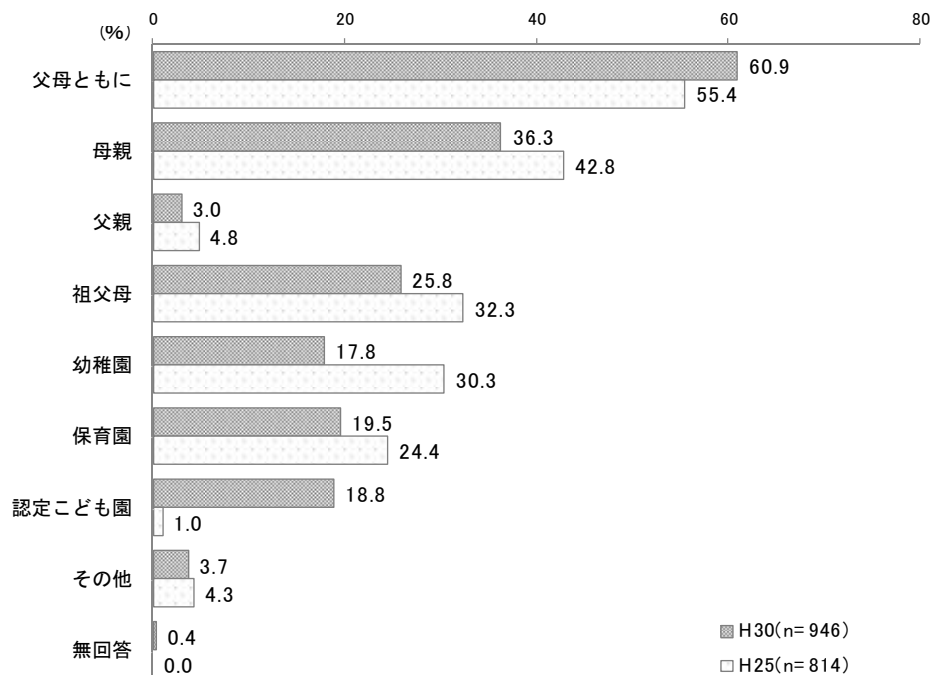
2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 子育てに日常的にかかわっている人 (MA)

「父母ともに」が60.9%で最も多く、次いで「母親」が36.3%、「祖父母」が25.8%となっています。
 前回調査（H25）と比べると、「父母ともに」が5.5ポイント増加し、「祖父母」が6.5ポイント減少しています。

「幼稚園」「認可保育園」「認定こども園」の合計は、前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表8 子育てに日常的にかかわっている人

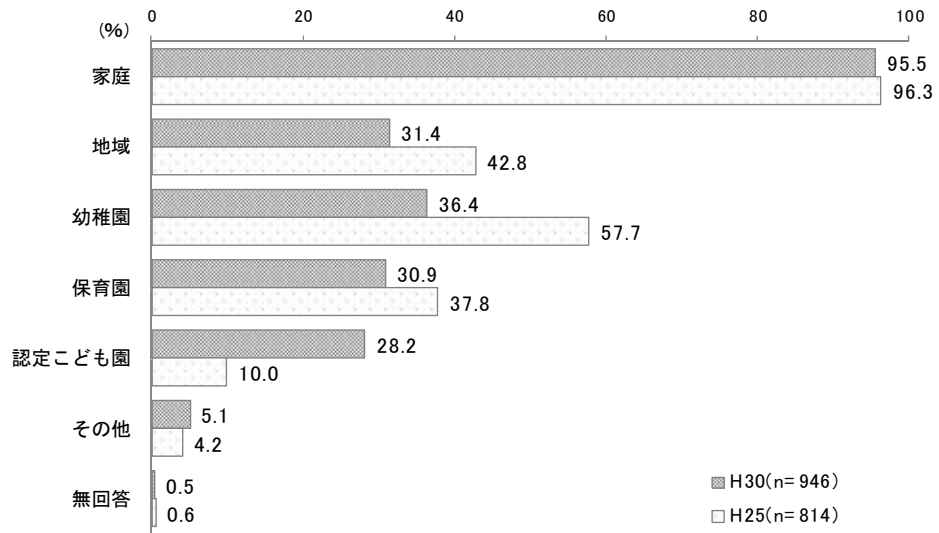


問8 子育てに影響すると思う環境 (MA)

「家庭」が95.5%と最も多く、次いで「幼稚園」が36.4%、「地域」が31.4%となっています。前回調査（H25）と比べると、「地域」が11.4ポイント減少しています。

「幼稚園」「認可保育園」「認定こども園」の合計は、前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表9 子育てに影響すると思う環境

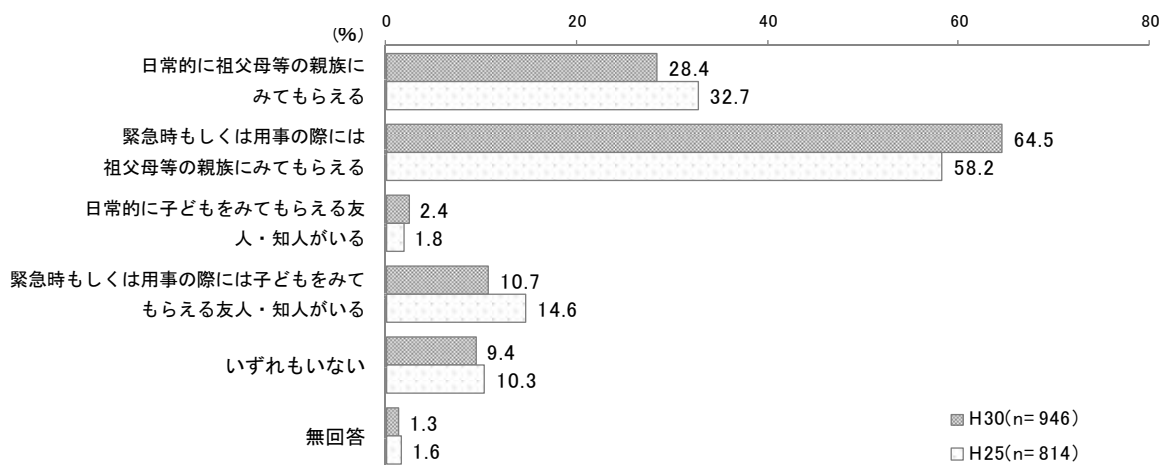


問9 お子さんをみてもらえる親族・知人 (MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が64.5%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.4%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が4.3ポイント減少しています。

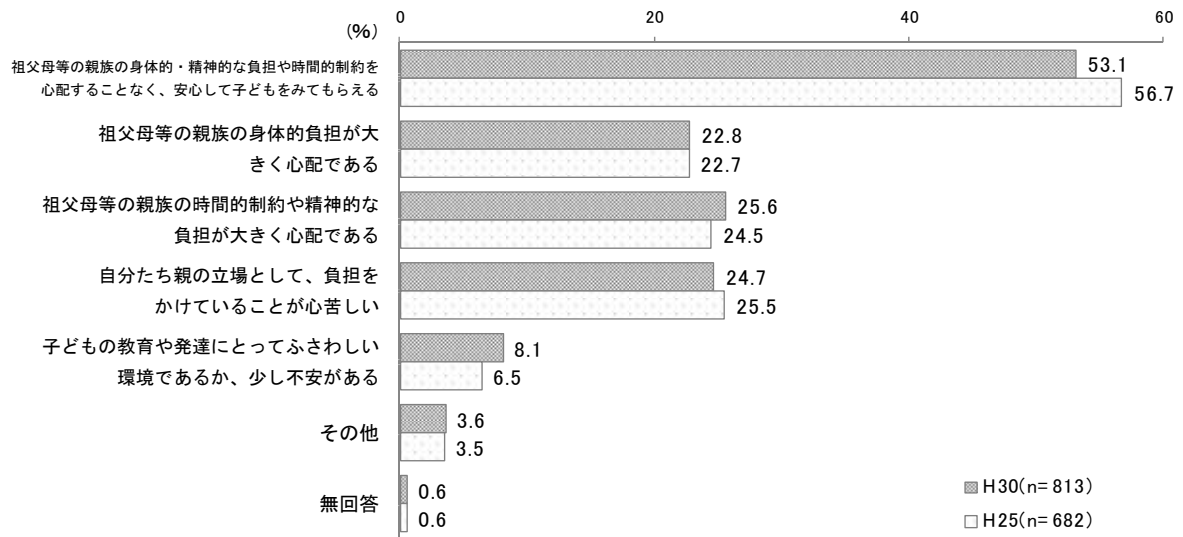
図表10 お子さんをみてもらえる親族・知人



問9-1 祖父母等の親族にみてもらう状況 (MA)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が53.1%と最も多くなっていますが、前回調査 (H25) と比べると3.6ポイント減少しています。

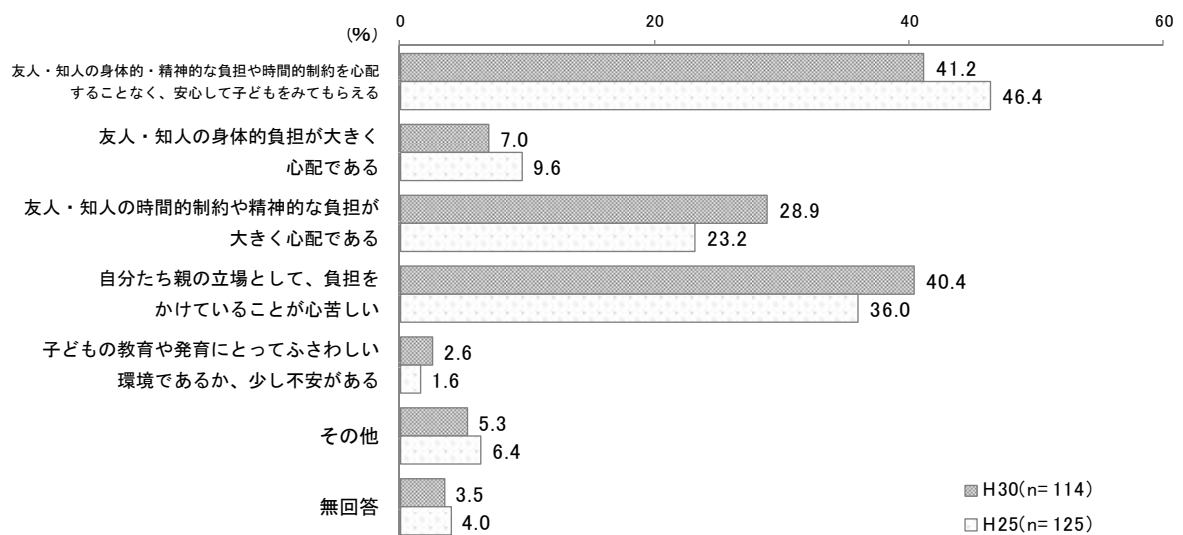
図表 11 祖父母等の親族にみてもらう状況



問9-2 友人・知人にみてもらう状況 (MA)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が41.2%と最も多くなっていますが、前回調査 (H25) と比べると5.2ポイント減少しています。

図表 12 友人・知人にみてもらう状況

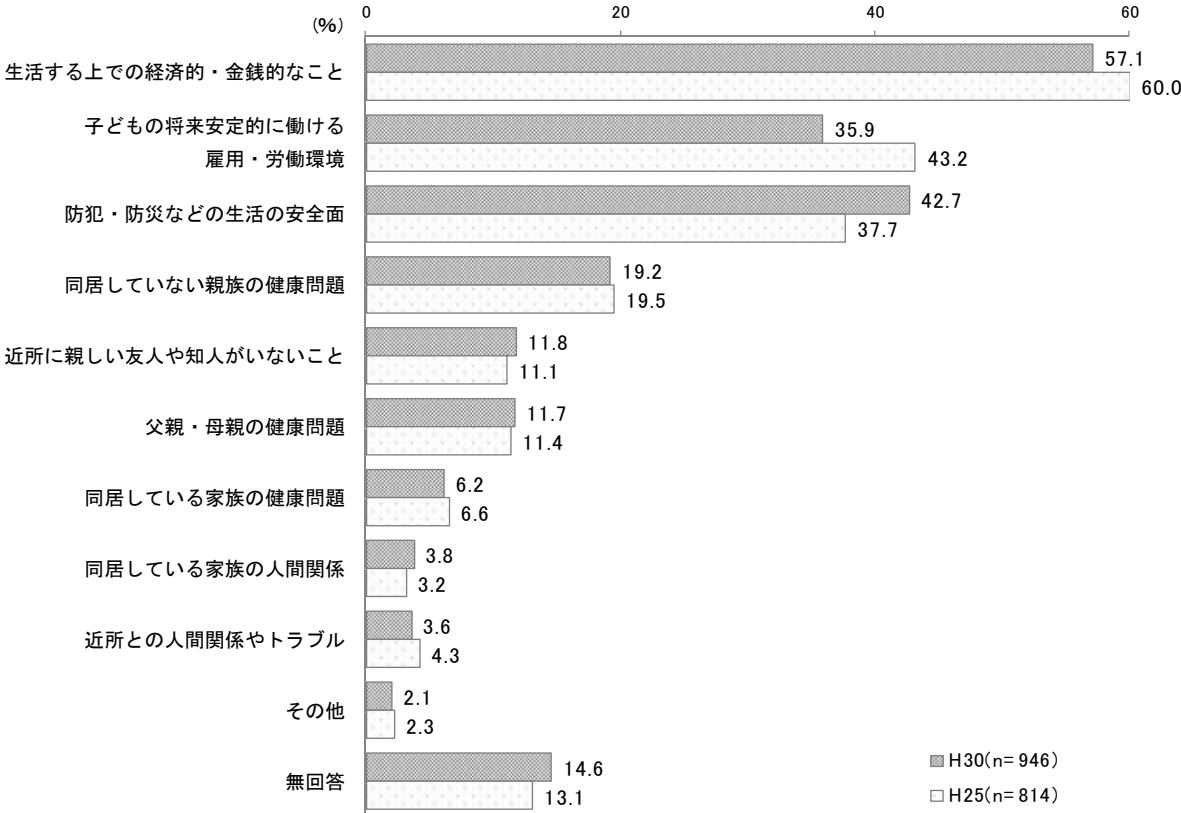


問 10 (1) 家庭で気になっていること 生活全般 (MA)

「生活する上での経済的・金銭的なこと」が 57.1%で最も多く、次いで「防犯・防災などの生活の安全面」が 42.7%、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が 35.9%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が 7.3 ポイント減少し、「防犯・防災などの生活の安全面」が 5.0 ポイント増加しています。

図表 13 家庭で気になっていること 生活全般

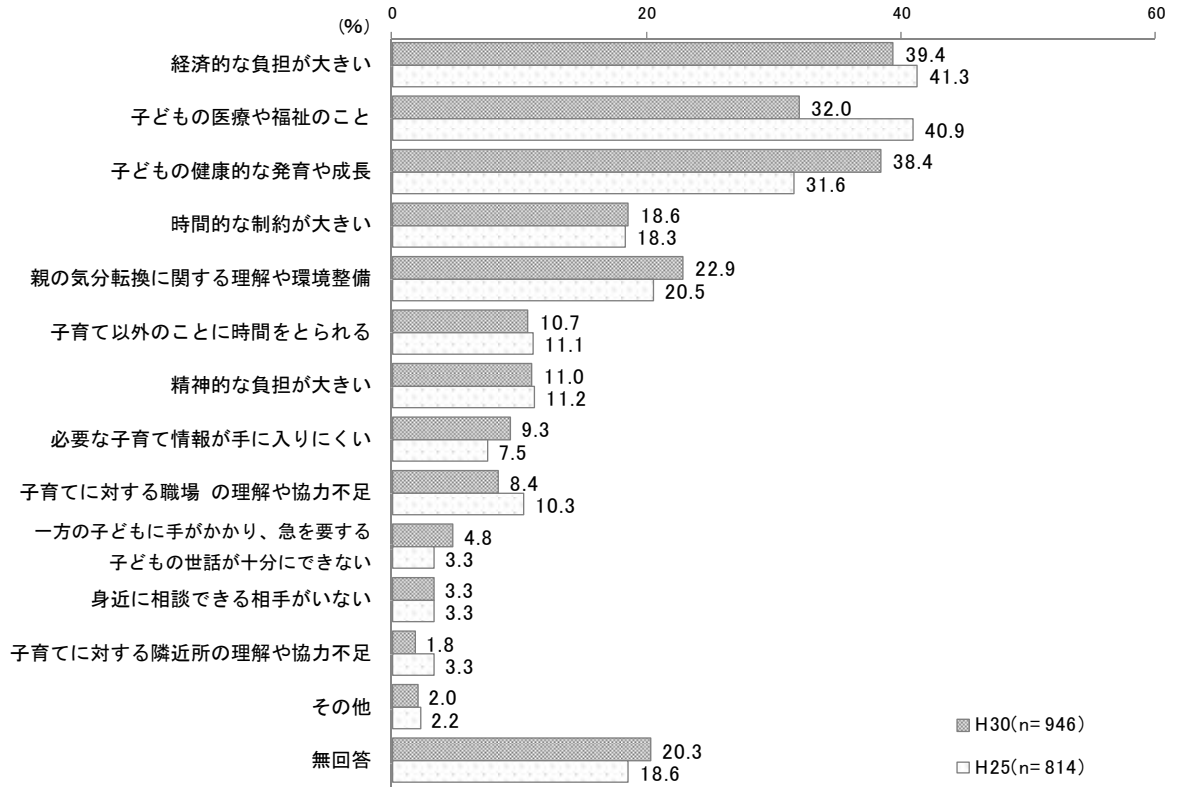


問 10 (2) 家庭で気になっていること 子育て (MA)

「経済的な負担が大きい」が 39.4%で最も多く、次いで「子どもの健康的な発育や成長」が 38.4%、「子どもの医療や福祉のこと」が 32.0%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「子どもの医療や福祉のこと」が 8.9 ポイント減少し、「子どもの健康的な発育や成長」が 6.8 ポイント増加しています。

図表 14 家庭で気になっていること 子育て

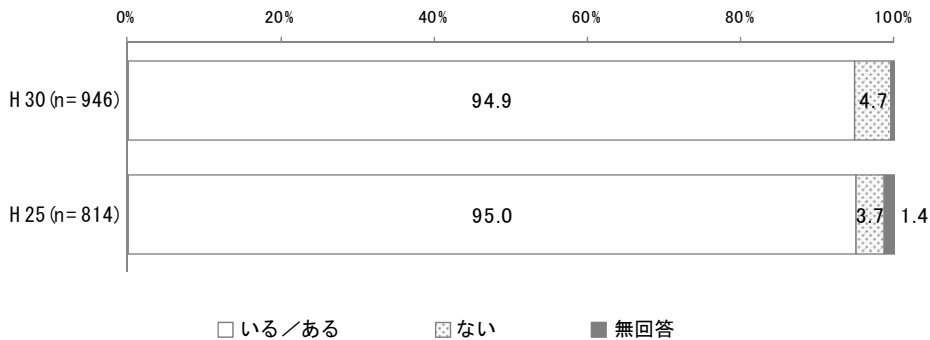


問 11 相談相手や場所の有無 (SA)

「いる／ある」が 94.9%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 15 相談相手や場所の有無

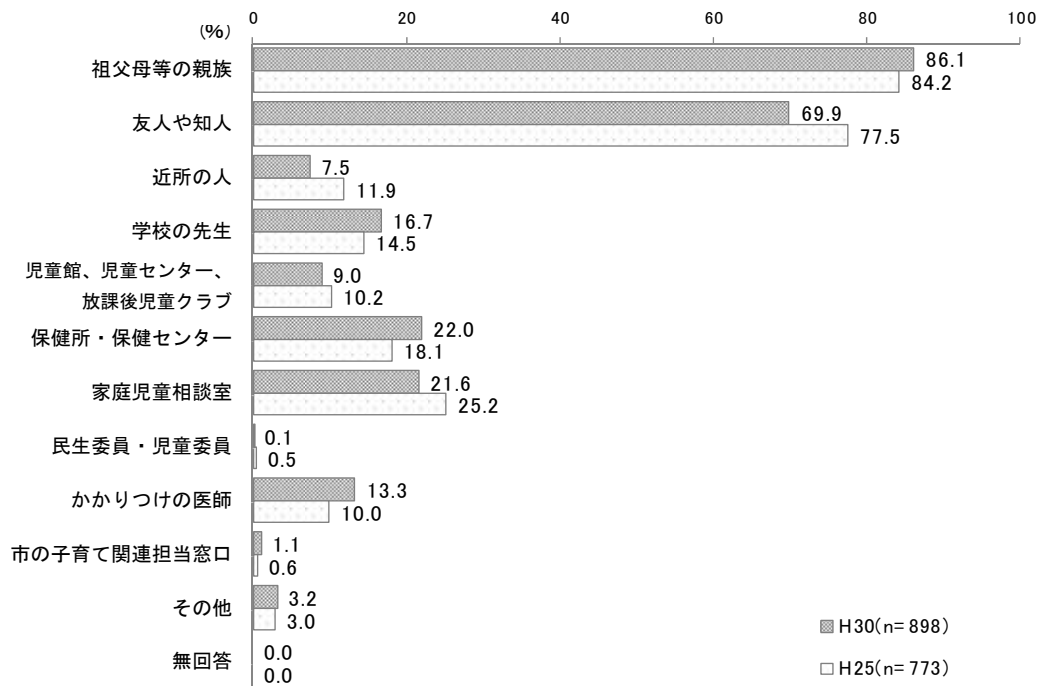


		問11 相談できる人・相談できる場所の有無			
		合計	いる／ある	ない	無回答
全体		946	898	44	4
		100.0	94.9	4.7	0.4
問5 配偶関係	配偶者がいる	864	822	38	4
		100.0	95.1	4.4	0.5
	配偶者がいない	65	59	6	-
		100.0	90.8	9.2	-
問9 お子さんを みてもらえる親 族・知人	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	269	260	8	1
		100.0	96.7	3.0	0.4
	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	610	586	24	-
		100.0	96.1	3.9	-
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	23	22	-	1
		100.0	95.7	-	4.3
	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	101	101	-	-
		100.0	100.0	-	-
	いずれもない	89	75	14	-
		100.0	84.3	15.7	-

問 11-1 相談先 (MA)

「祖父母等の親族」が86.1%と最も多く、次いで「友人や知人」が69.9%となっています。前回調査（H25）と比べると、「友人や知人」が7.6ポイント減少しています。

図表 16 相談先



問 12 周囲からあればよいと思うサポート (FA)

周囲からあればよいと思うサポートについて、280 人が回答しています。
 主な意見内容等は、以下のとおりです。

○生活環境・遊び場
子どもが遊べる場所が欲しい。 児童館や放課後児童クラブを充実して欲しい。
○地域における支援
子育てママや異年齢児の交流会を開いて欲しい。 自治会や子ども向けのイベントを開いて欲しい。 母親がリフレッシュできる場所を提供して欲しい。
○保育サービス
【一時預かり保育】 利用料金を安価にして欲しい。 小学生でも利用できるようにして欲しい。
【保育園】 JR駅の近くに作って欲しい。 夕飯を食べさせて欲しい。 保育時間をもっと延長して欲しい。
【病児保育】 保育園に併設して欲しい。 市営にして欲しい。
○情報提供
幼稚園・保育園・小学校・習い事の情報が必要。
○交通
公共交通を充実して欲しい。 子育て世代のタクシーチケットを交付して欲しい。
○健康・医療
市立病院小児科を土曜日に開いて欲しい。 医療費の助成を拡大して欲しい。 予防接種を無料化にして欲しい。 児童精神科を市内に作って欲しい。
○相談体制
気軽に相談できる場所が欲しい。 発達相談や訪問相談を充実して欲しい。
○経済的支援
オムツ代の支援をして欲しい。 ごみ袋の補助をして欲しい。 児童手当を増額して欲しい。 高校や大学費用を無償化して欲しい。
○仕事と子育ての両立支援
小さな子がいても働ける場を提供して欲しい。
○その他
子育てに対する男性の意識を改革して欲しい。

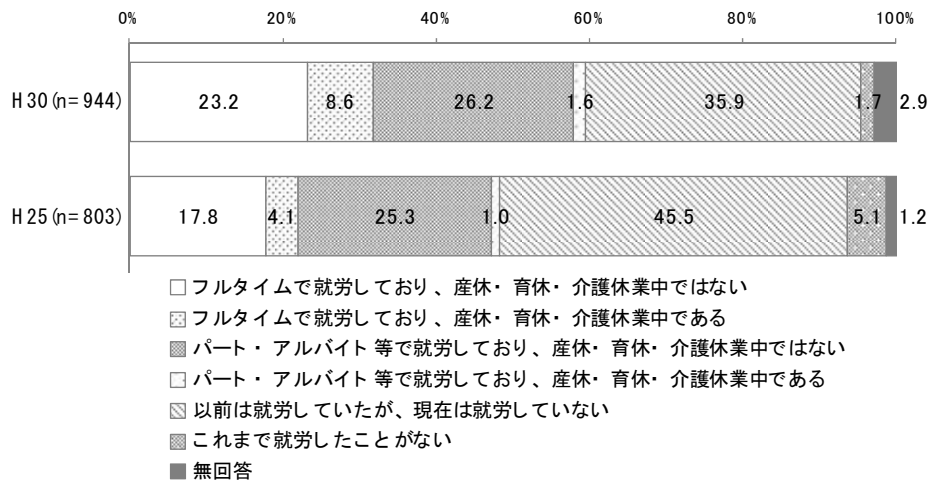
3. 保護者の就労状況について

問 13 母親の就労状況 (SA)

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 35.9%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 26.2%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 23.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 9.6 ポイント減少し、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 5.4 ポイント増加しています。

図表 17 母親の就労状況

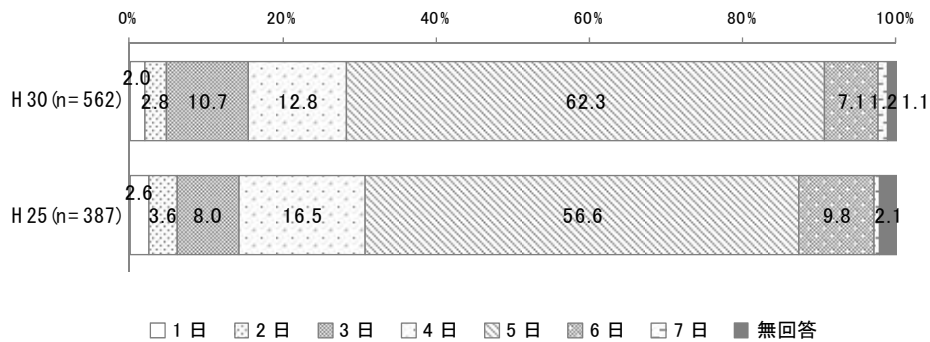


		問13 母親の就労状況							
		合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		944	219	81	247	15	339	16	27
		100.0	23.2	8.6	26.2	1.6	35.9	1.7	2.9
問2 お子さんの生年月日	6歳	167	44	1	58	-	53	1	10
		100.0	26.3	0.6	34.7	-	31.7	0.6	6.0
	5歳	152	46	-	57	1	41	4	3
		100.0	30.3	-	37.5	0.7	27.0	2.6	2.0
	4歳	144	33	4	44	-	57	3	3
		100.0	22.9	2.8	30.6	-	39.6	2.1	2.1
	3歳	150	41	12	35	2	55	2	3
		100.0	27.3	8.0	23.3	1.3	36.7	1.3	2.0
2歳	135	41	11	32	2	44	3	2	
	100.0	30.4	8.1	23.7	1.5	32.6	2.2	1.5	
1歳	117	10	26	15	3	54	3	6	
	100.0	8.5	22.2	12.8	2.6	46.2	2.6	5.1	
0歳	65	1	26	3	6	29	0	0	
	100.0	1.5	40.0	4.6	9.2	44.6	0.0	0.0	

問 13-1 母親の平均就労日数と平均就労時間 (NA)

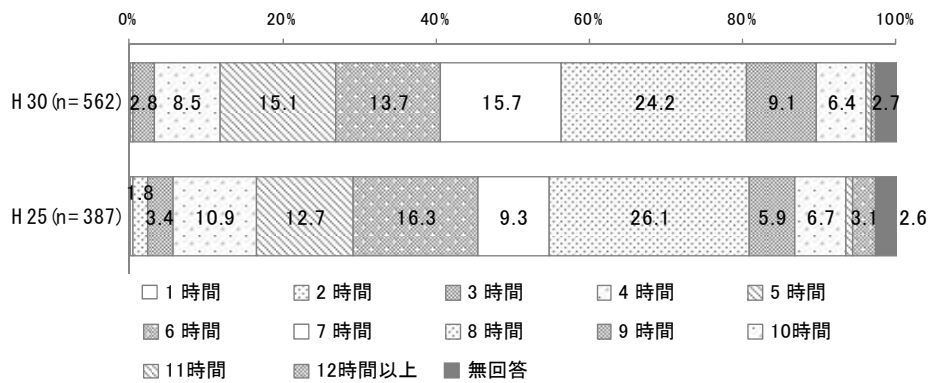
「5日」が62.3%と最も多くなっており、前回調査（H25）と比べると5.7ポイント増加しています。

図表 18 母親の平均就労日数



「8時間」が24.2%と最も多く、次いで「7時間」が15.7%、「5時間」が15.1%となっています。前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

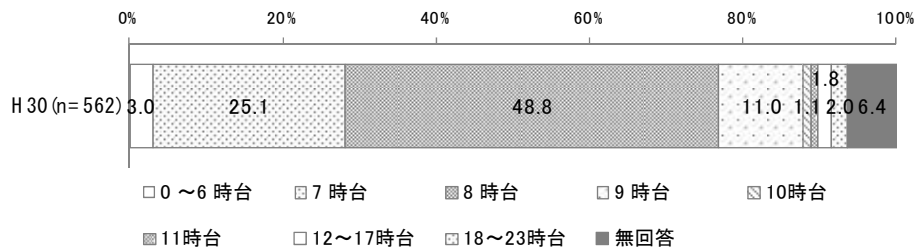
図表 19 母親の平均就労時間



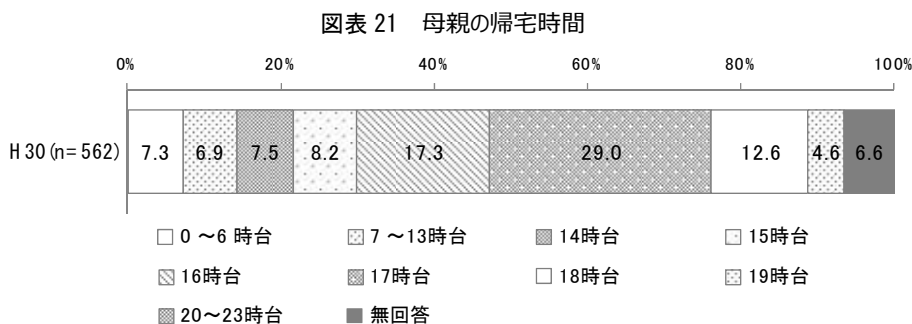
問 13-2 母親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

「8時台」が48.8%と最も多く、次いで「7時台」が25.1%、「9時台」が11.0%となっています。

図表 20 母親の家を出る時間



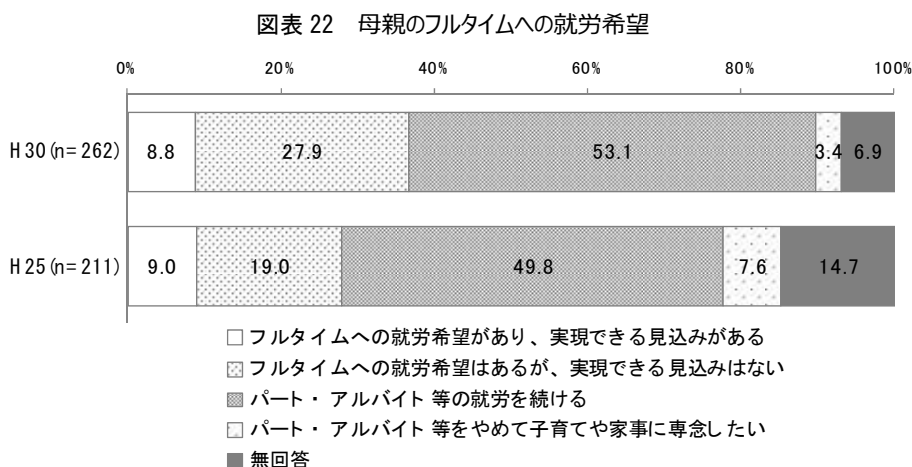
「17 時台」が 29.0%と最も多く、次いで「16 時台」が 17.3%、「18 時台」が 12.6%となっています。



問 13-3 母親のフルタイムへの就労希望 (SA)

「パート・アルバイト等の就労を続ける」が 53.1%と最も多くなっています。

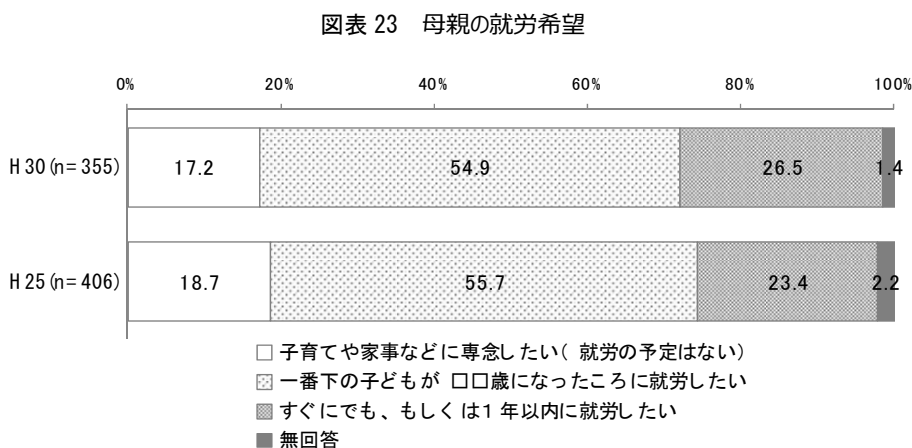
前回調査 (H25) と比べると、「フルタイムへの就労希望はあるが、実現できる見込みはない」が 8.9ポイント増加しています。



問 13-4 母親の就労希望 (SA)

「一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい」が 54.9%と最も多くなっています。

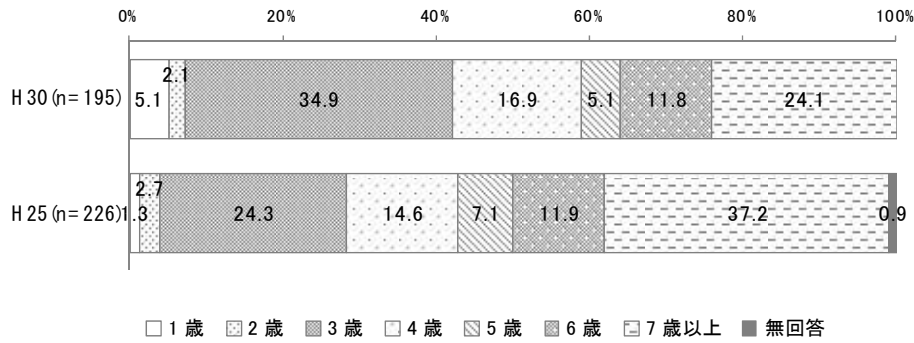
前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。



「一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい」と回答した方の□□歳の年齢は、「3歳」が34.9%と最も多く、次いで「7歳以上」が24.1%、「4歳」が16.9%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「3歳」が10.6ポイント増加し、「7歳以上」が13.1ポイント減少しています。

図表 24 □□歳になったころ

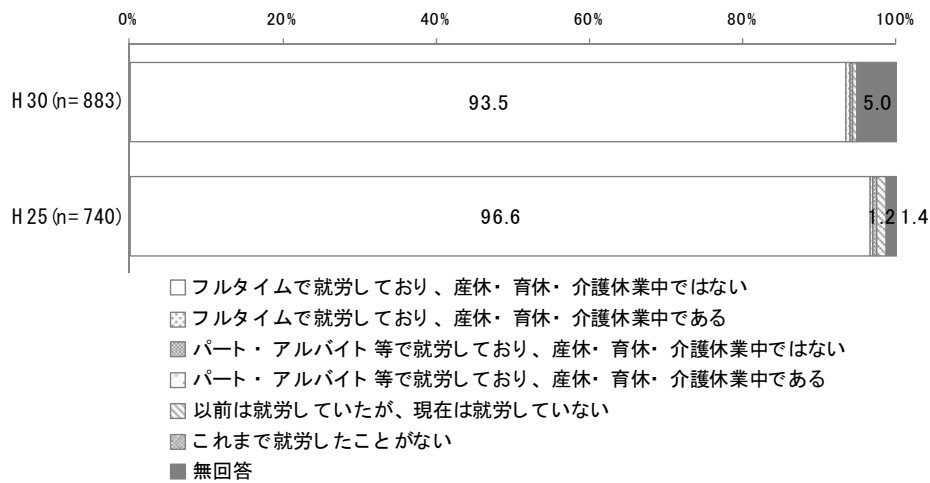


問 14 父親の就労状況 (SA)

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.5%と最も多くなっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表 25 父親の就労状況

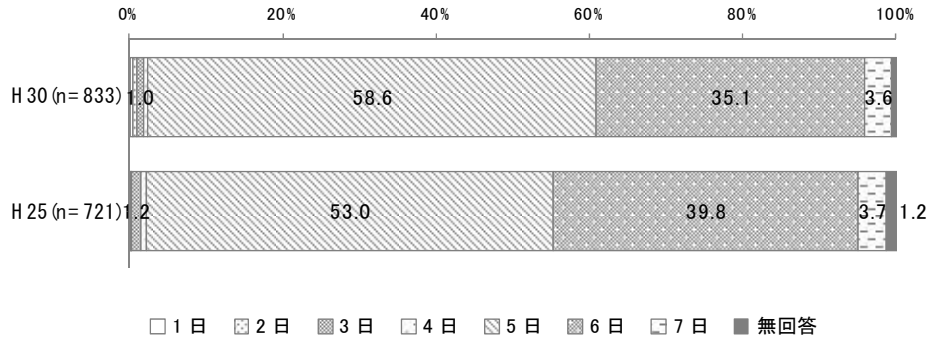


問 14-1 父親の平均就労日数と平均就労時間 (NA)

「5日」が58.6%、「6日」が35.1%となっています。

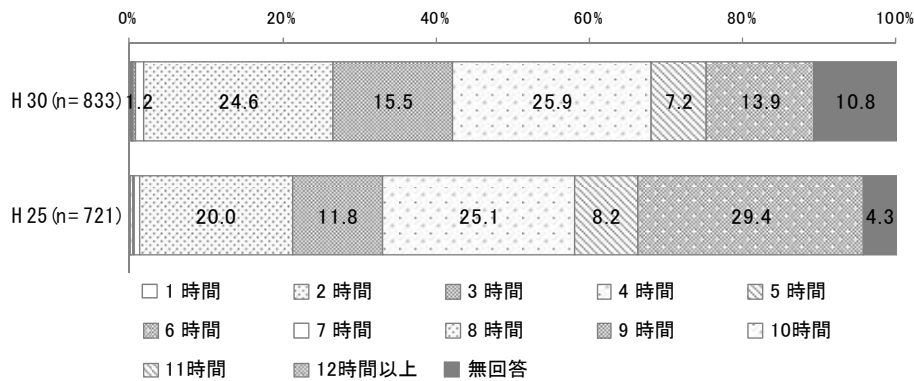
前回調査 (H25) と比べると、「5日」が5.6ポイント増加しています。

図表 26 父親の平均就労日数



「10時間」が25.9%と最も多く、次いで「8時間」が24.6%、「9時間」が15.5%となっています。
 前回調査 (H25) と比べると、「12時間以上」が15.5ポイント減少しています。

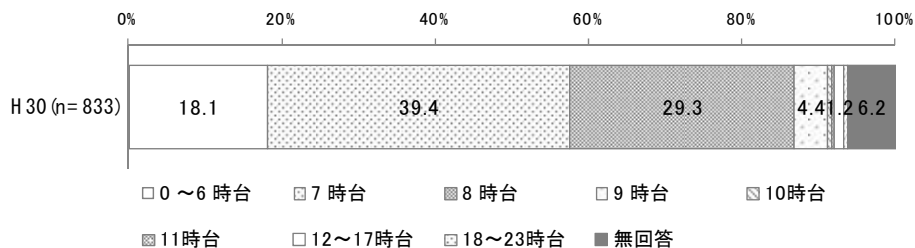
図表 27 父親の平均就労時間



問 14-2 父親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

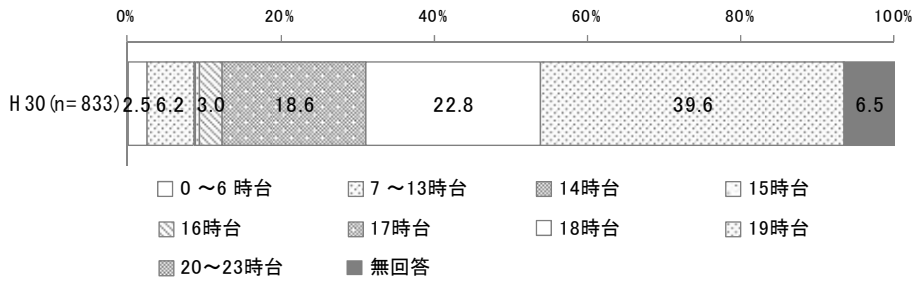
「7時台」が39.4%と最も多く、次いで「8時台」が29.3%、「0~6時台」が18.1%となっています。

図表 28 父親の家を出る時間



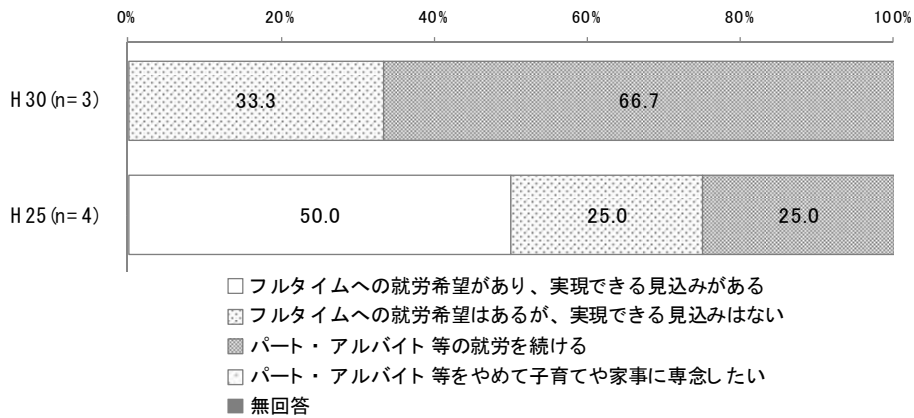
「19 時台」が 39.6%と最も多く、次いで、「18 時台」が 22.8%、「17 時台」が 18.6%となっています。

図表 29 父親の帰宅時間



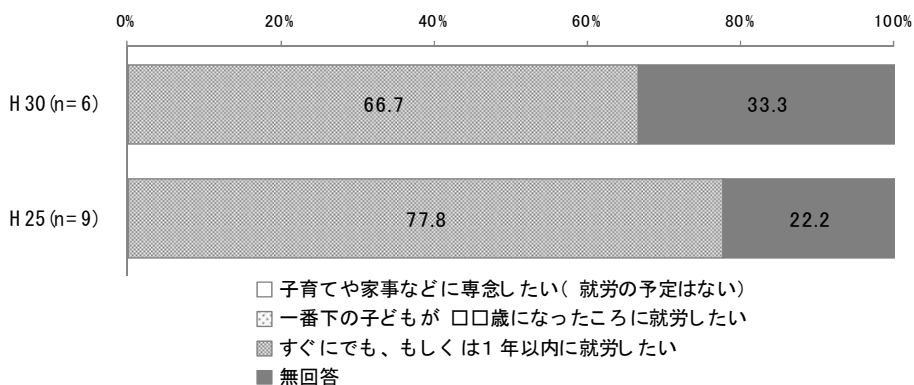
問 14-3 父親のフルタイムへの就労希望 (SA)

図表 30 父親のフルタイムへの就労希望



問 14-4 父親の就労希望 (SA)

図表 31 父親の就労希望

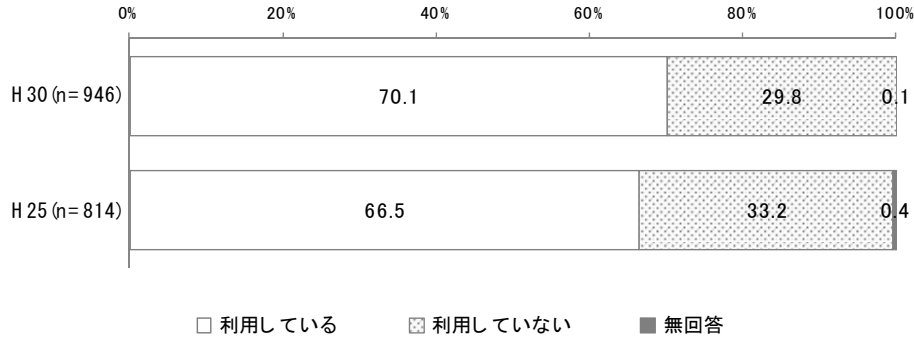


4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について

問 15 教育・保育事業の利用の有無 (SA)

「利用している」が70.1%、「利用していない」が29.8%となっています。
 前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表 32 教育・保育事業の利用の有無

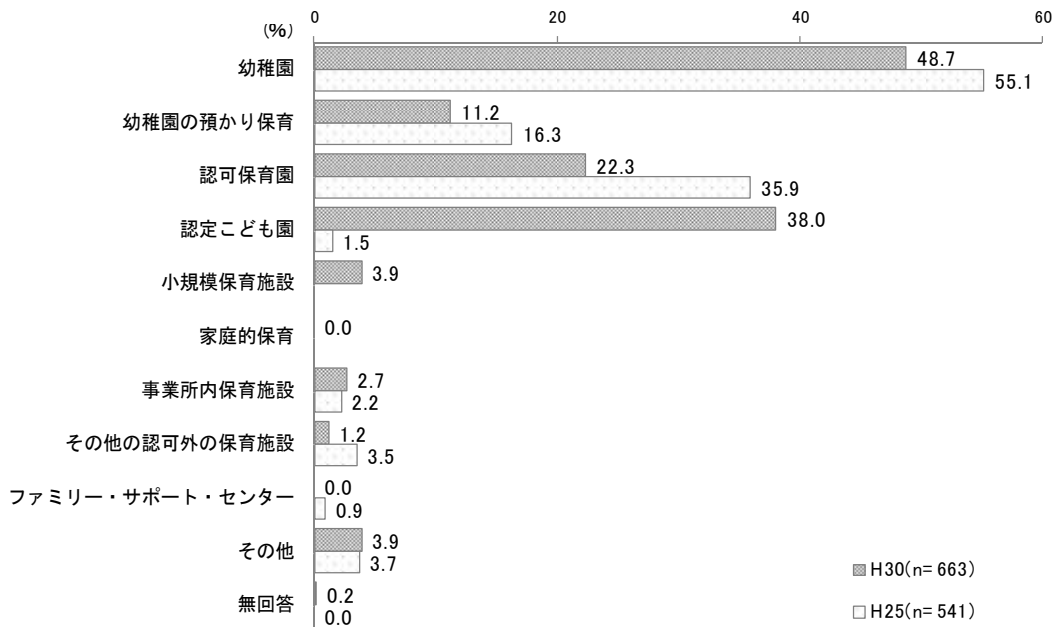


問 15-1 利用している教育・保育事業 (MA)

「幼稚園」が48.7%と最も多く、次いで「認定こども園」が38.0%、「認可保育園」が22.3%となっています。

「幼稚園」「認可保育園」「認定こども園」の合計は、前回調査（H25）と比べると増加しています。

図表 33 利用している教育・保育事業



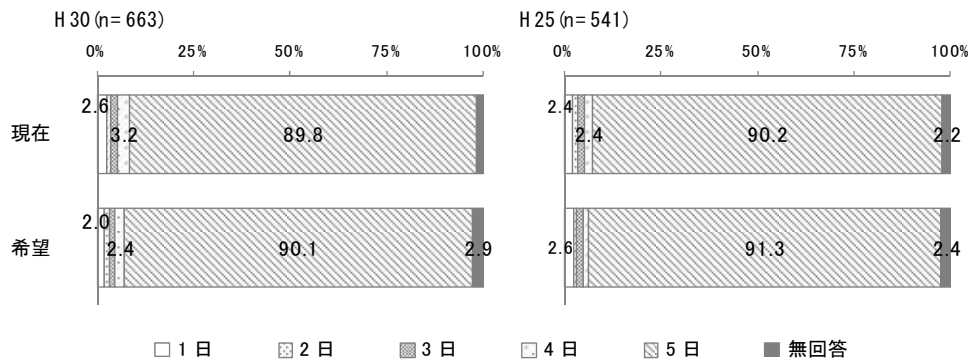
		問15- 1 平日に利用している教育・保育事業											
		合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可 保育園	認定 こども園	小規模保 育施設	家庭的保育	事業所内 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	ファミリー サポート・ センター	その他	無回答
全体		663 100.0	323 48.7	74 11.2	148 22.3	252 38.0	26 3.9	-	18 2.7	8 1.2	-	26 3.9	1 0.2
問2 お子さんの 生年月日	6歳	167 100.0	107 64.1	32 19.2	28 16.8	65 38.9	-	-	1 0.6	1 0.6	-	4 2.4	-
	5歳	148 100.0	91 61.5	22 14.9	27 18.2	57 38.5	1 0.7	-	-	2 1.4	-	8 5.4	-
	4歳	139 100.0	89 64.0	16 11.5	22 15.8	58 41.7	-	-	1 0.7	1 0.7	-	4 2.9	-
	3歳	102 100.0	26 25.5	3 2.9	27 26.5	39 38.2	17 16.7	-	6 5.9	1 1.0	-	4 3.9	-
	2歳	74 100.0	5 6.8	1 1.4	32 43.2	24 32.4	6 8.1	-	6 8.1	1 1.4	-	5 6.8	1 1.4
	1歳	23 100.0	3 13.0	-	8 34.8	6 26.1	2 8.7	-	4 17.4	2 8.7	-	-	-
	0歳	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

問 15- 2 利用状況・利用希望 (NA)

「5日」の現在が89.8%、希望が90.1%となっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

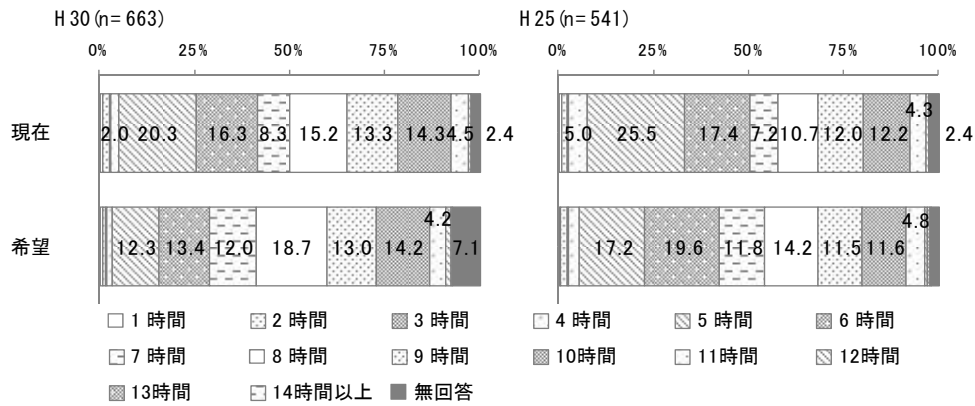
図表 34 利用状況



「5時間」の現在が20.3%、希望が12.3%となっています。また、希望は「8時間」が18.7%と最も多くなっています。

前回調査（H25）と比べると、「5時間」「6時間」が減少し、「7時間」「8時間」が増加しています。

図表 35 利用希望

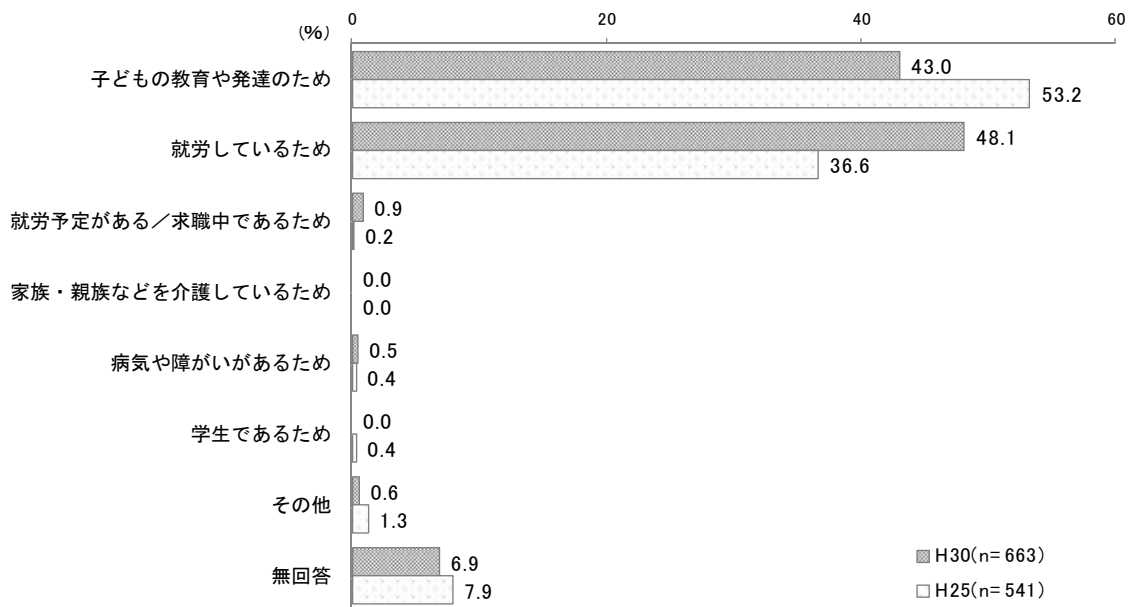


問 15-3 教育・保育事業を利用している理由 (SA)

「就労しているため」が48.1%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が43.0%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「子どもの教育や発達のため」が10.2ポイント減少し、「就労しているため」が11.5ポイント増加しています。

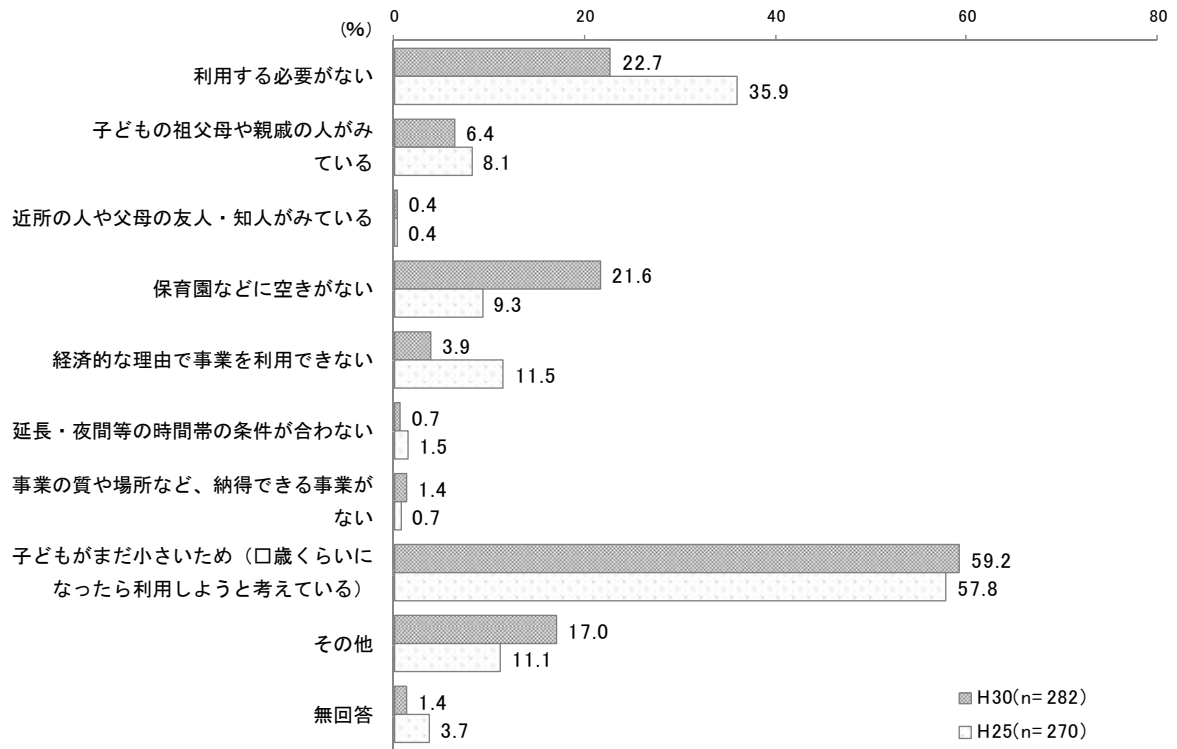
図表 36 教育・保育事業を利用している理由



問 15-4 教育・保育事業を利用していない理由 (MA)

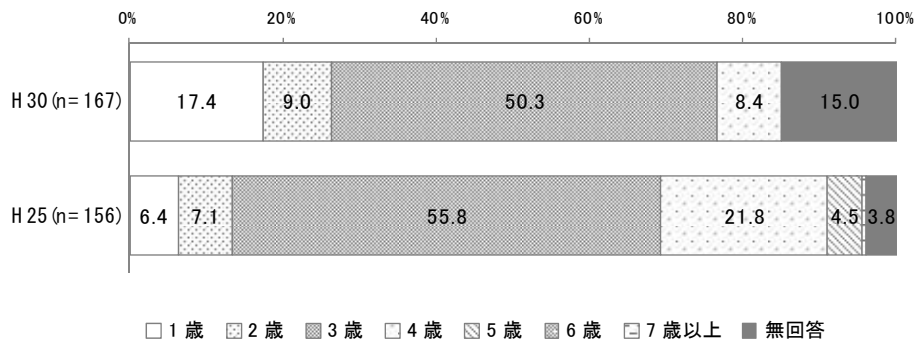
「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が59.2%と最も多く、次いで「利用する必要がない」が22.7%、「保育園などに空きがない」が21.6%となっています。
 前回調査(H25)と比べると、「利用する必要がない」が13.2ポイント、「経済的な理由で事業を利用できない」が7.6ポイント減少し、「保育園などに空きがない」が12.3ポイント増加しています。

図表 37 教育・保育事業を利用していない理由



「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した方の□歳に当てはまる子どもの年齢は、「3歳」が50.3%と最も多く、次いで「1歳」が17.4%となっています。
 前回調査(H25)と比べると、「3歳」が5.5ポイント減少し、「1歳」が11.0ポイント増加しています。

図表 38 □歳くらい

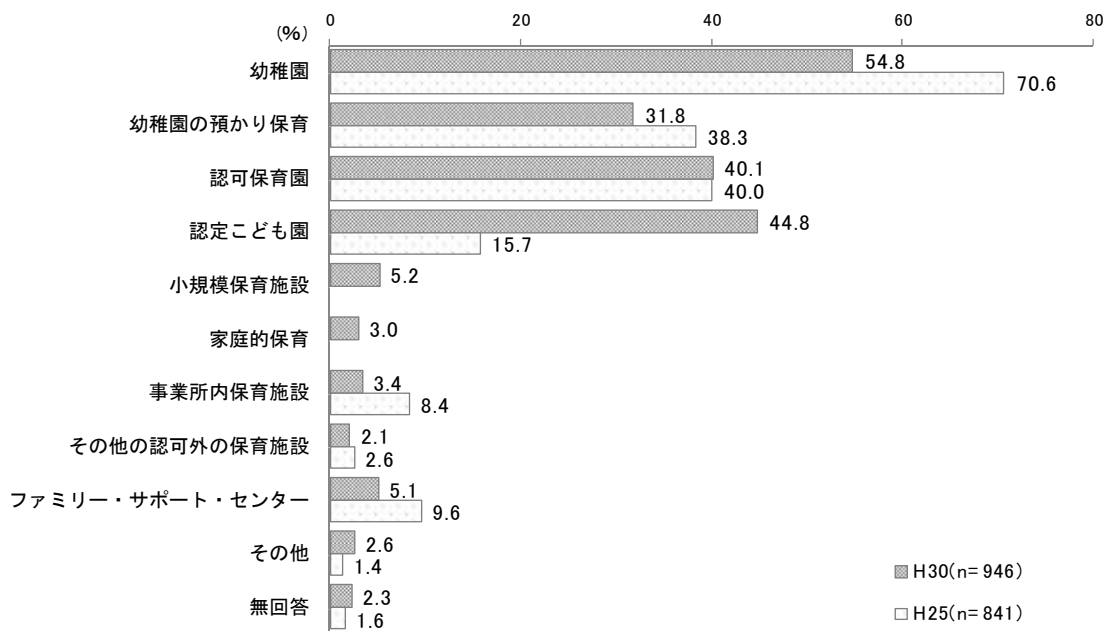


問 16 利用したいと考えている事業 (MA)

「幼稚園」が54.8%と最も多く、次いで「認定こども園」が44.8%、「認可保育園」が40.1%となっています。

「幼稚園」「認可保育園」「認定こども園」の合計は、前回調査 (H25) と比べると増加しています。

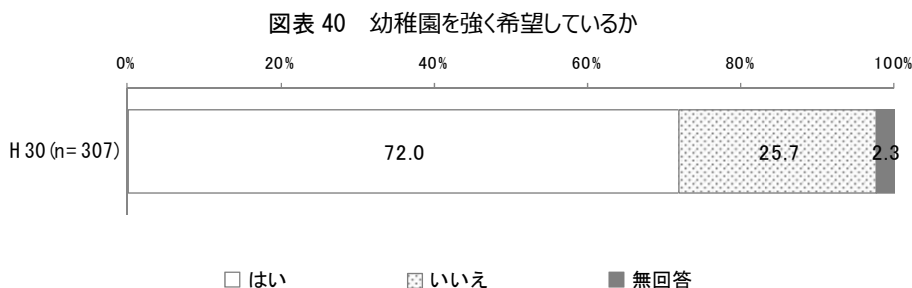
図表 39 利用したいと考えている事業



		問16 平日に利用したい教育・保育の事業											
		合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可 保育園	認定 こども園	小規模保 育施設	家庭的保育	事業所内 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	ファミリー・ サポート・ センター	その他	無回答
全体		946	518	301	379	424	49	28	32	20	48	25	22
		100.0	54.8	31.8	40.1	44.8	5.2	3.0	3.4	2.1	5.1	2.6	2.3
問2 お子さんの 生年月日	6歳	168	106	66	45	68	3	4	3	4	7	8	2
		100.0	63.1	39.3	26.8	40.5	1.8	2.4	1.8	2.4	4.2	4.8	1.2
	5歳	152	93	60	43	58	2	2	2	2	8	6	5
		100.0	61.2	39.5	28.3	38.2	1.3	1.3	1.3	1.3	5.3	3.9	3.3
	4歳	144	73	47	33	67	3	4	1	-	9	2	4
		100.0	50.7	32.6	22.9	46.5	2.1	2.8	0.7	-	6.3	1.4	2.8
	3歳	150	83	38	64	65	11	1	4	2	6	1	4
		100.0	55.3	25.3	42.7	43.3	7.3	0.7	2.7	1.3	4.0	0.7	2.7
2歳	135	67	43	75	66	13	5	11	5	3	3	3	
	100.0	49.6	31.9	55.6	48.9	9.6	3.7	8.1	3.7	2.2	2.2	2.2	
1歳	118	63	29	66	64	12	8	6	5	8	3	3	
	100.0	53.4	24.6	55.9	54.2	10.2	6.8	5.1	4.2	6.8	2.5	2.5	
0歳	65	27	12	48	32	4	4	4	1	5	1	1	
	100.0	41.5	18.5	73.8	49.2	6.2	6.2	6.2	1.5	7.7	1.5	1.5	

問 16-1 幼稚園を強く希望しているか (SA)

「はい」が72.0%、「いいえ」が25.7%となっています。

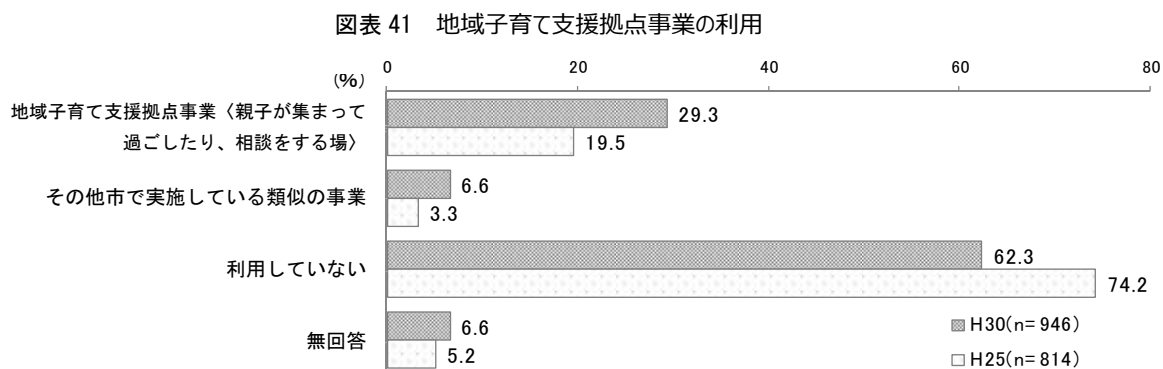


5. 地域の子育て支援事業の利用について

問 17 地域子育て支援拠点事業の利用 (MA)

「利用していない」が62.3%となっています。

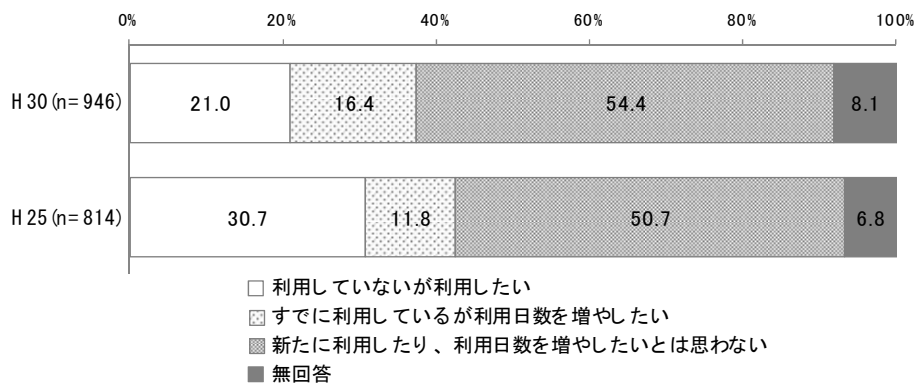
前回調査 (H25) と比べると、「利用していない」が11.9ポイント減少し、「地域子育て支援拠点事業〈親子が集まって過ごしたり、相談をする場〉」が9.8ポイント増加しています。



問 18 地域子育て支援事業の利用希望 (SA)

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が54.4%となっています。
前回調査（H25）と比べると、「利用していないが利用したい」が9.7ポイント減少しています。

図表 42 地域子育て支援事業の利用希望



問 19 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望 (SA)

認知度の「はい」は、「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が 83.1%と最も多く、次いで「⑦児童センター・児童館」が 74.3%、「①マタニティスクール・両親学級」が 73.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「①マタニティスクール・両親学級」が 11.5 ポイント、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 10.8 ポイント減少しています。

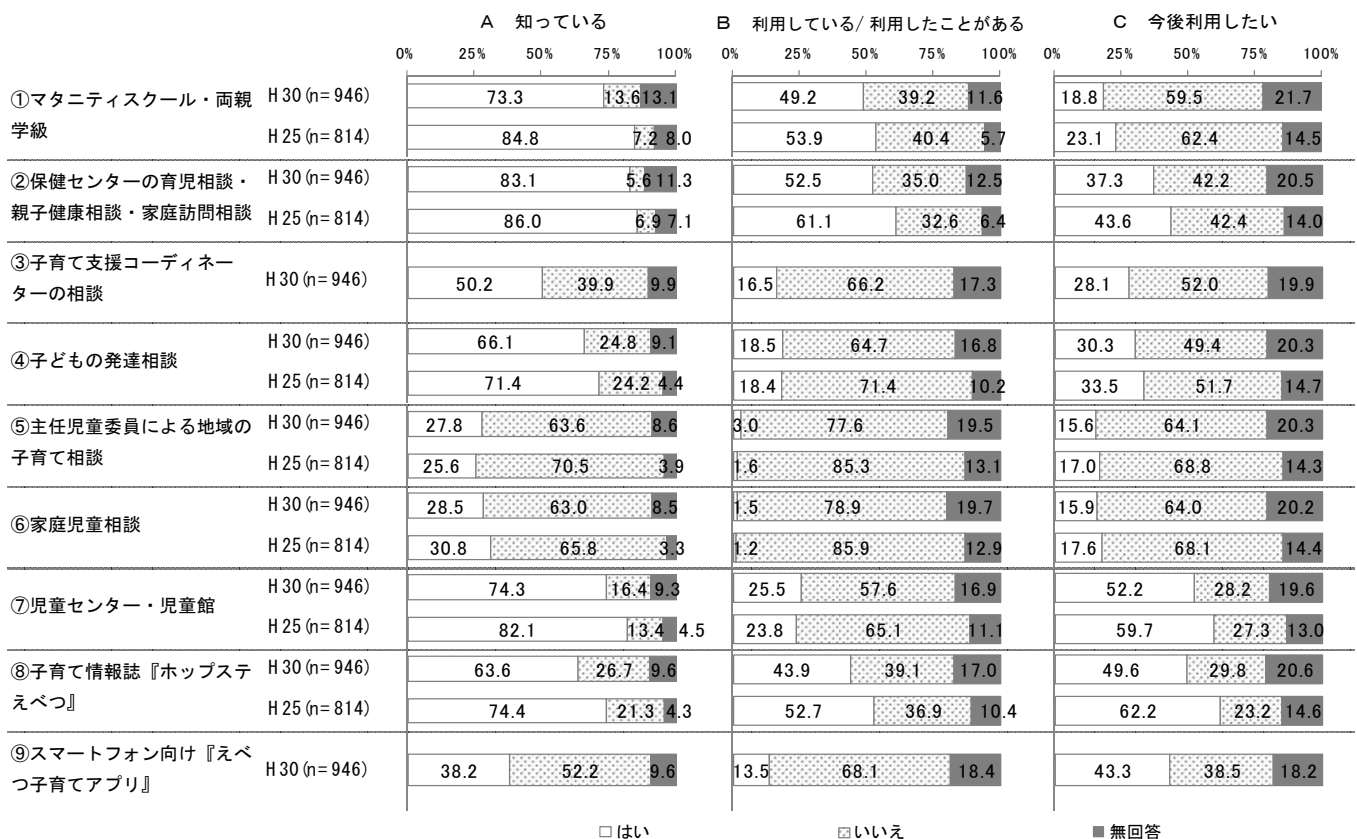
利用経験の「はい」は、「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が 52.5%と最も多く、次いで「①マタニティスクール・両親学級」が 49.2%、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 43.9%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 8.8 ポイント、「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が 8.6 ポイント減少しています。

今後の利用希望の「はい」は、「⑦児童センター・児童館」が 52.2%と最も多く、次いで「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 49.6%、「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が 37.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 12.6 ポイント減少しています。

図表 43 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望



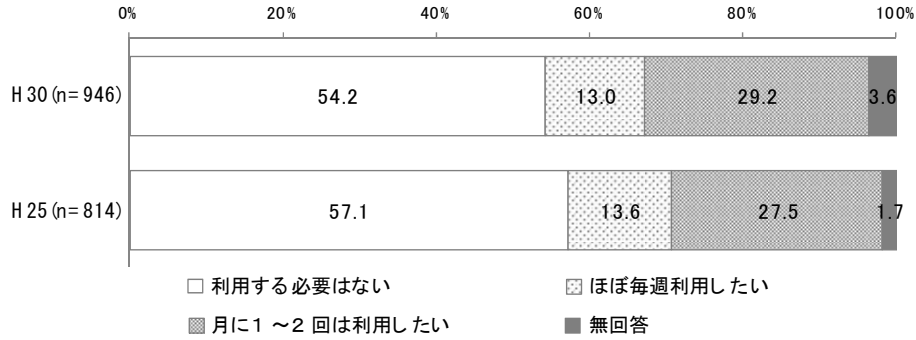
6. 土日等の休暇中の定期的な教育・保育事業の利用について

問 20 (1) 土曜日の利用希望 (SA)

「利用する必要はない」が 54.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 44 土曜日の利用希望

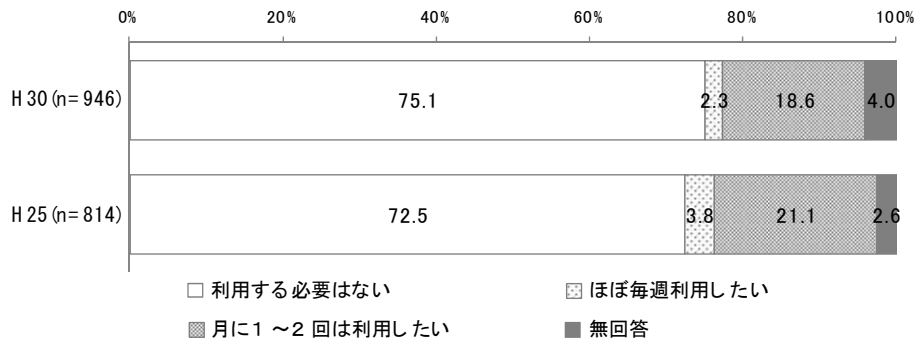


問 20 (2) 日曜日・祝日の利用希望 (SA)

「利用する必要はない」が 75.1%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 45 日曜日・祝日の利用希望

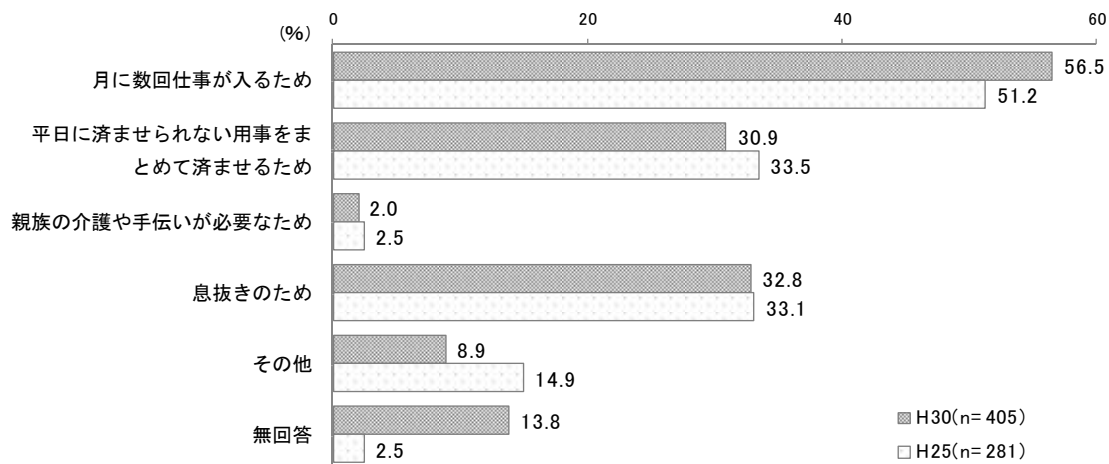


問 20-1 土曜日・日曜日・祝日に利用したい理由 (MA)

「月に数回仕事が入るため」が56.5%と最も多く、次いで「息抜きのため」が32.8%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が30.9%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 46 土曜日・日曜日・祝日に利用したい理由



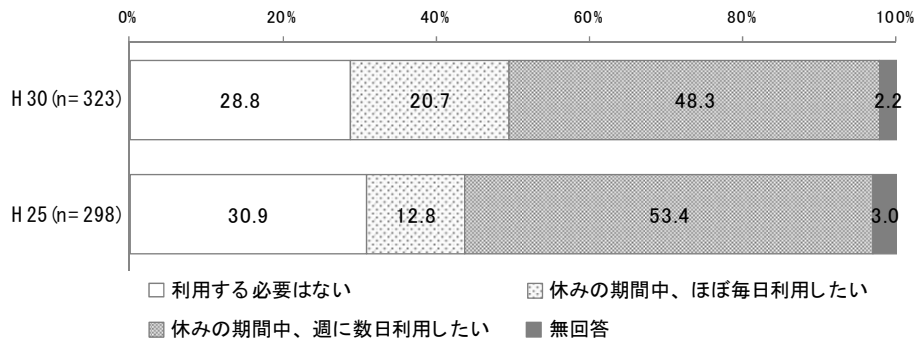
		問20-1 たまご利用したい理由						
		合計	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	息抜きのため	その他	無回答
全体		405	229	125	8	133	36	56
		100.0	56.5	30.9	2.0	32.8	8.9	13.8
問16 平日に利用したい教育・保育の事業	幼稚園	174	94	58	2	64	23	17
		100.0	54.0	33.3	1.1	36.8	13.2	9.8
	幼稚園の預かり保育	134	75	44	3	48	18	16
		100.0	56.0	32.8	2.2	35.8	13.4	11.9
	認可保育園	212	123	64	2	70	19	34
		100.0	58.0	30.2	0.9	33.0	9.0	16.0
	認定こども園	189	117	66	4	68	14	21
		100.0	61.9	34.9	2.1	36.0	7.4	11.1
	小規模保育施設	24	15	9	-	9	2	2
		100.0	62.5	37.5	-	37.5	8.3	8.3
家庭的保育	16	10	6	-	4	-	3	
	100.0	62.5	37.5	-	25.0	-	18.8	
事業所内保育施設	17	12	6	-	7	-	2	
	100.0	70.6	35.3	-	41.2	-	11.8	
その他の認可外の保育施設	11	7	3	-	2	1	1	
	100.0	63.6	27.3	-	18.2	9.1	9.1	
ファミリーサポート・センター	32	21	11	-	17	3	3	
	100.0	65.6	34.4	-	53.1	9.4	9.4	
その他	13	7	6	-	6	2	1	
	100.0	53.8	46.2	-	46.2	15.4	7.7	

問 21 長期休暇中の利用希望 (SA)

「利用する必要はない」が 48.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 5.1 ポイント減少し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 7.9 ポイント増加しています。

図表 47 長期休暇中の利用希望

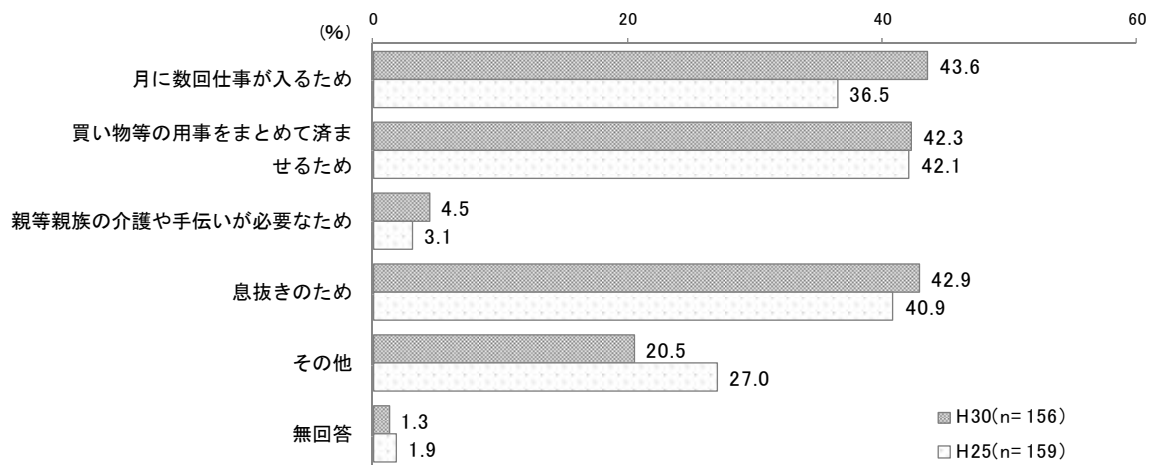


問 21-1 長期休暇中に利用したい理由 (MA)

「月に数回仕事が入るため」が 43.6%と最も多く、次いで「息抜きのため」が 42.9%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 42.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「月に数回仕事が入るため」が 7.1 ポイント増加しています。

図表 48 長期休暇中に利用したい理由



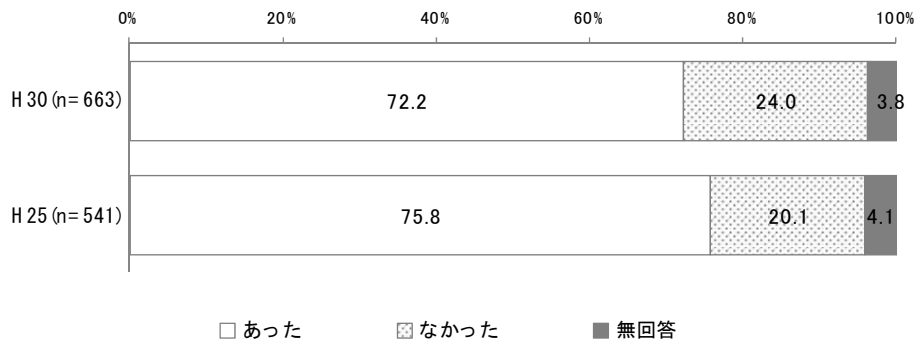
7. お子さんの病気の際の対応について

問 22 お子さんの病気やケガによって事業が利用できなかった経験 (SA)

「あった」が72.2%、「なかった」が24.0%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 49 お子さんの病気やケガによって事業が利用できなかった経験

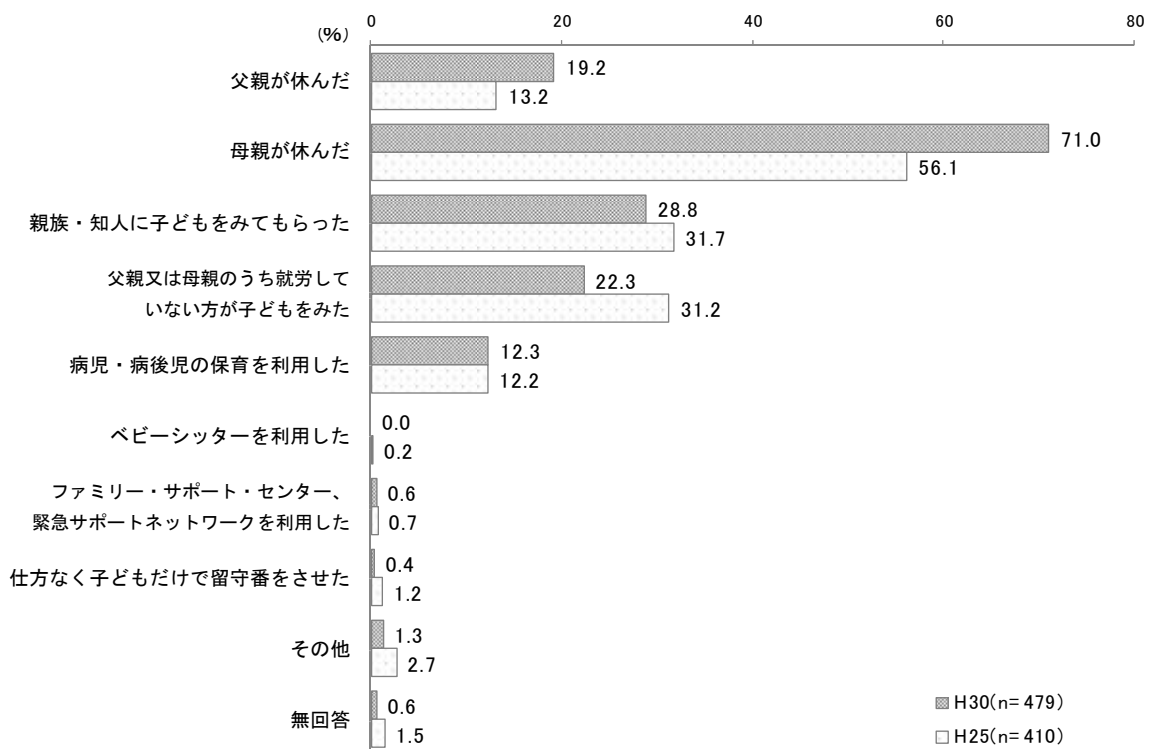


問 22-1 利用できなかったときの対処方法 (MA)

「母親が休んだ」が71.0%と最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が28.8%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が22.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が8.9ポイント減少し、「父親が休んだ」が6.0ポイント、「母親が休んだ」が14.9ポイント増加しています。

図表 50 利用できなかったときの対処方法

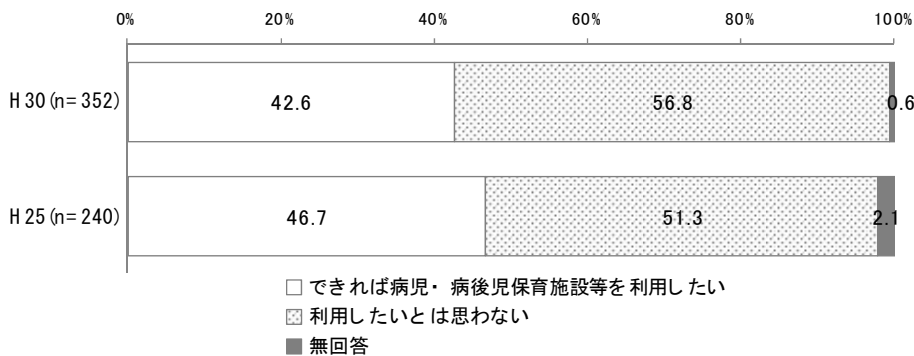


問 22－2 病児・病後児の保育施設等の利用希望 (MA)

「利用したいとは思わない」が 56.8%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 42.6% となっています。

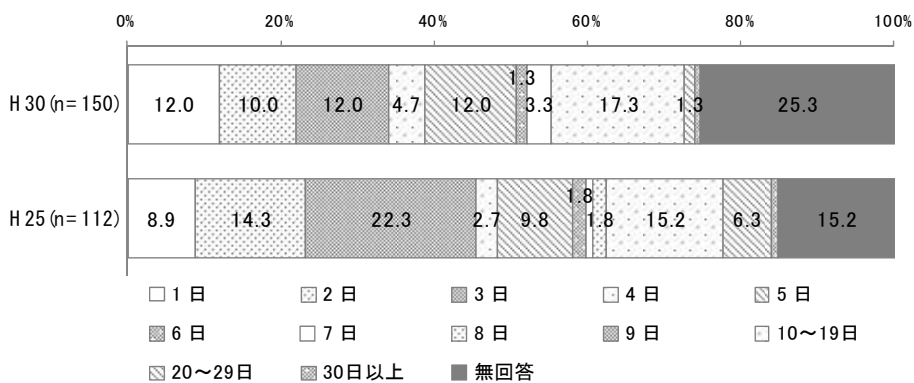
前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 51 病児・病後児の保育施設等の利用希望



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方の利用したい日数は、「10～19 日」が 17.3%と最も多く、次いで「1 日」「3 日」「5 日」が 12.0%となっています。

図表 52 利用したい日数

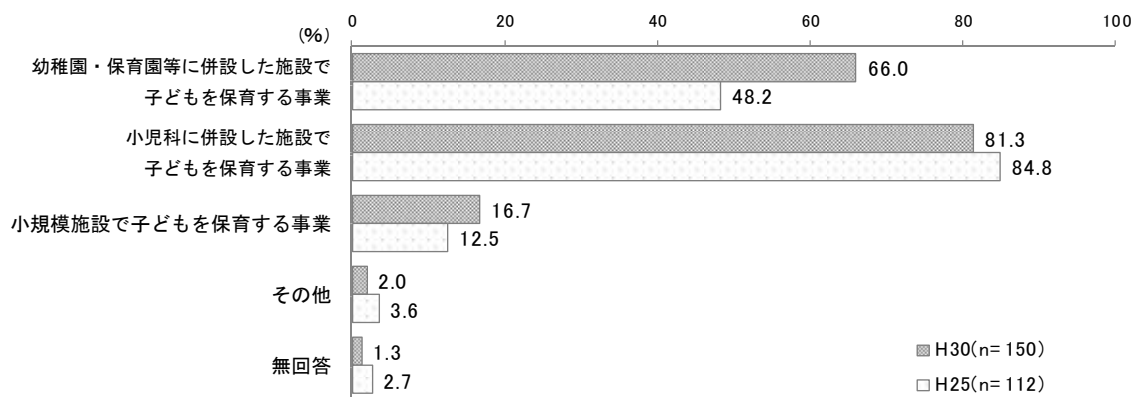


問 22-3 病児・病後児の保育施設等を利用したい場合に望ましい事業形態 (MA)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 81.3%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 66.0%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 17.8ポイント増加しています。

図表 53 病児・病後児の保育施設等を利用したい場合に望ましい事業形態

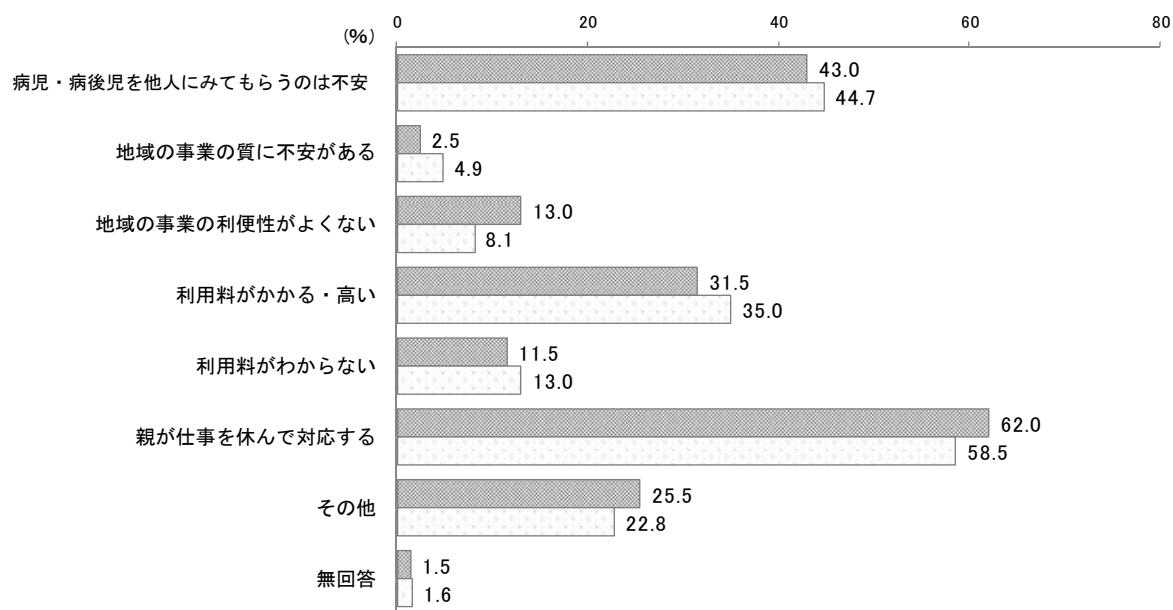


問 22-4 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由 (MA)

「親が仕事を休んで対応する」が 62.0%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 43.0%、「利用料がかかる・高い」が 31.5%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 54 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由

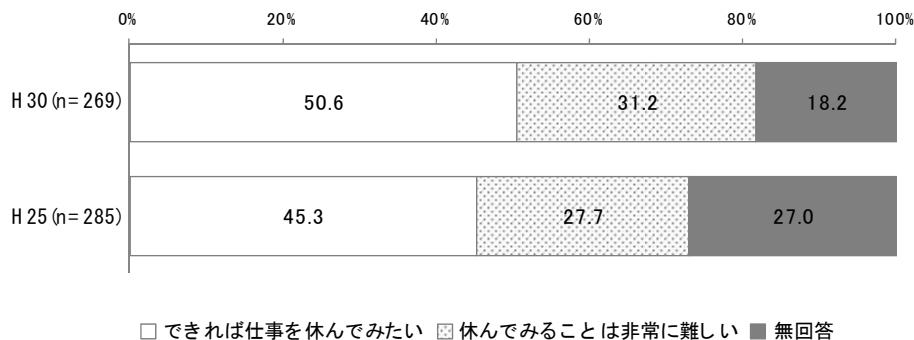


問 22-5 父母のいずれかが仕事を休んで対処をしたかったか (SA)

「できれば仕事を休んでみたい」が 50.6%、「休んでみることは非常に難しい」が 31.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「できれば仕事を休んでみたい」が 5.3 ポイント増加しています。

図表 55 父母のいずれかが仕事を休んで対処をしたかったか

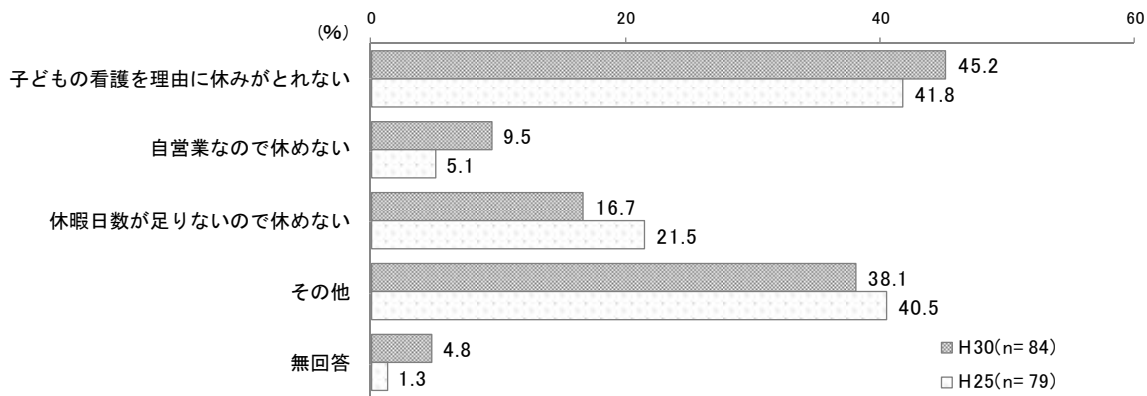


問 22-6 父母のいずれかが仕事を休めない理由 (MA)

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 45.2%と最も多くなっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 56 父母のいずれかが仕事を休めない理由



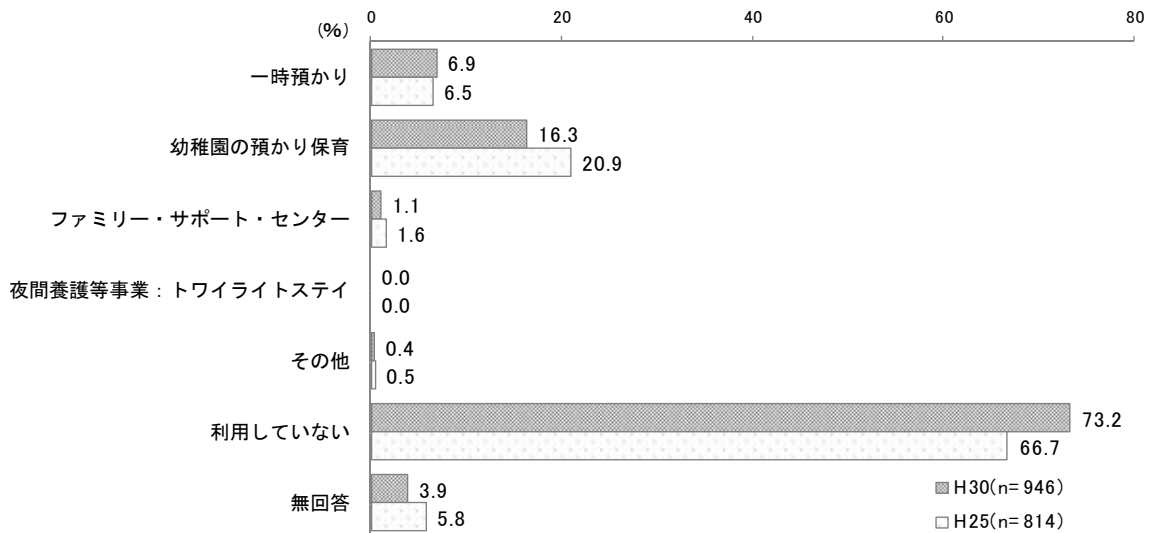
8. 一時預かり等の不定期の教育・保育事業の利用について

問 23 不定期の教育・保育事業の利用状況 (MA)

「利用していない」が73.2%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「利用していない」が6.5ポイント増加しています。

図表 57 不定期の教育・保育事業の利用状況

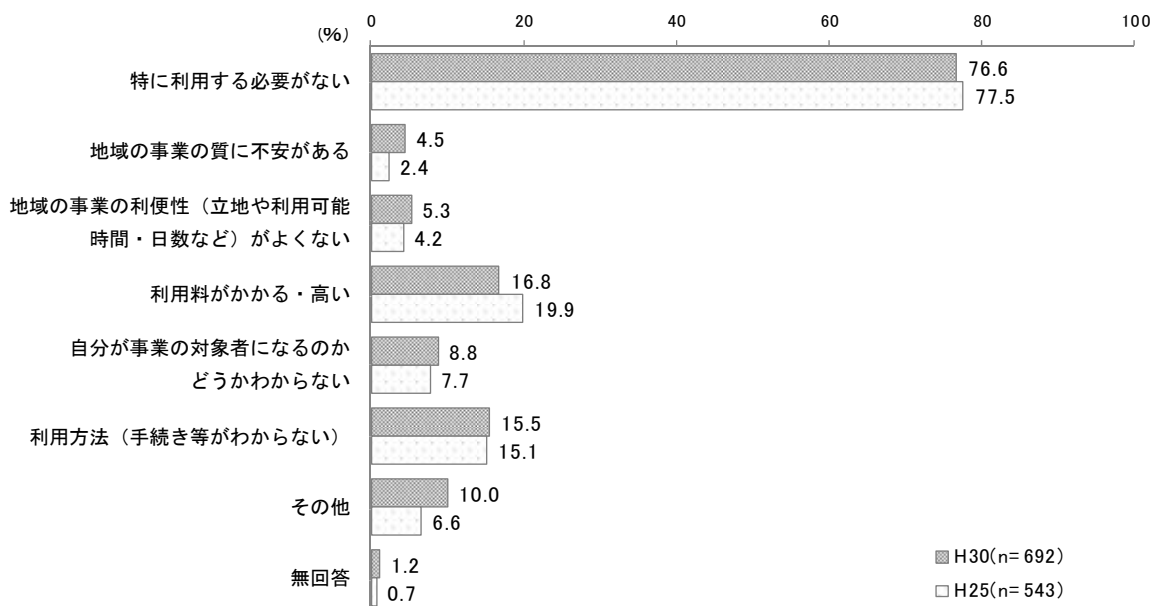


問 23-1 不定期の利用をしていない理由 (MA)

「特に利用する必要がない」が76.6%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が16.8%、「利用方法（手続き等がわからない）」が15.5%となっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表 58 不定期の利用をしていない理由

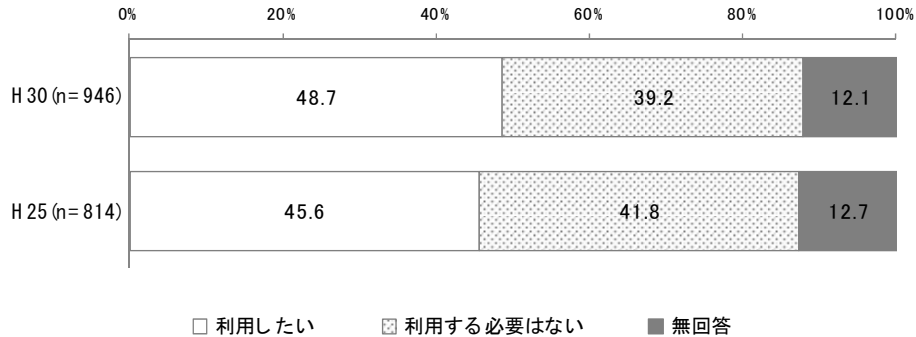


問 24 不定期の教育・保育事業の利用希望と目的 (SA) (MA)

「利用したい」が48.7%、「利用する必要はない」が39.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

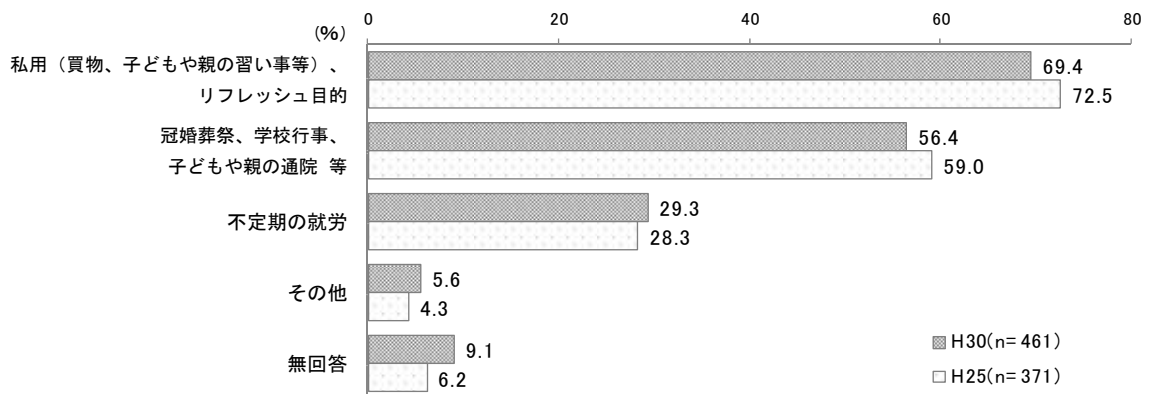
図表 59 不定期の教育・保育事業の利用希望



「利用したい」と回答した方の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」が69.4%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が56.4%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 60 利用目的

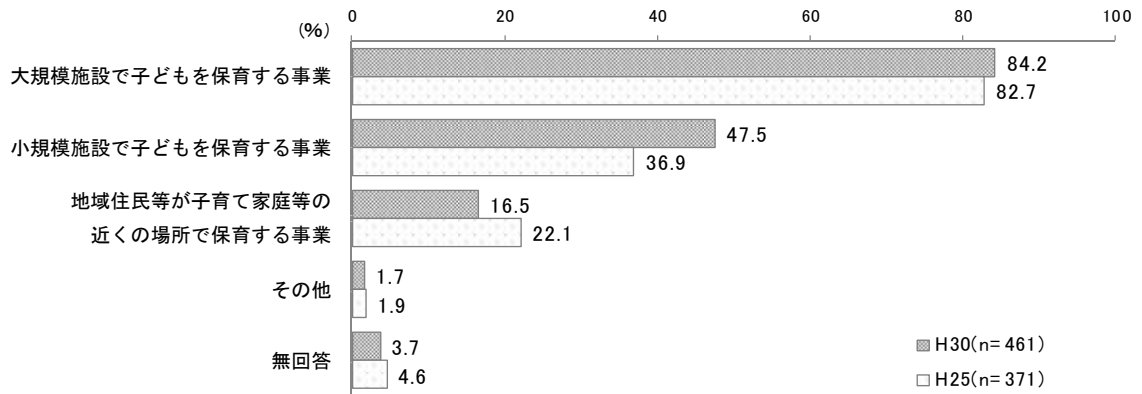


問 24-1 不定期の教育・保育事業を利用したい場合に望ましい事業形態 (MA)

「大規模施設で子どもを保育する事業」が 84.2%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 47.5%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「小規模施設で子どもを保育する事業」が 10.6 ポイント増加しています。

図表 61 不定期の教育・保育事業を利用したい場合に望ましい事業形態

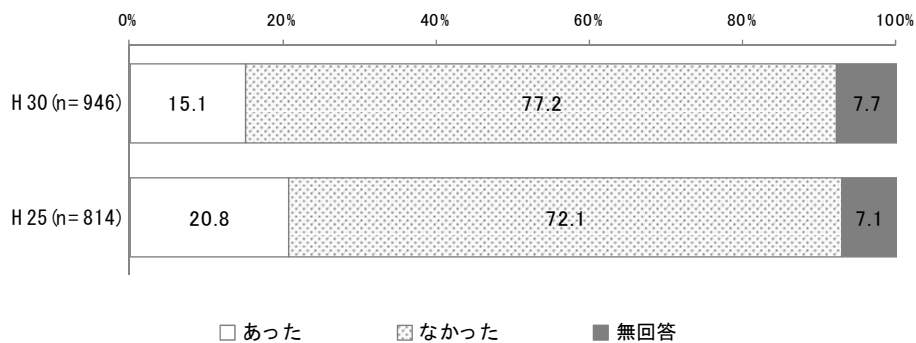


問 25 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況 (SA) (MA)

「なかった」が 77.2%、「あった」が 15.1%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「あった」が 5.7 ポイント減少しています。

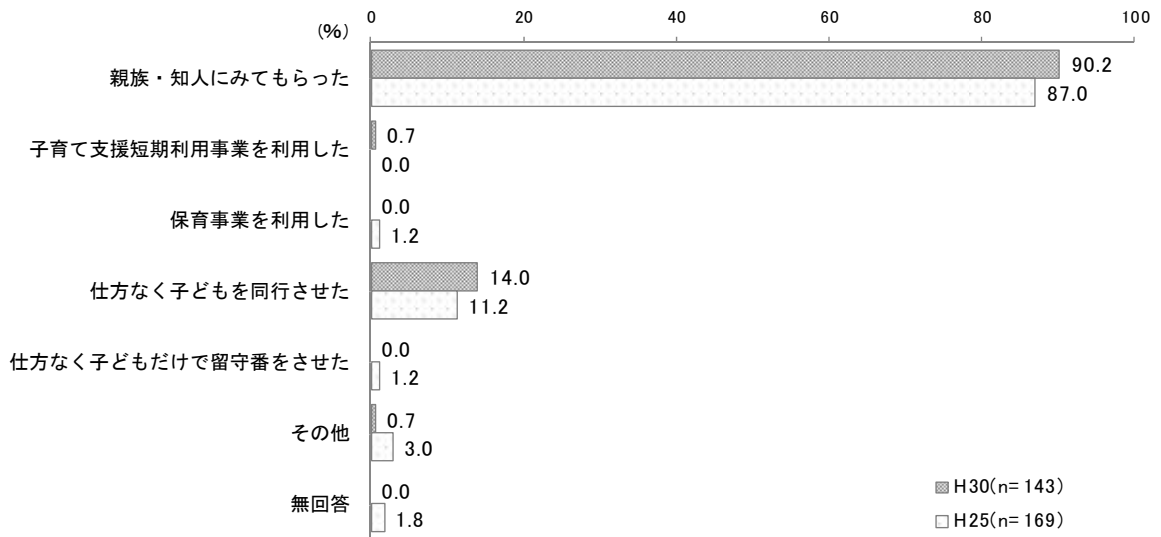
図表 62 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況



「あった」と回答した方の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が90.2%と最も多くなっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表 63 対処方法

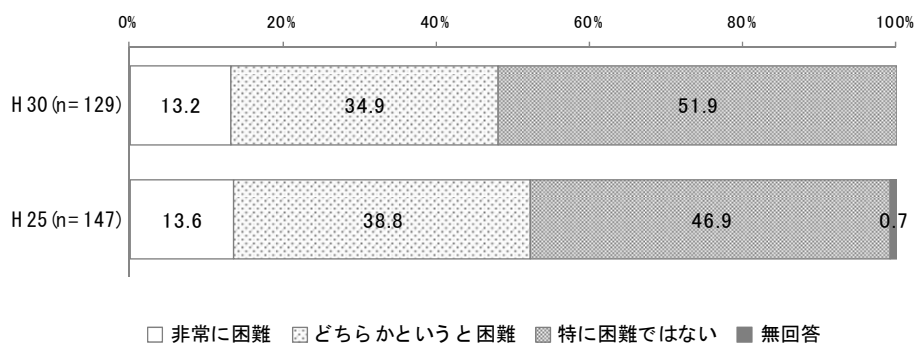


問 25-1 宿泊を伴う一時預かり等の利用する場合の困難度（SA）

「特に困難ではない」が51.9%となっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表 64 宿泊を伴う一時預かり等の利用する場合の困難度



9. 就学後における放課後の過ごし方について

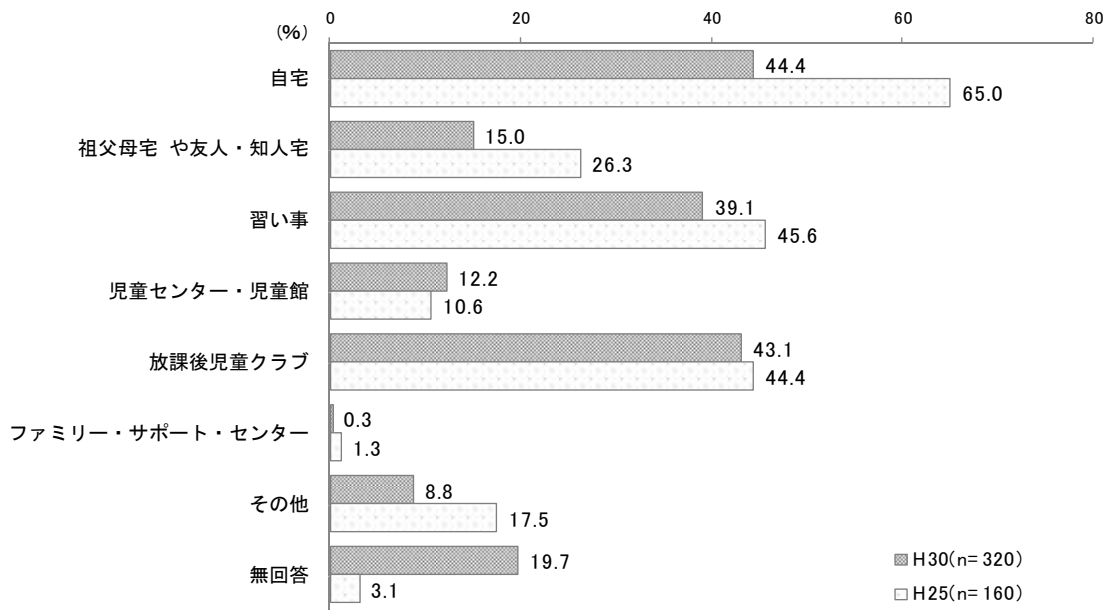
問 26 就学後の放課後に居場所として希望する場所 (MA)

【1～3年生までの間】

「自宅」が44.4%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が43.1%、「習い事」が39.1%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「自宅」が20.6ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」が11.3ポイント、「習い事」が6.5ポイント減少しています。

図表 65 就学後の放課後に居場所として希望する場所 低学年

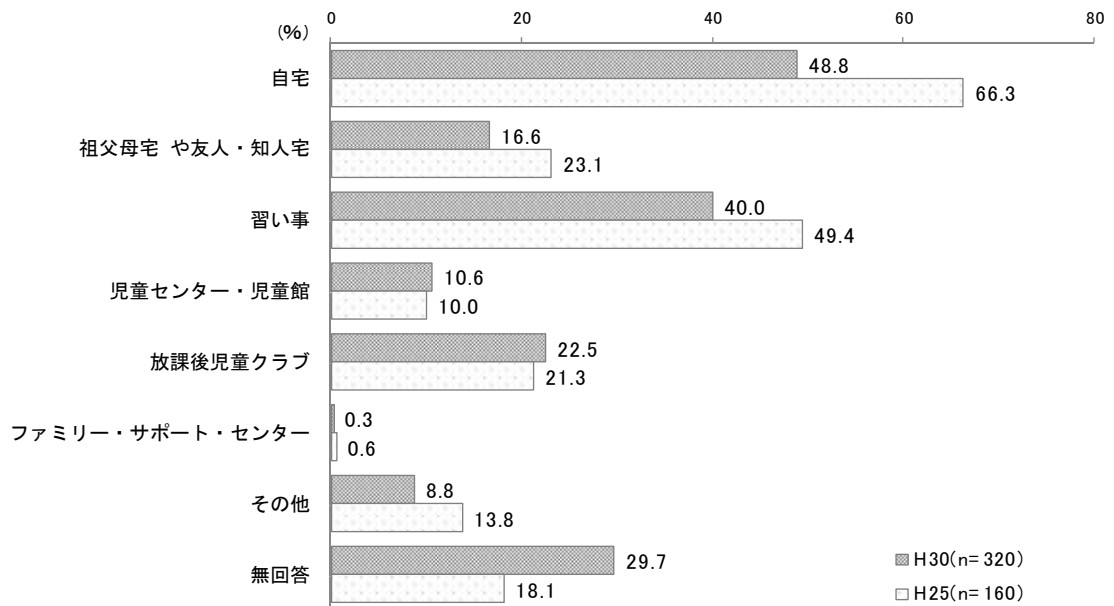


【4～6年生までの間】

「自宅」が48.8%と最も多く、次いで「習い事」が40.0%、「放課後児童クラブ」が22.5%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「自宅」が17.5ポイント、「習い事」が9.4ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」が6.5ポイント減少しています。

図表 66 就学後の放課後に居場所として希望する場所 高学年



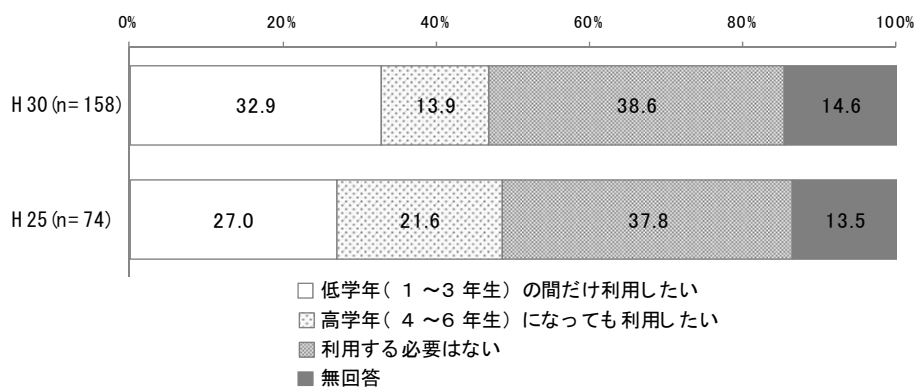
問 27 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇での放課後児童クラブの利用希望（SA）

【土曜日】

「利用する必要はない」が38.6%と最も多く、次いで「低学年の間だけ利用したい」が32.9%、「高学年になっても利用したい」が13.9%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「高学年になっても利用したい」が7.7ポイント減少し、「低学年の間だけ利用したい」が5.9ポイント増加しています。

図表 67 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

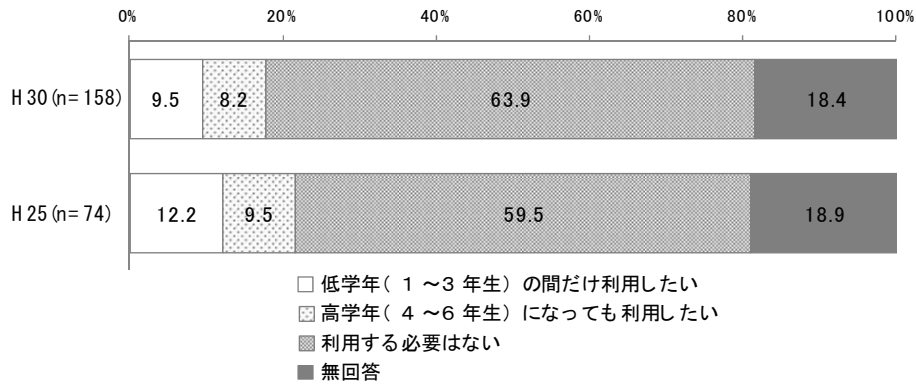


【日曜日・祝日】

「利用する必要はない」が 63.9%と最も多く、次いで「低学年の間だけ利用したい」が 9.5%、「高学年になっても利用したい」が 8.2%となっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表 68 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

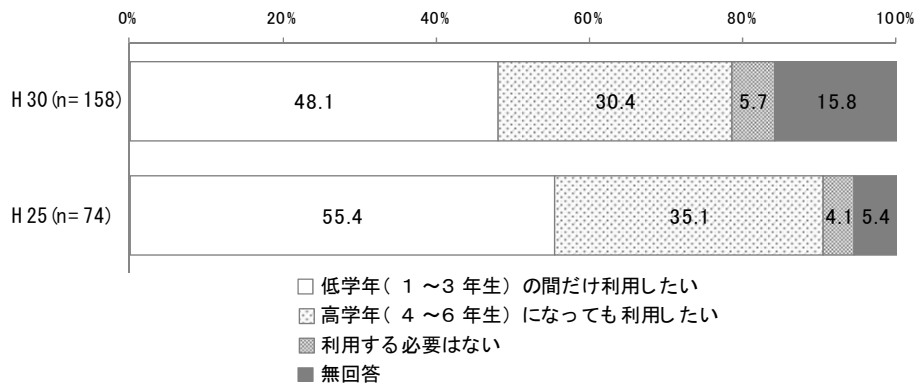


【長期休暇】

「低学年の間だけ利用したい」が 48.1%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が 30.4%、「利用する必要はない」が 5.7%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「低学年の間だけ利用したい」が 7.3 ポイント減少しています。

図表 69 長期休暇の放課後児童クラブの利用希望



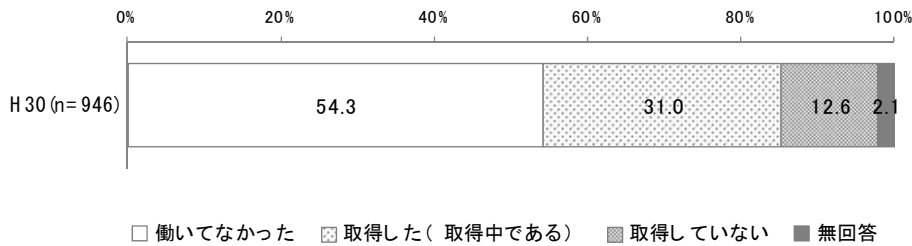
10. 育児休業等の職場の両立支援制度について

問 28 育児休暇の取得の有無 (SA)

【母親】

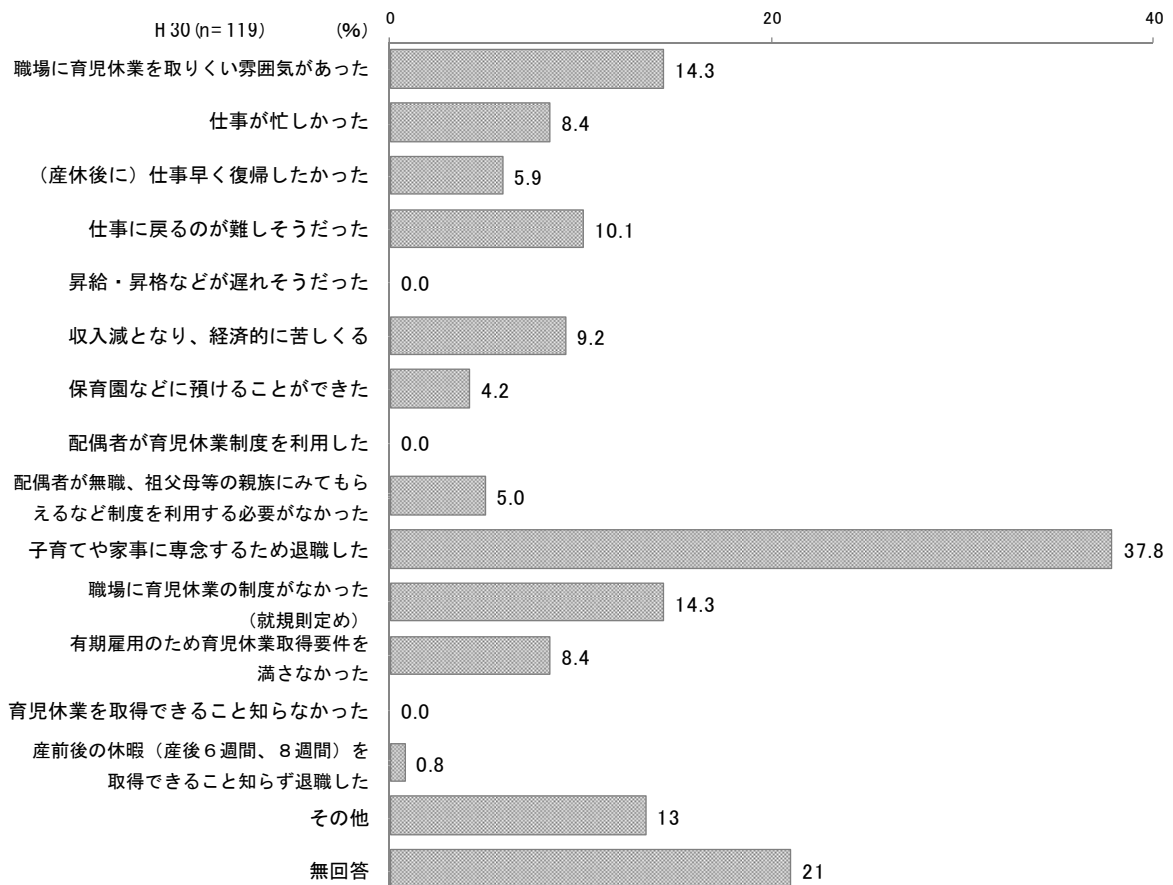
「働いていなかった」が 54.3%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が 31.0%、「取得していない」が 12.6%となっています。

図表 70 母親の育児休暇の取得の有無



「取得していない」と回答した方の理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 37.8%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」と「職場に育児休業の制度がなかった」がともに 14.3%となっています。

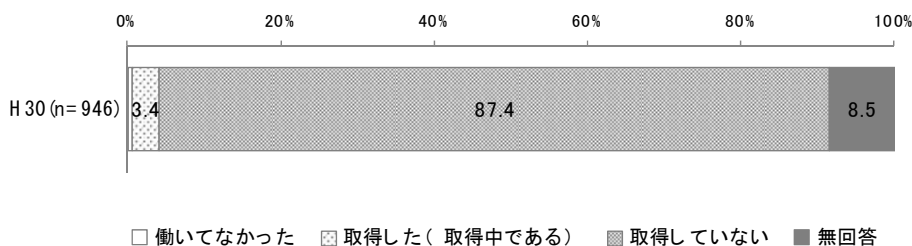
図表 71 母親の取得していない理由



【父親】

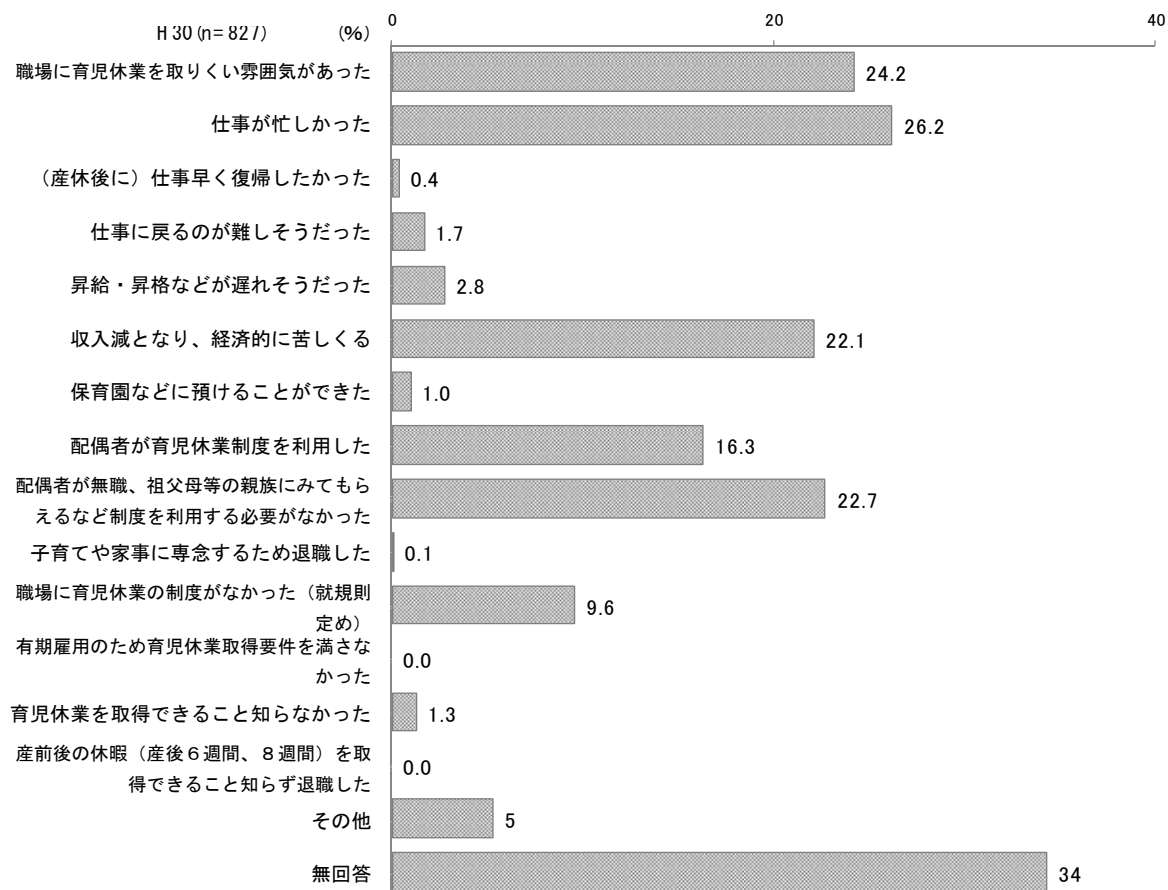
「取得していない」が87.4%と最も多くなっています。

図表 72 父親の育児休暇の取得の有無



「取得していない」と回答した方の理由は、「仕事が忙しかった」が26.2%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が24.2%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど制度を利用する必要がなかった」が22.7%となっています。

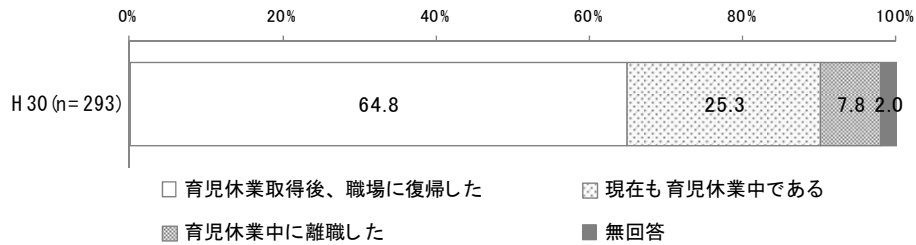
図表 73 父親の取得していない理由



問 28-1 (1) 母親の育児休暇後の職場復帰の有無 (SA)

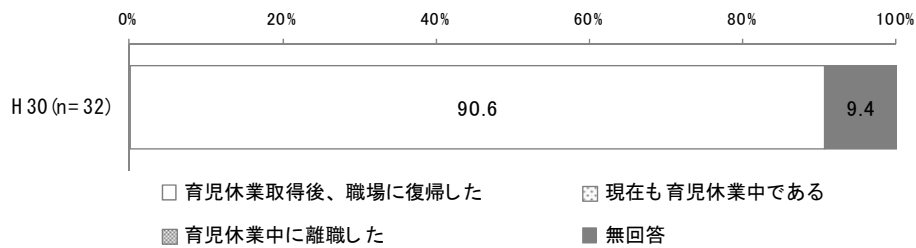
「育児休業取得後、職場に復帰した」が 64.8%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 25.3%、「育児休業中に離職した」が 7.8%となっています。

図表 74 母親の育児休暇後の職場復帰の有無



問 28-1 (2) 父親の育児休暇後の職場復帰の有無 (SA)

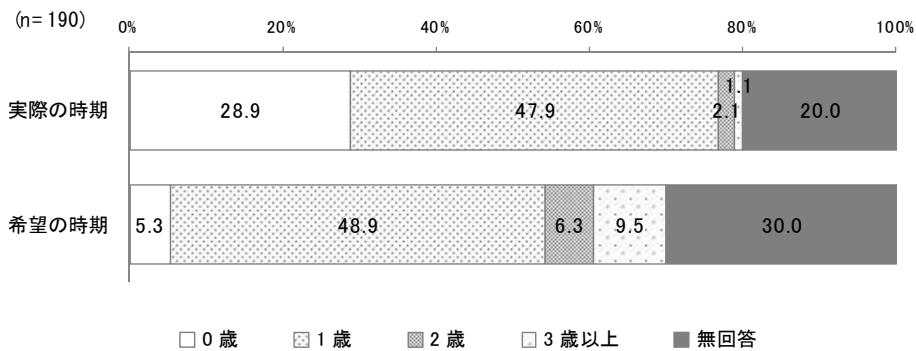
図表 75 父親の育児休暇後の職場復帰の有無



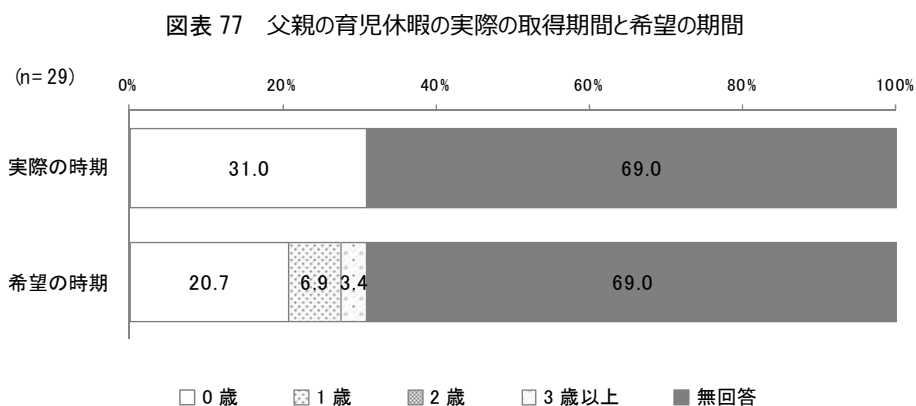
問 28-2 (1) 母親の育児休暇の実際の取得期間と希望の期間 (NA)

実際の時期は「1歳」が 47.9%と最も多く、希望の時期も「1歳」が 48.9%と最も多くなっています。「0歳」の実際の時期が、希望の時期と比べて 23.6ポイント多くなっています。

図表 76 母親の育児休暇の実際の取得期間と希望の期間

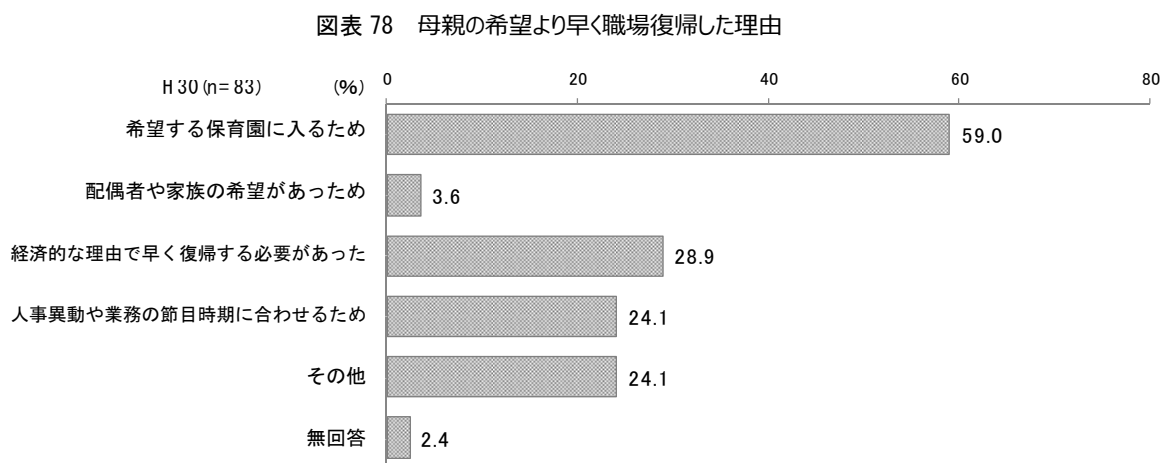


問 28-2 (2) 父親の育児休暇の実際の取得期間と希望の期間 (NA)



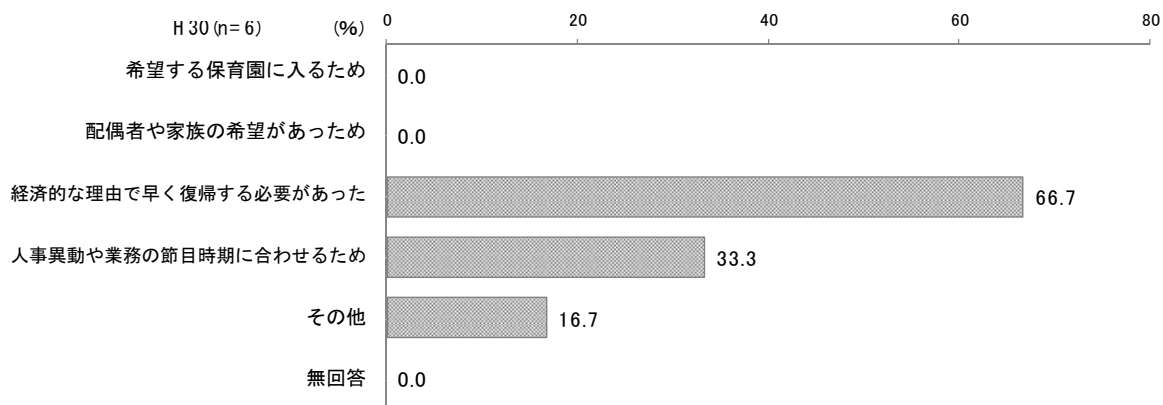
問 28-3 (1) 母親の希望より早く職場復帰した理由 (MA)

「希望する保育園に入るため」が 59.0%と最も多く、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 28.9%となっています。



問 28-3 (2) 父親の希望より早く職場復帰した理由 (MA)

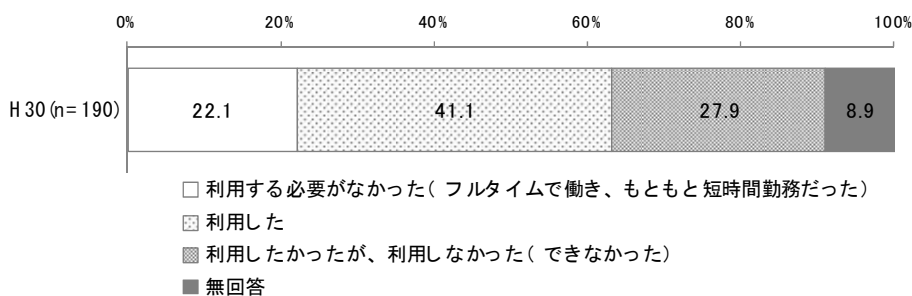
図表 79 父親の希望より早く職場復帰した理由



問 28-4 (1) 母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無 (SA)

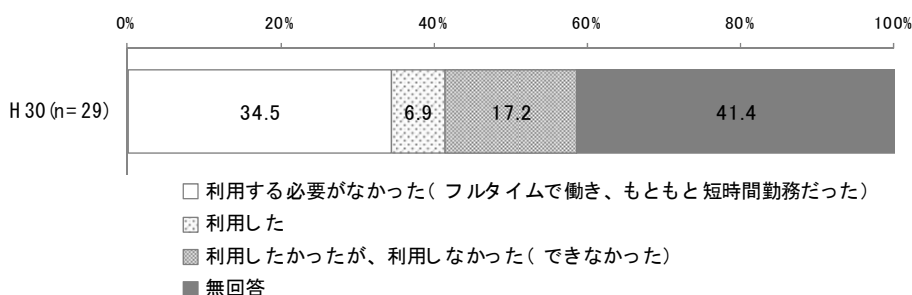
「利用した」が 41.1%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）」が 27.9%、「利用する必要がなかった」が 22.1%となっています。

図表 80 母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無



問 28-4 (2) 父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無 (SA)

図表 81 父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無

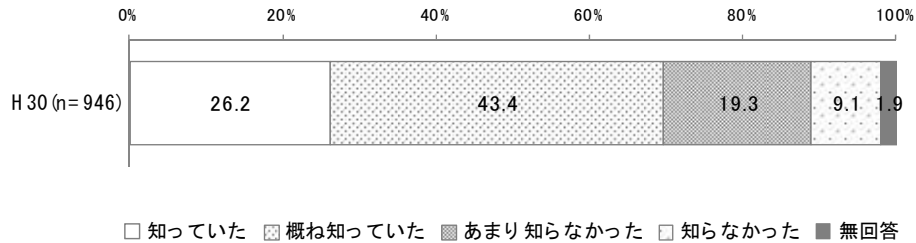


1 1. 幼児教育・保育の無償化について

問 29 幼児教育・保育の無償化の内容を知っていたか (SA)

「知っていた」と「概ね知っていた」の合計が 69.6%となっています。

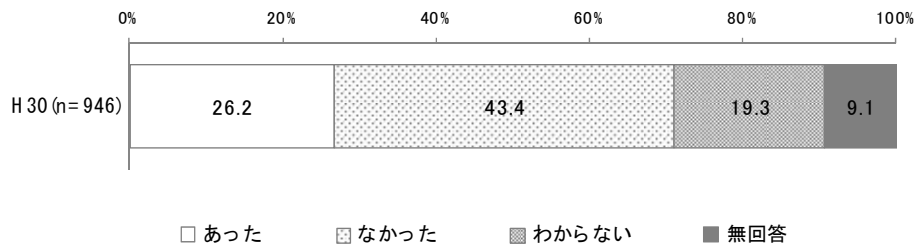
図表 82 幼児教育・保育の無償化の内容を知っていたか



問 30 就労意欲や教育・保育事業の利用希望の変化があったか (SA)

「あった」が 26.2%、「なかった」が 43.4%となっています。

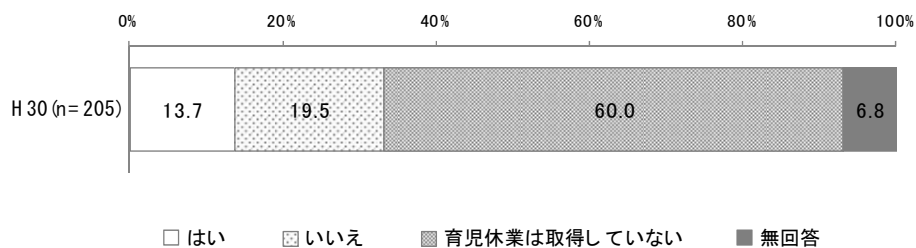
図表 83 就労意欲や教育・保育事業の利用希望の変化があったか



問 30-1 育児休業の期間の短縮を検討しているか (SA)

「はい」が 13.7%、「いいえ」が 19.5%となっています。

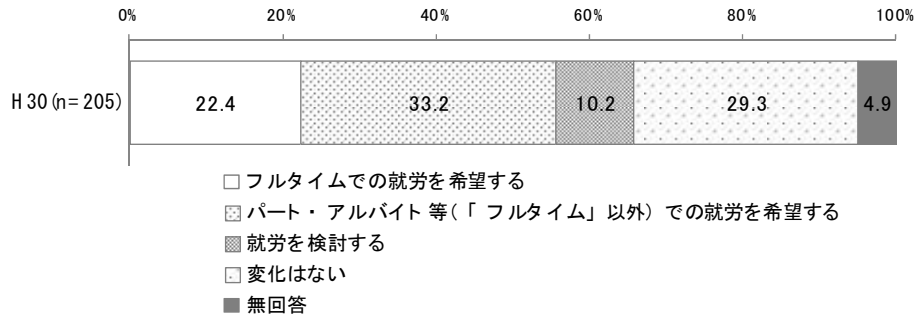
図表 84 育児休業の期間の短縮を検討しているか



問 30-2 母親の就労希望に変化があったか (SA)

「フルタイムでの就労を希望する」と「パート・アルバイト等での就労を希望する」の合計が 55.6% となっており、「就労を検討する」も 10.2% となっています。

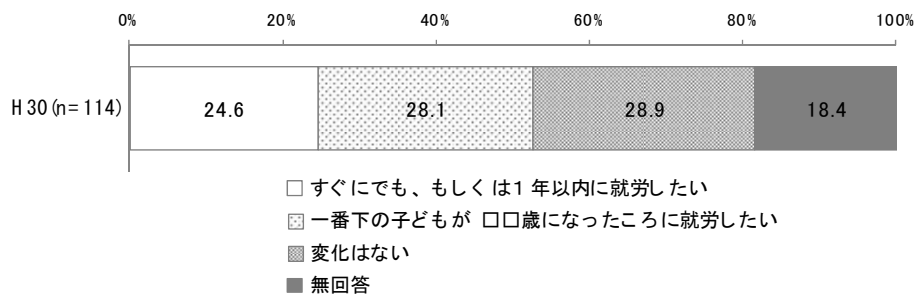
図表 85 母親の就労希望に変化があったか



問 30-3 母親の就労時期の希望に変化があったか (SA)

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 24.6%、「一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい」が 28.1% となっています

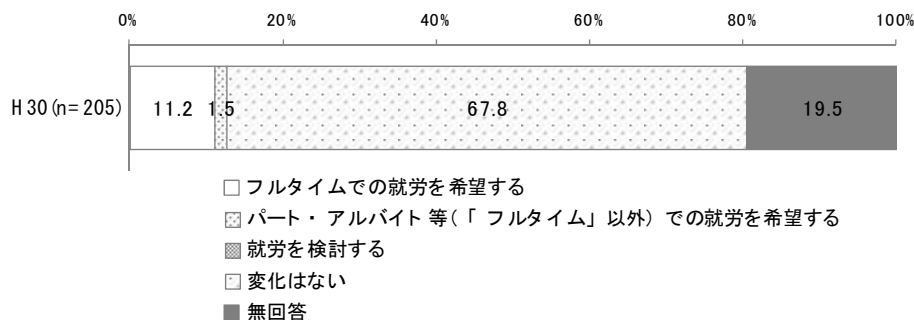
図表 86 母親の就労時期の希望に変化があったか



問 30-4 父親の就労希望に変化があったか (SA)

「変化はない」が 67.8% と最も多くなっています。

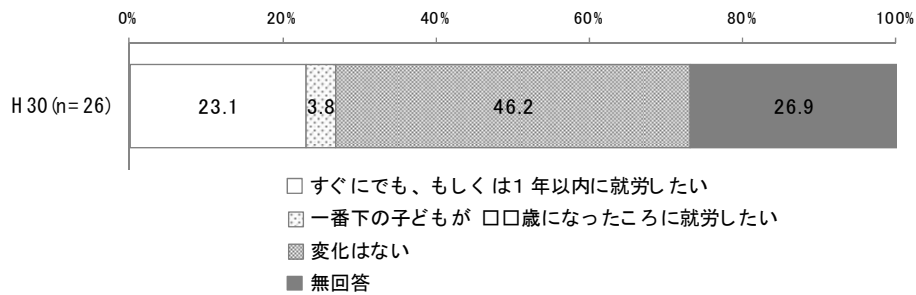
図表 87 父親の就労希望に変化があったか



問 30-5 父親の就労時期の希望に変化があったか (SA)

「変化はない」が46.2%と最も多くなっています。

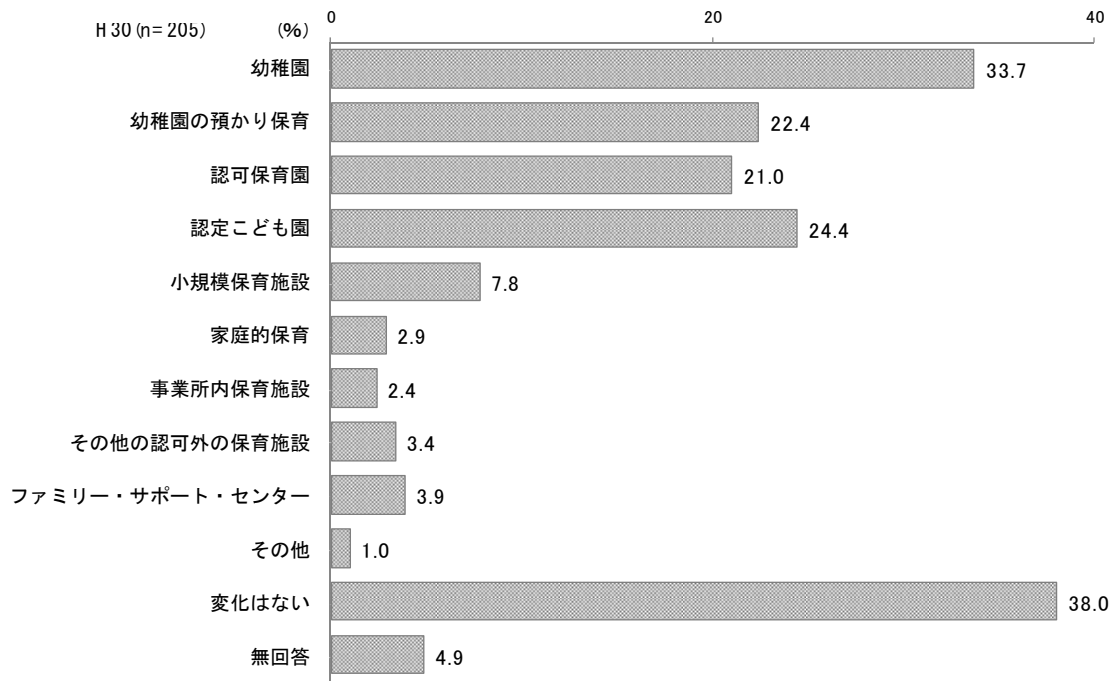
図表 88 父親の就労時期の希望に変化があったか



問 30-6 定期的にご利用したい教育・保育事業に変化があったか (MA)

「変化はない」が38.0%と最も多く、次いで「幼稚園」が33.7%、「認定こども園」が24.4%となっています。

図表 89 定期的にご利用したい教育・保育事業に変化があったか



問 31 幼児教育・保育の無償化についてのご意見（FA）

幼児教育・保育の無償化についてのご意見について、345 人が回答しています。
主な意見内容等は以下のとおりです。

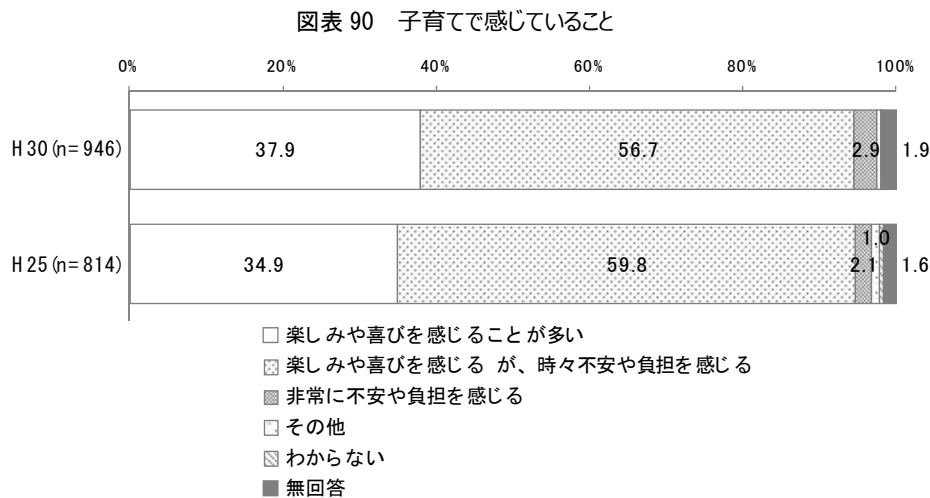
- 無償化になると待機児童が発生しないか心配になる。
- 保育士・幼稚園教諭の待遇改善をして欲しい。
- 無償化の対象者を年齢や課税状況に関係なくして欲しい。
- もっと早く無償化にして欲しかった。
- 無償化をするより医療費無料化や児童手当の増額をして欲しい。
- 無償化になるとありがたい。

12. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて

問 32 子育てで感じていること（SA）

「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」が 56.7%、「楽しみや喜びを感じるが多い」が 37.9%となっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。



問 32-1 理由（FA）

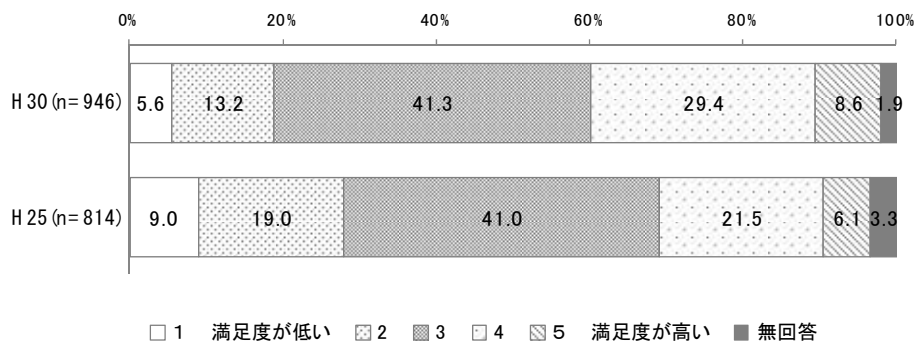
理由について、622 人が回答しています。
主な意見内容等は、以下のとおりです。

- 負担や不安を感じる理由としては、自分の時間が持てない、預けたい保育園に入園できるのか、小学生になったら医療費が高くなる、ほかの子と比べると成長が遅いなどがあげられています。
- 楽しみや喜びを感じるが多い理由としては、子どもの成長が楽しい、「ママ」と言えるようになったとき嬉しい、できることが日々増えていくことに感動するなどがあげられています。

問 33 地域の子育ての環境や支援の満足度 (SA)

中間の「3」が41.3%と最も多く、次いで「4」が29.4%、「2」が13.2%となっています。
前回調査（H25）と比べて満足度が高くなっています。

図表 91 地域の子育ての環境や支援の満足度

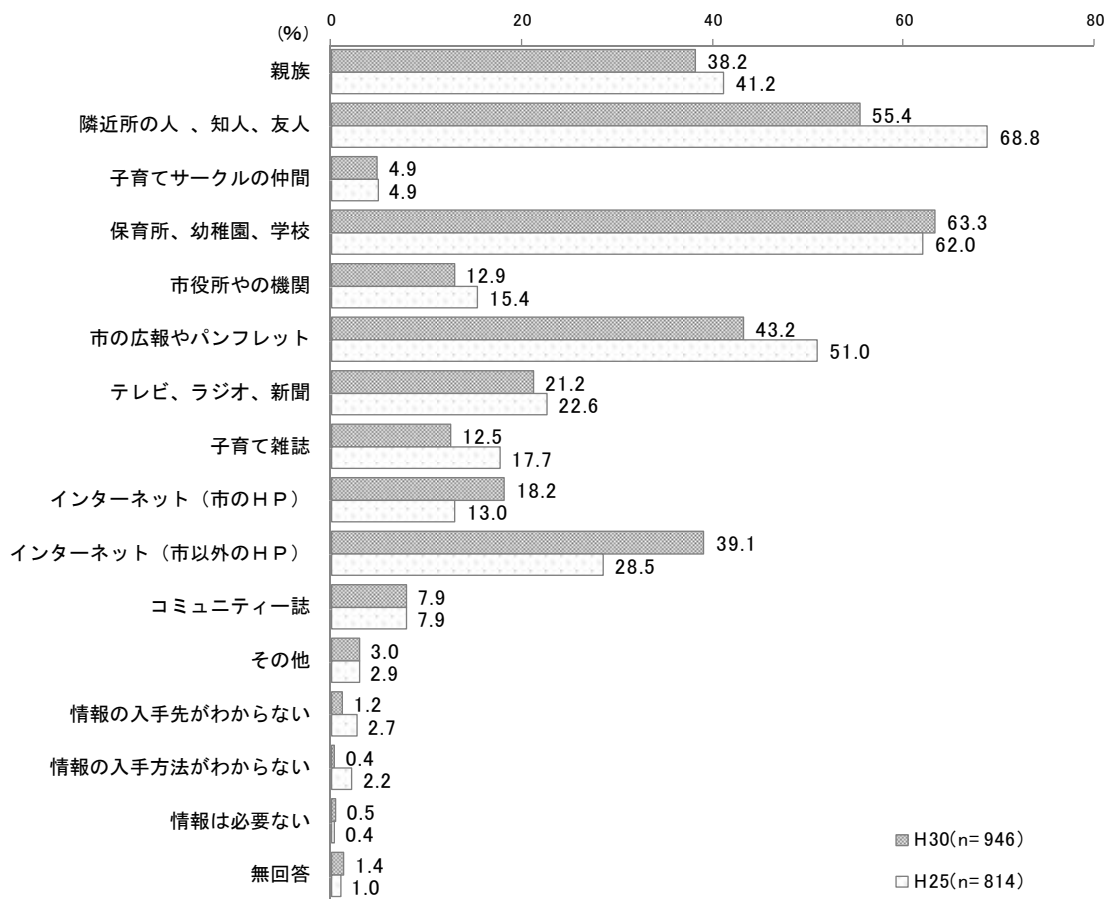


問 34 子育てに関する情報の入手先 (MA)

「保育所、幼稚園、学校」が63.3%と最も多く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が55.4%、「市の広報やパンフレット」が43.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「隣近所の人、知人、友人」が13.4ポイント、「市の広報やパンフレット」が7.8ポイント減少し、「インターネット (市以外のHP)」が10.6ポイント、「インターネット (市のHP)」が5.2ポイント増加しています。

図表 92 子育てに関する情報の入手先

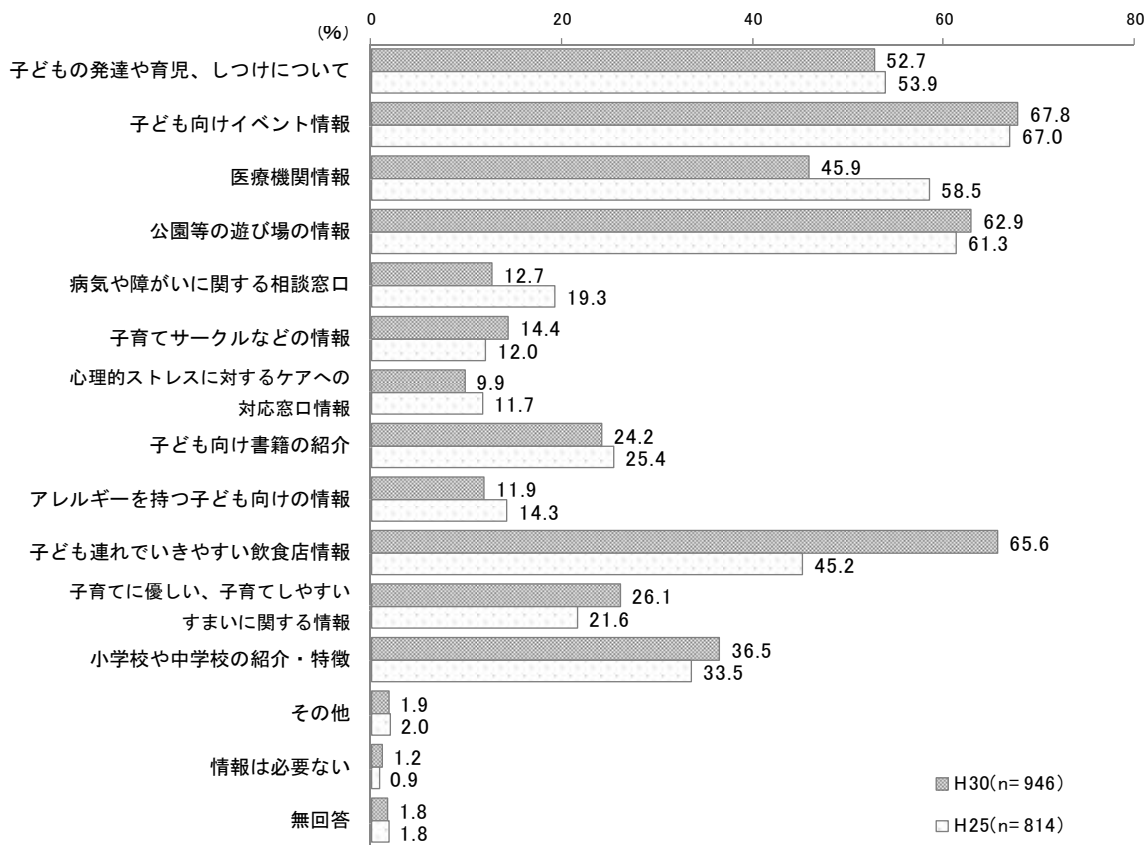


問 35 子育てに関する情報で欲しいこと (MA)

「子ども向けイベント情報」が 67.8%と最も多く、次いで「子ども連れでいきやすい飲食店情報」が 65.6%、「公園等の遊び場の情報」が 62.9%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「子ども連れでいきやすい飲食店情報」が 20.4 ポイント増加しており、「医療機関情報」が 12.6 ポイント減少しています。

図表 93 子育てに関する情報で欲しいこと

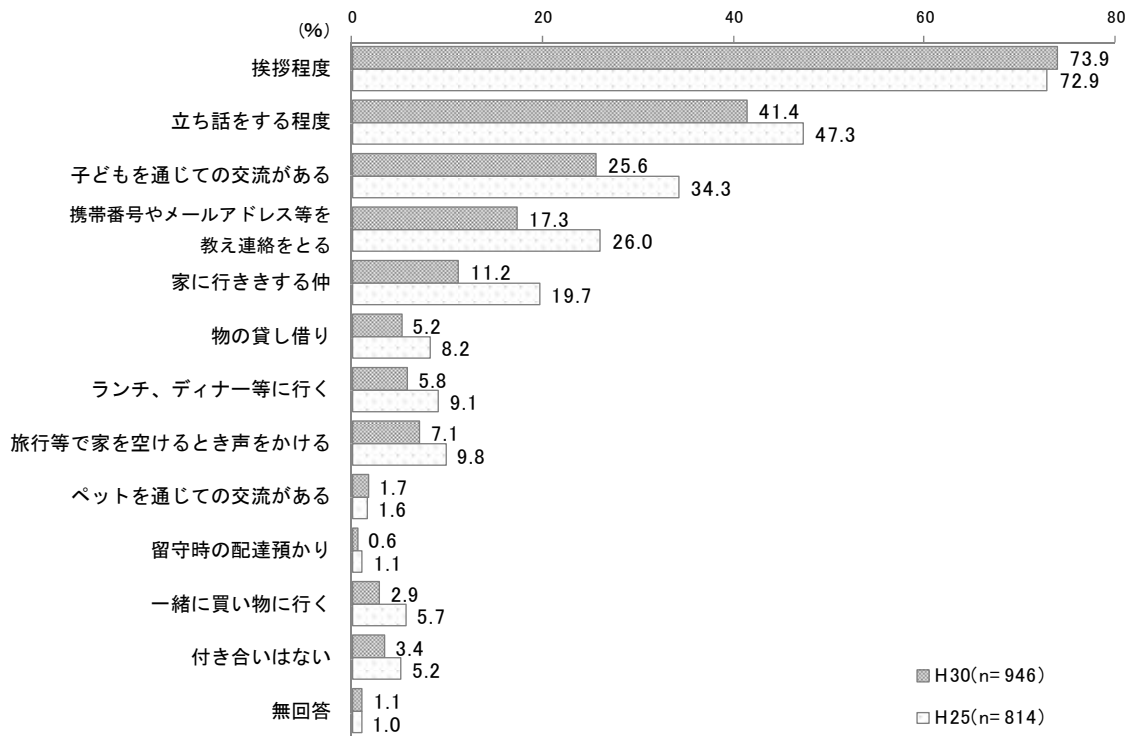


問 36 近所とのつきあいの程度 (MA)

「挨拶程度」が73.9%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が41.4%、「子どもを通じての交流がある」が25.6%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、減少している項目が多くなっています。

図表 94 近所とのつきあいの程度



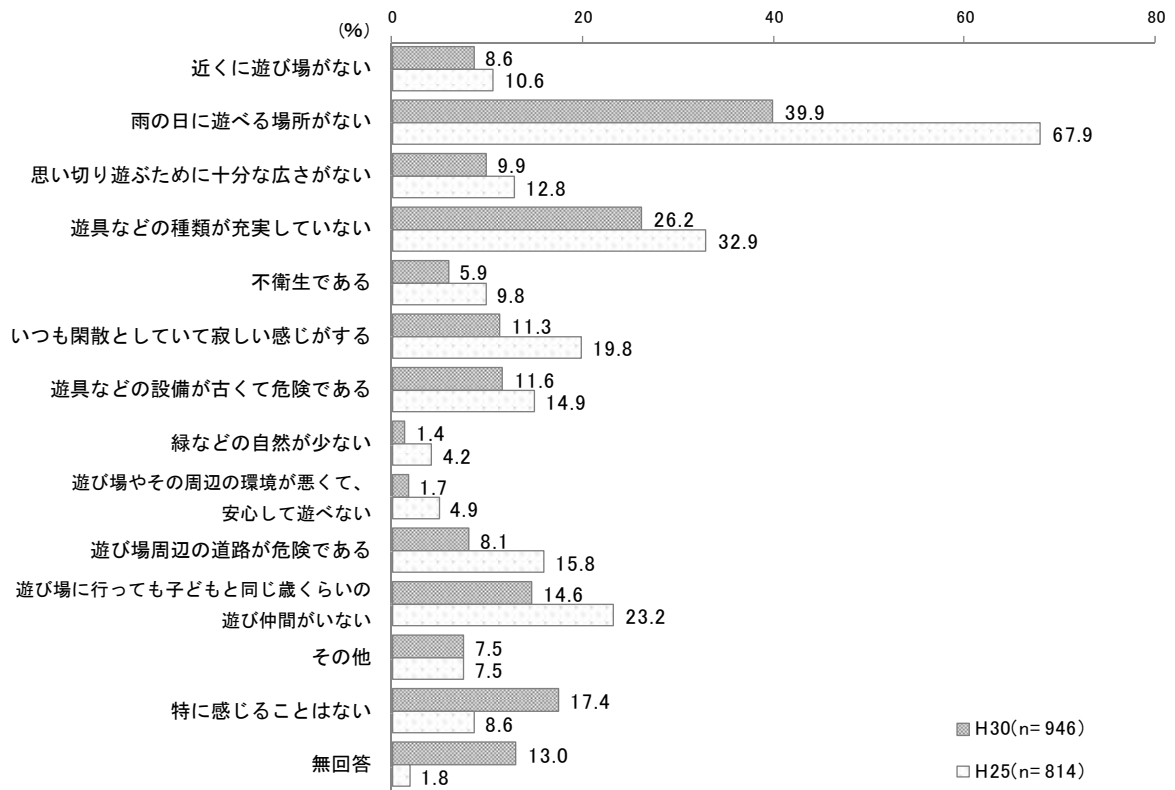
問 37 家の近くの遊び場について感じていること (MA)

「雨の日に遊べる場所がない」が39.9%と最も多いですが、前回調査（H25）と比べると28.0ポイント減少しています。

次いで「遊具などの種類が充実していない」が26.2%、「特に感じることはない」が17.4%となっています。

前回調査（H25）と比べると、全項目で減少し、「特に感じることはない」が増加しています。

図表 95 家の近くの遊び場について感じていること

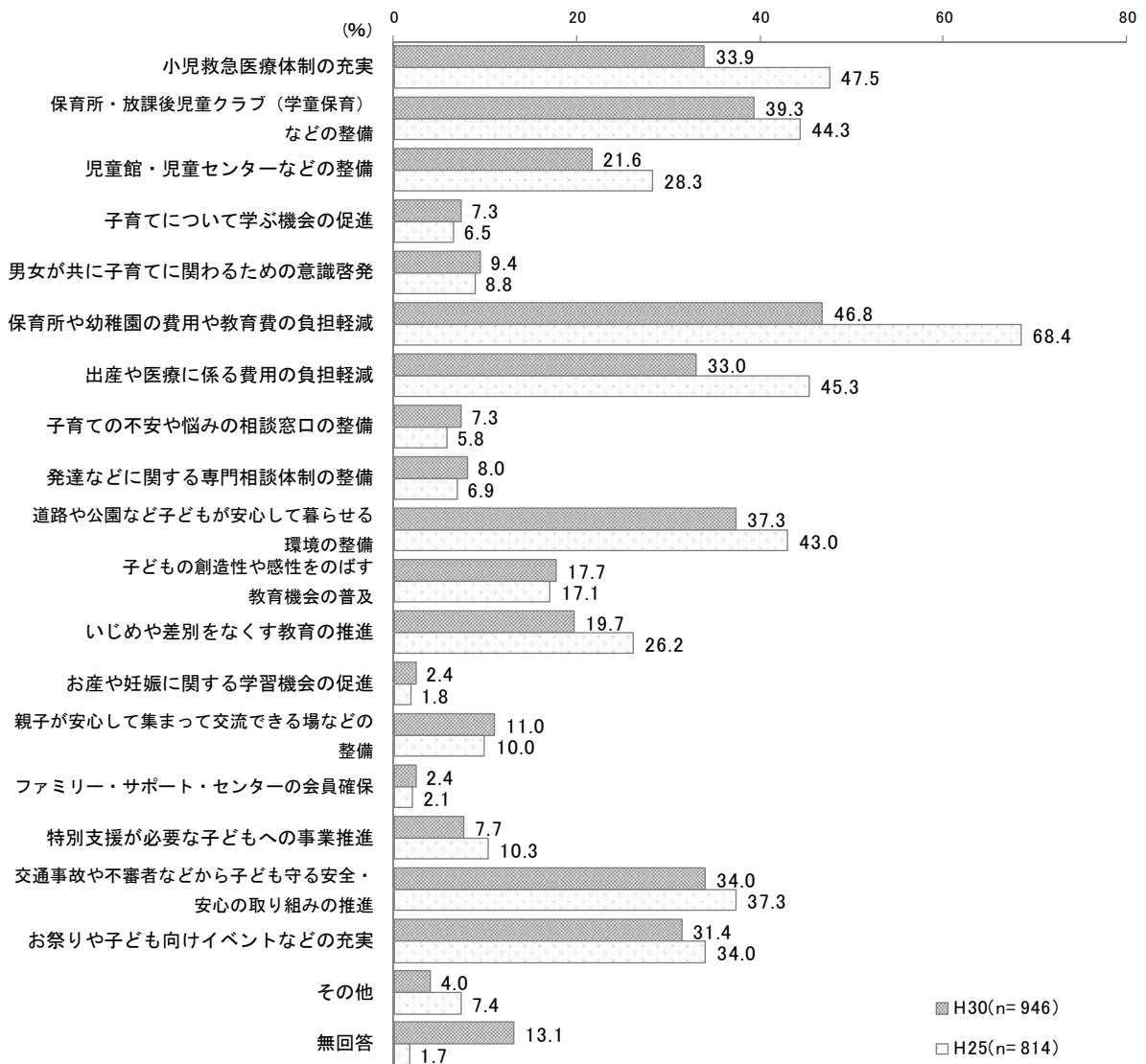


問 38 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと (MA)

「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」が 46.8%と最も多く、次いで「保育所・放課後児童クラブなどの整備」が 39.3%、「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が 37.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」が 21.6 ポイント減少しているほか、多くの項目で減少しています。

図表 96 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと



問 39 子育ての環境や支援に関してのご意見 (FA)

子育ての環境や支援に関してのご意見について、350 人が回答しています。

主な意見内容等は、以下のとおりです。

主な記述内容	件数
1. 地域における子育て支援（経済的支援、周囲の援助・情報）	54
2. 保育サービスの充実（延長、一時保育、預かりなど）	87
3. 生活環境の整備（交通・遊び場）	68
4. 健康の確保及び増進	17
5. 学校教育環境の整備（学校・幼稚園）	11
6. 職場と家庭の両立	25
7. 医療費の無料化	59
8. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実	39
9. 安全等の確保、不審者・交通事故	32
10. 幼児教育・保育の無償化	22
11. その他	56
合計	470

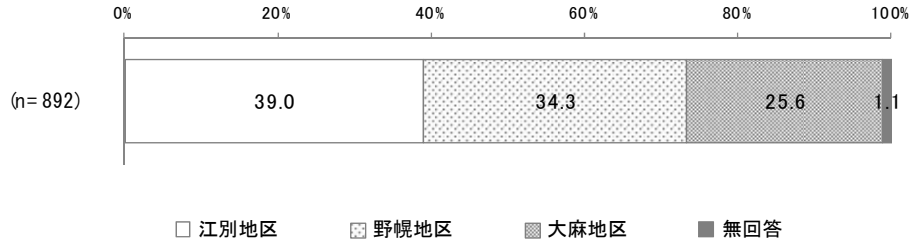
III 小学生調査

1. お子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地域 (FA)

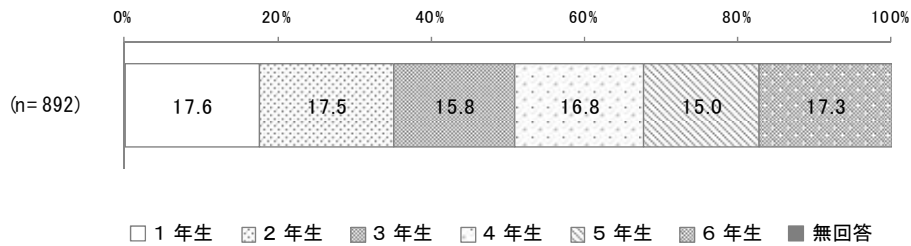
「江別地区」が39.0%、「野幌地区」が34.3%、「大麻地区」が25.6%となっています。

図表 97 お住まいの地域



問2 お子さんの学年 (SA)

図表 98 お子さんの学年

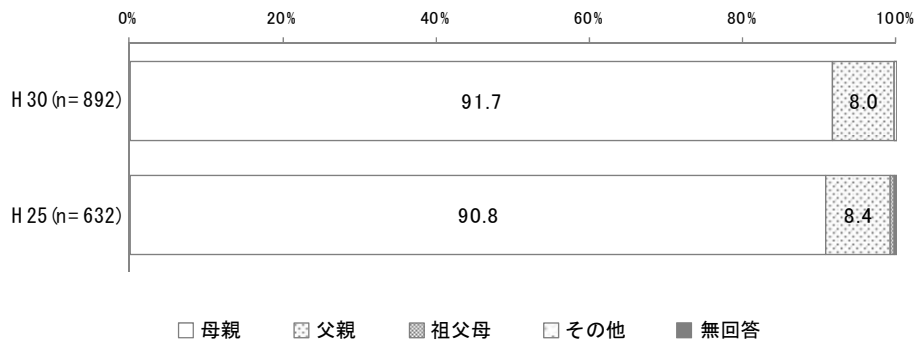


問3 回答者 (SA)

「母親」が91.7%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 99 回答者

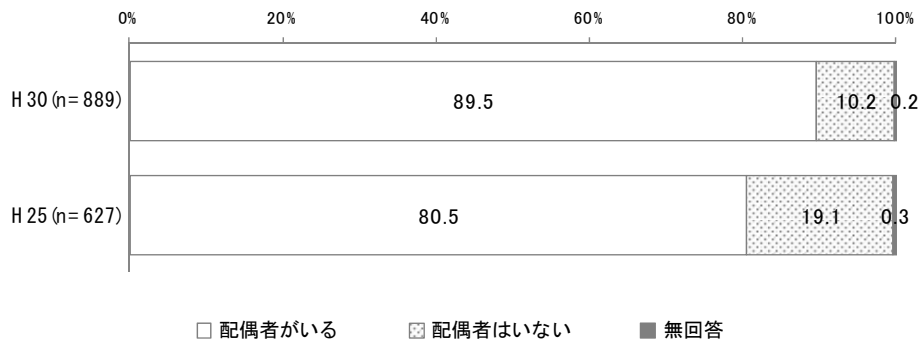


問4 回答者の配偶関係 (SA)

「配偶者がいる」が89.5%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「配偶者がいる」が9.0ポイント増加しています。

図表 100 回答者の配偶関係

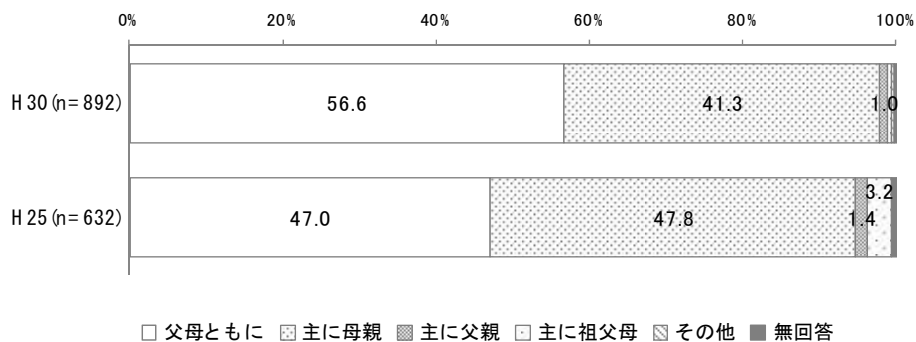


問5 子育てを主に行っている人 (SA)

「父母ともに」が56.6%と最も多く、次いで「主に母親」が41.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「父母ともに」が9.6ポイント増加しています。

図表 101 子育てを主に行っている人

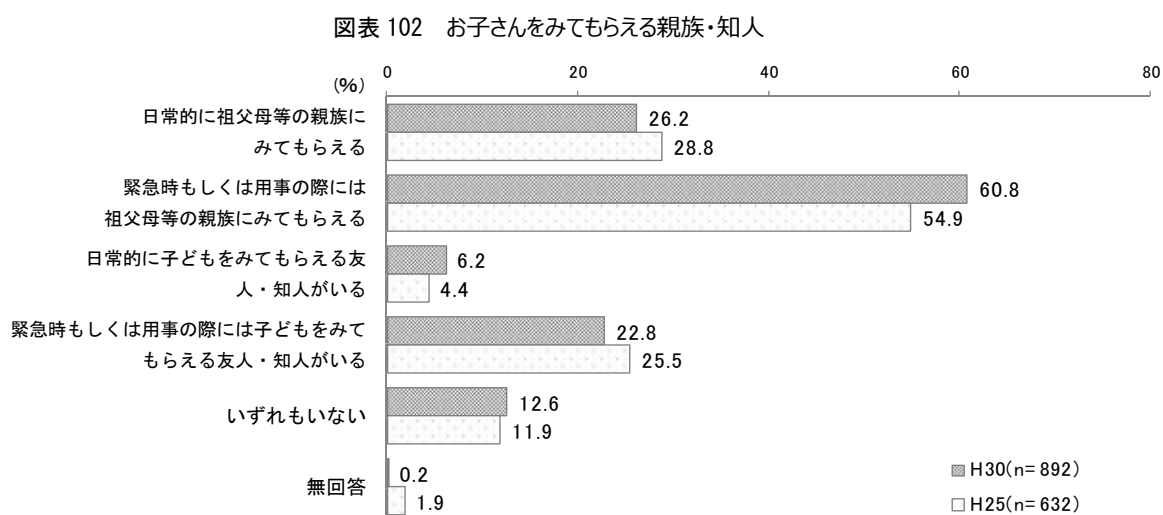


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 お子さんをみてもらえる親族・知人 (MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が26.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が2.6ポイント減少しています。

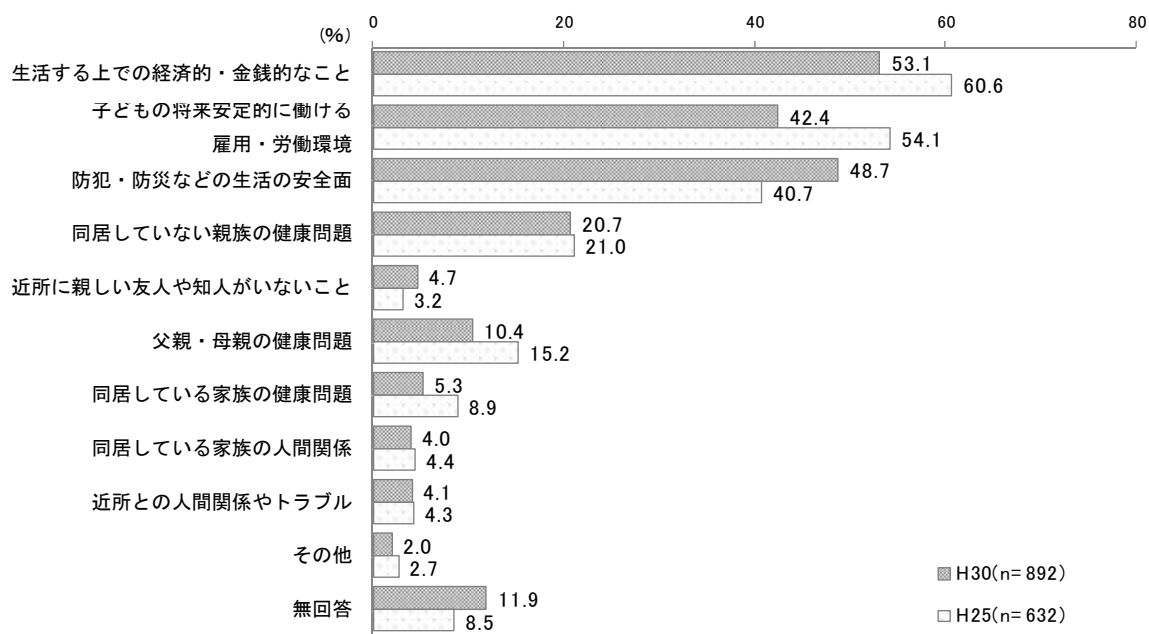


問7 (1) 家庭で気になっていること 生活全般 (MA)

「生活する上での経済的・金銭的なこと」が53.1%で最も多く、次いで「防犯・防災などの生活の安全面」が48.7%、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が42.4%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が11.7ポイント、「生活する上での経済的・金銭的なこと」が7.5ポイント減少し、「防犯・防災などの生活の安全面」が8.0ポイント増加しています。

図表 103 家庭で気になっていること 生活全般

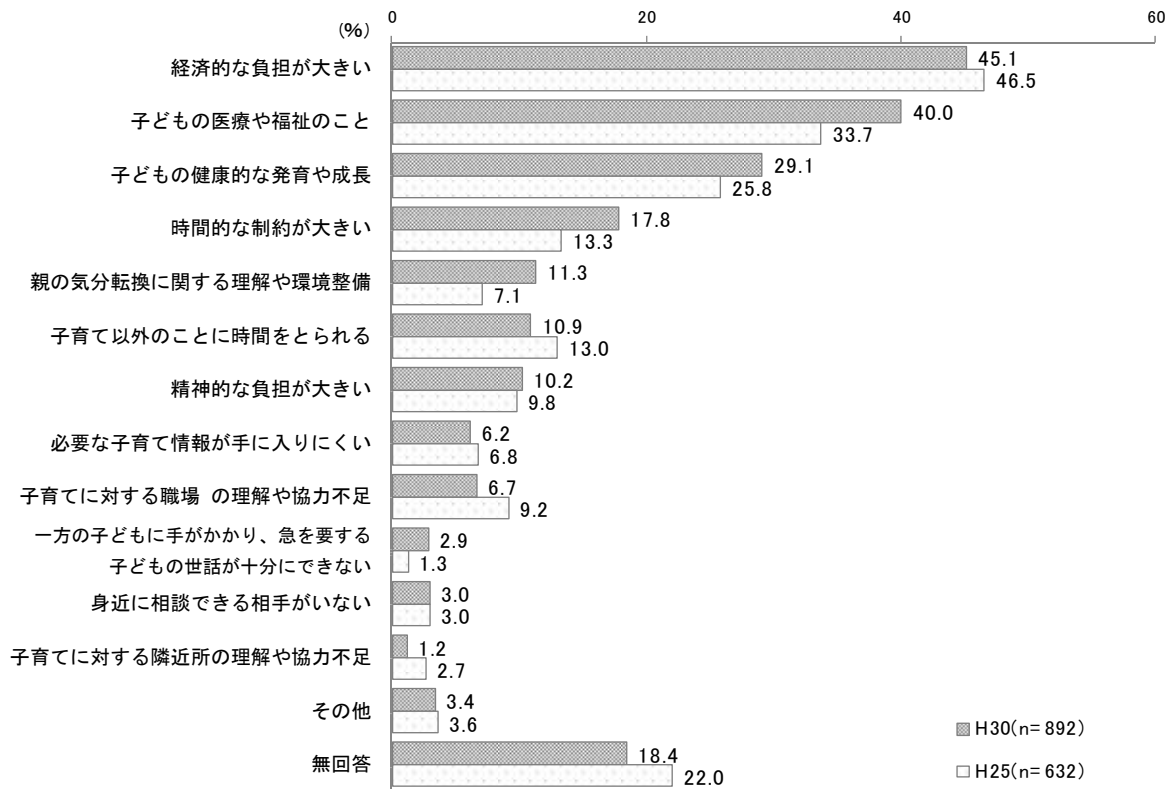


問7 (2) 家庭で気になっていること 子育て (MA)

「経済的な負担が大きい」が45.1%で最も多く、次いで「子どもの医療や福祉のこと」が40.0%、「子どもの健康的な発育や成長」が29.1%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「子どもの医療や福祉のこと」が6.3ポイント増加しています。

図表 104 家庭で気になっていること 子育て

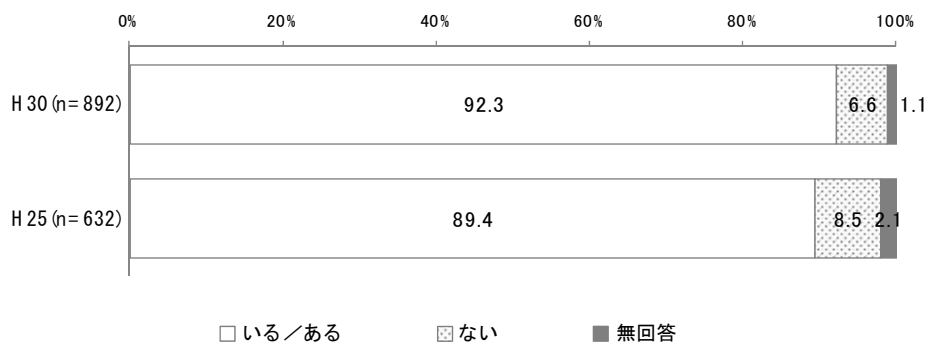


問8 相談相手や場所の有無 (SA)

「いる／ある」が92.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 105 相談相手や場所の有無

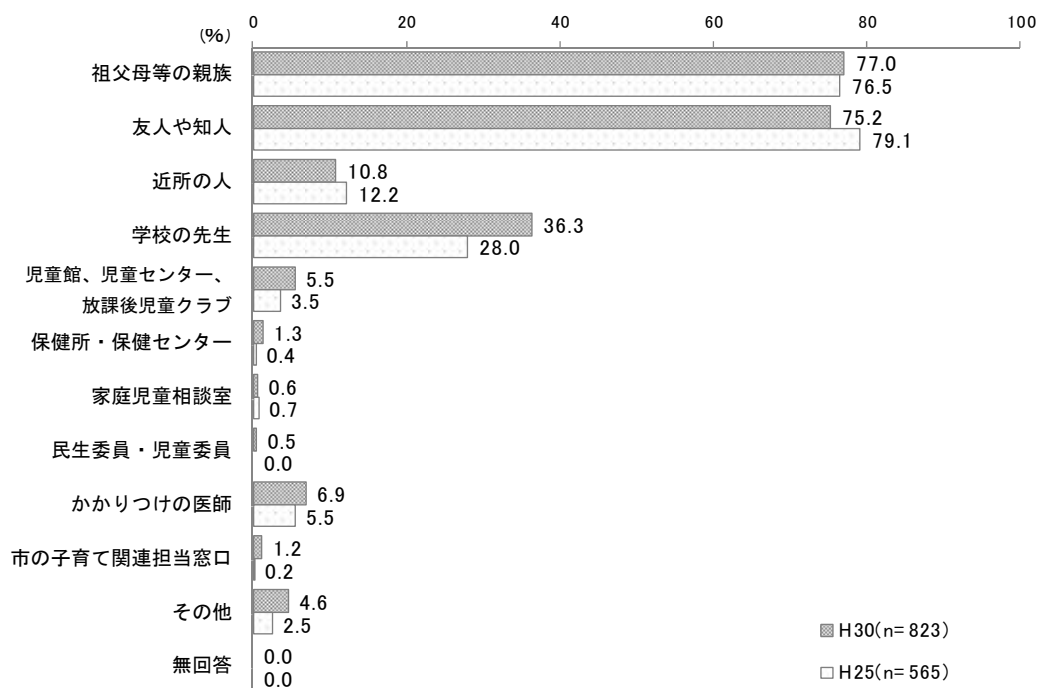


		問 8 相談できる人・相談できる場所の有無			
		合計	いる／ある	ない	無回答
全 体		889	821	58	10
		100.0	92.4	6.5	1.1
問 4 配偶関係	配偶者がいる	796	743	43	10
		100.0	93.3	5.4	1.3
	配偶者がいない	91	77	14	-
		100.0	84.6	15.4	-
問 6 お子さんを みてもらえる親 族・知人	日常的に祖父母等の親族にみてもら える	234	223	8	3
		100.0	95.3	3.4	1.3
	緊急時もしくは用事の際は祖父母等 の親族にみてもらえる	542	506	28	8
		100.0	93.4	5.2	1.5
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知 人がいる	55	53	1	1
		100.0	96.4	1.8	1.8
	緊急時もしくは用事の際は子どもをみ てもらえる友人・知人がいる	203	202	-	1
	100.0	99.5	-	0.5	
	112	88	23	1	
	100.0	78.6	20.5	0.9	

問 8 - 1 相談先 (MA)

「祖父母等の親族」が 77.0%最も多く、次いで「友人や知人」が 75.2%となっています。
前回調査 (H25) と比べると、「学校の先生」が 8.3 ポイント増加しています。

図表 106 相談先



問9 周囲からあればよいと思うサポート（FA）

周囲からあればよいと思うサポートについて、238人が回答しています。
主な意見内容等は、以下のとおりです。

○生活環境・遊び場
放課後児童クラブを6年生まで利用できるようにして欲しい。 放課後児童クラブを学校の近くに開設して欲しい。 放課後児童クラブの利用料金を安くして欲しい。 子どもが集まることができる場所が欲しい。 公園の遊具を充実して欲しい。 児童センターや児童館が欲しい。
○地域における支援
子ども参加のイベントを充実して欲しい。 放課後に学習できる場所を作って欲しい。
○健康・医療
医療費の助成を拡大して欲しい。 予防接種の助成をして欲しい。
○相談体制
小学生になったら誰に相談してよいかわからないので教えて欲しい。 土日に対応する電話相談を実施して欲しい。
○教育環境
学習サポートをして欲しい。 安価な学習塾を作って欲しい。 水泳・スキー・英語のサポートをして欲しい。
○仕事と子育ての両立支援
子どもが病気をしたときに休みやすい環境を作って欲しい。

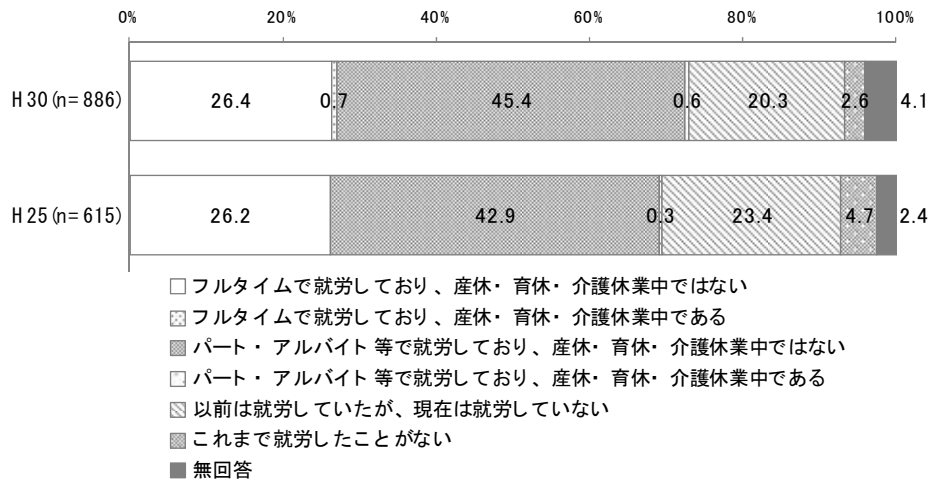
3. 保護者の就労状況について

問10 母親の就労状況 (SA)

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が45.4%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 107 母親の就労状況



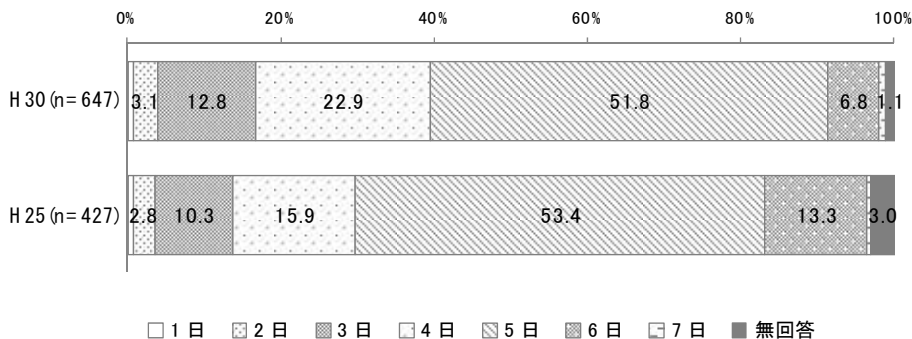
		問10 母親の現在の就労状況							無回答
		合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	
全体		886 100.0	234 26.4	6 0.7	402 45.4	5 0.6	180 20.3	23 2.6	36 4.1
問2 お子さんの学年	1年生	156 100.0	37 23.7	1 0.6	56 35.9	1 0.6	56 35.9	1 0.6	4 2.6
	2年生	155 100.0	32 20.6	2 1.3	74 47.7	2 1.3	35 22.6	4 2.6	6 3.9
	3年生	140 100.0	40 28.6	1 0.7	64 45.7	-	26 18.6	4 2.9	5 3.6
	4年生	149 100.0	41 27.5	1 0.7	70 47.0	-	26 17.4	5 3.4	6 4.0
	5年生	133 100.0	33 24.8	1 0.8	63 47.4	2 1.5	23 17.3	5 3.8	6 4.5
	6年生	153 100.0	51 33.3	-	75 49.0	-	14 9.2	4 2.6	9 5.9

問 10-1 母親の平均就労日数と平均就労時間 (NA)

「5日」が51.8%と最も多くなっています。

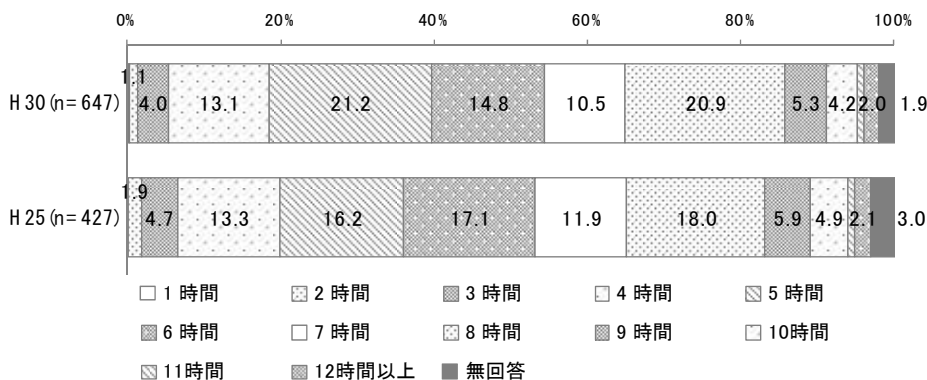
前回調査 (H25) と比べると、「4日」が7.0ポイント増加しています。

図表 108 母親の平均就労日数



「5時間」が21.2%と最も多く、次いで「8時間」が20.9%、「6時間」が14.8%となっています。
 前回調査 (H25) と比べると、「5時間」が5.0ポイント増加しています。

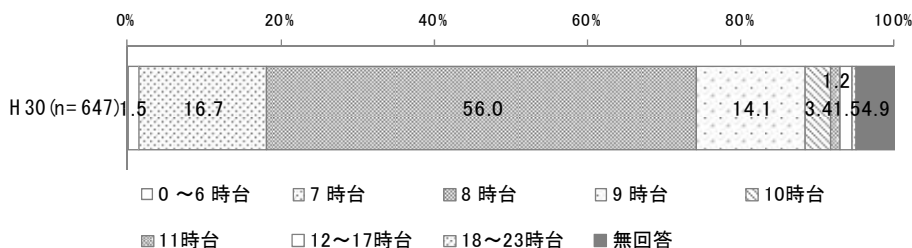
図表 109 母親の平均就労時間



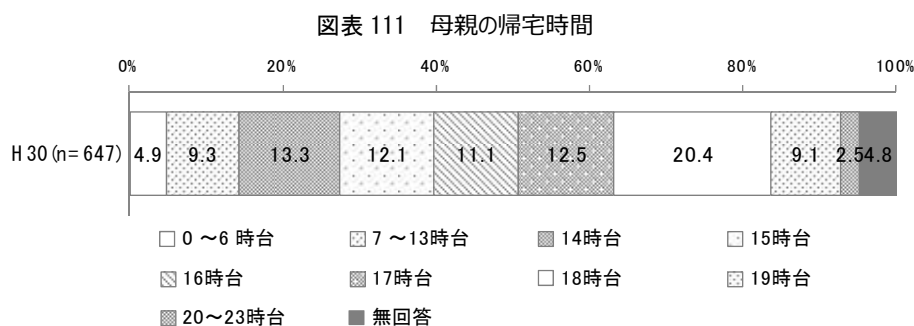
問 10-2 母親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

「8時台」が56.0%と最も多く、次いで「7時台」が16.7%、「9時台」が14.1%となっています。

図表 110 母親の家を出る時間

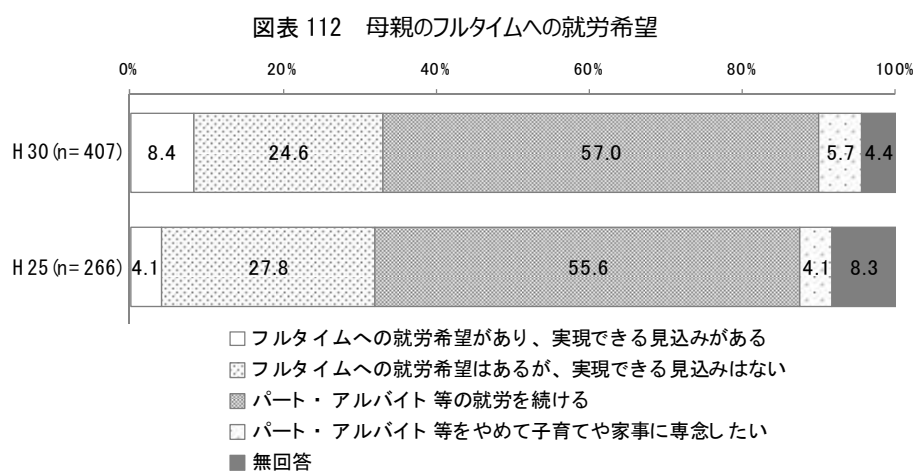


「18 時台」が 20.4%と最も多く、次いで「14 時台」が 13.3%、「17 時台」が 12.5%となっています。



問 10-3 母親のフルタイムへの就労希望 (SA)

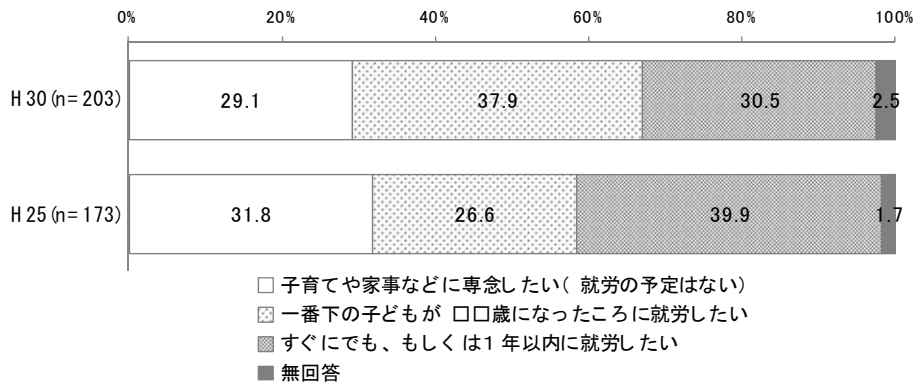
「パート・アルバイト等の就労を続ける」が 57.0%と最も多くなっています。
 前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。



問 10-4 母親の就労希望 (SA)

「一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」が 37.9%と最も多くなっています。
 前回調査 (H25) と比べると、「一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」が 11.3 ポイント増加しています。

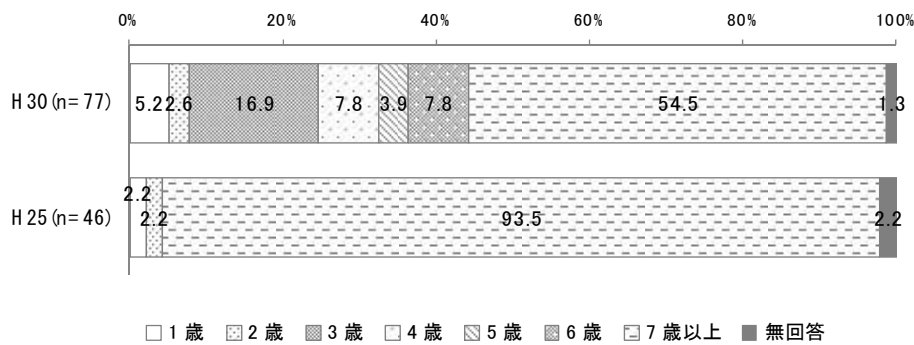
図表 113 母親の就労希望



「一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」と回答した方の〇〇歳頃の年齢は、「7歳以上」が 54.5%と最も多く、次いで「3歳」が 16.9%、「4歳」と「6歳」がともに 7.8%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「7歳以上」が 39.0 ポイント減少し、他の項目では増加している傾向にあります。

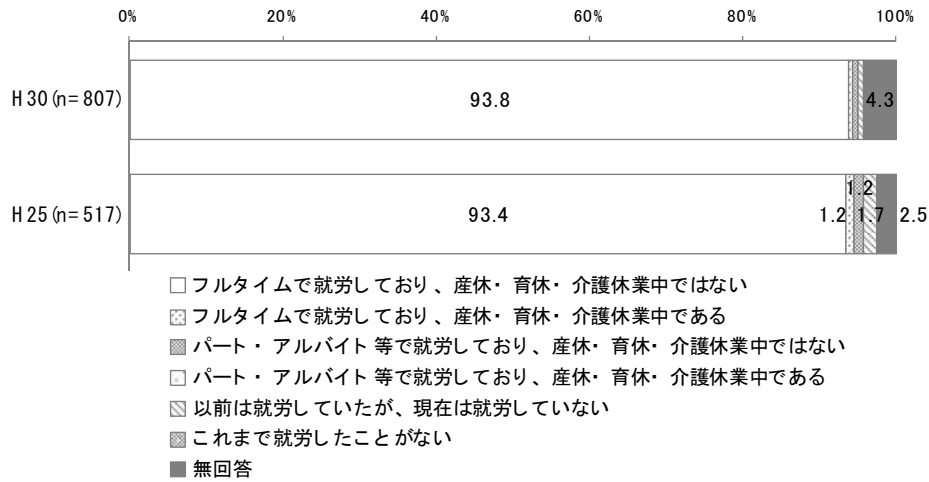
図表 114 〇〇歳になったころ



問 11 父親の就労状況 (SA)

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 93.8%と最も多くなっています。前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

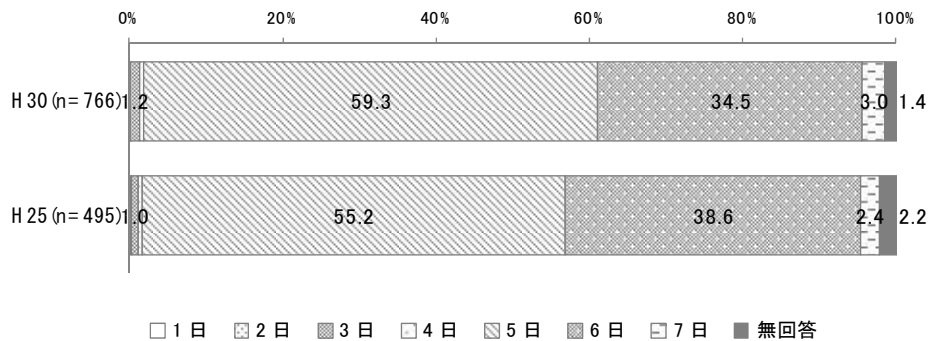
図表 115 父親の就労状況



問 11-1 父親の平均就労日数と平均就労時間 (NA)

「5日」が 59.3%、「6日」が 34.5%となっています。前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

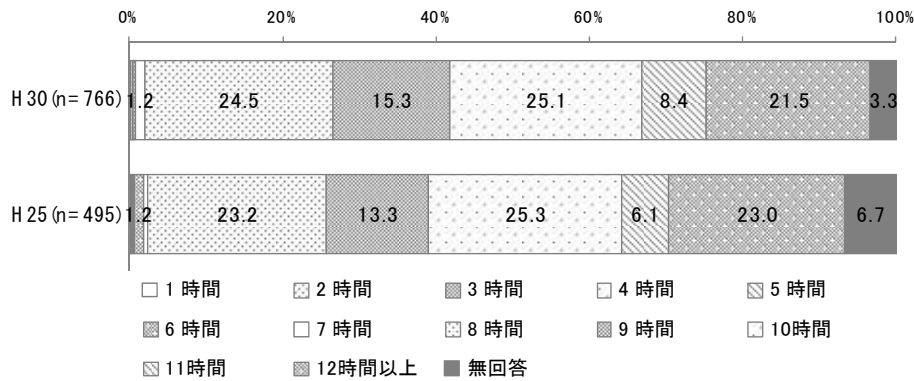
図表 116 父親の平均就労日数



「10 時間」が 25.1%と最も多く、次いで「8 時間」が 24.5%、「12 時間以上」が 21.5%となっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

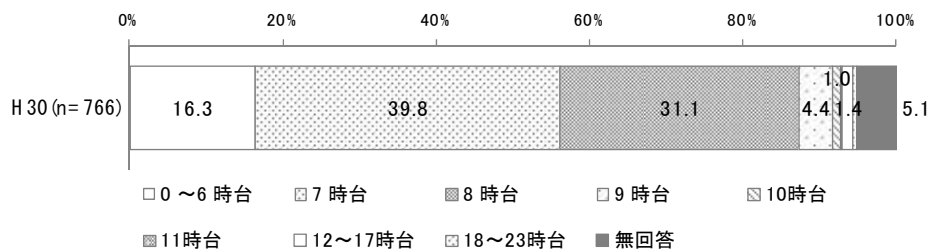
図表 117 父親の平均就労時間



問 11-2 父親の家を出る時間と帰宅時間（NA）

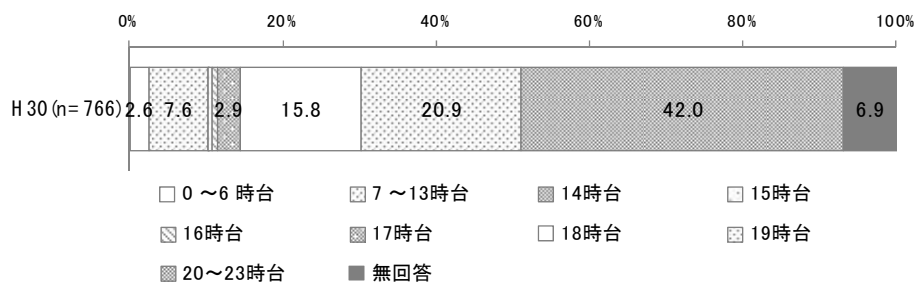
「7 時台」が 39.8%と最も多く、次いで「8 時台」が 31.1%、「0~6 時台」が 16.3%となっています。

図表 118 父親の家を出る時間



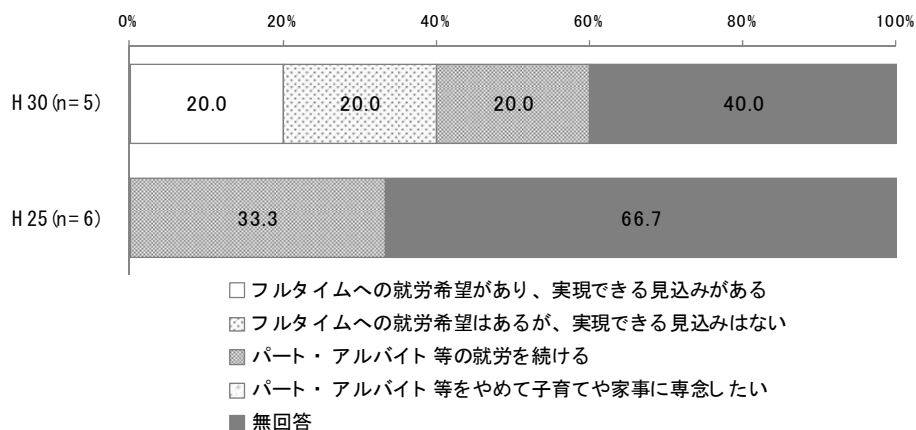
「20~23 時台」が 42.0%と最も多く、次いで「19 時台」が 20.9%、「18 時台」が 15.8%となっています。

図表 119 父親の帰宅時間



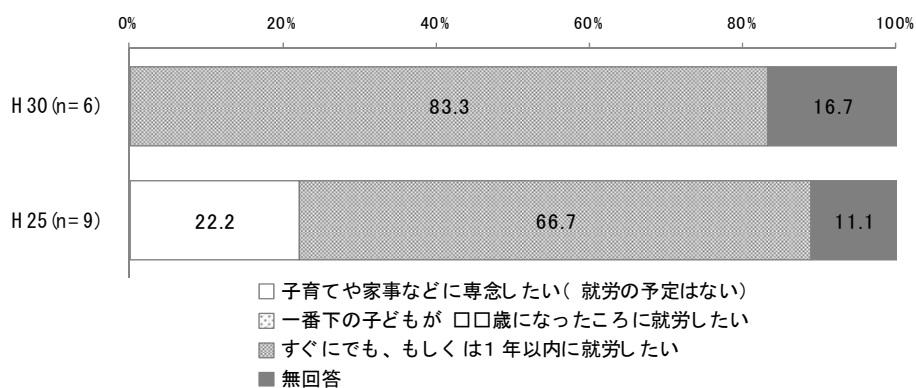
問 11-3 父親のフルタイムへの就労希望 (SA)

図表 120 父親のフルタイムへの就労希望



問 11-4 父親の就労希望 (SA)

図表 121 父親の就労希望



4. 放課後の過ごし方について

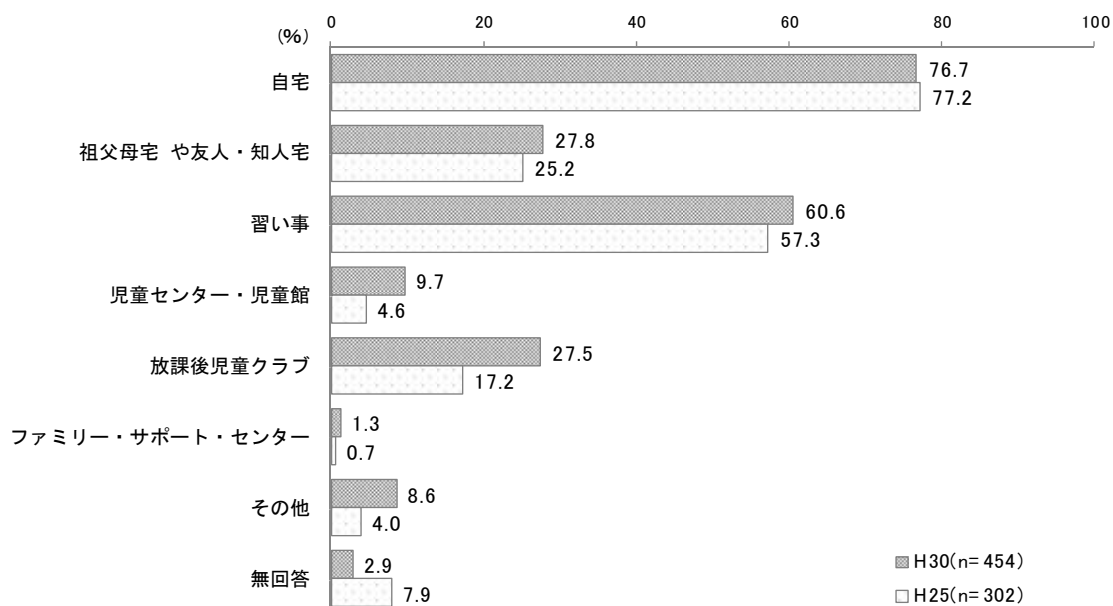
問 12 就学後の放課後に居場所として希望する場所 (MA)

【1～3年生までの間】

「自宅」が76.7%と最も多く、次いで「習い事」が60.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が27.8%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「放課後児童クラブ」が10.3ポイント増加しています。

図表 122 就学後の放課後に居場所として希望する場所 低学年

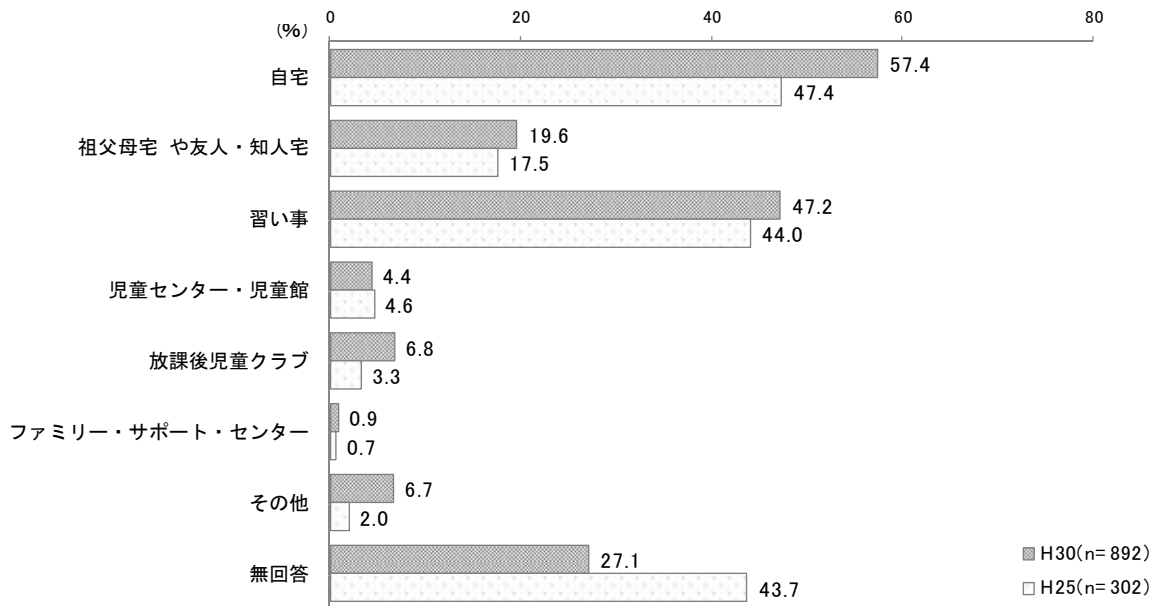


【4～6年生までの間】

「自宅」が57.4%と最も多く、次いで「習い事」が47.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が19.6%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「自宅」が10.0ポイント増加しています。

図表 123 就学後の放課後に居場所として希望する場所 高学年



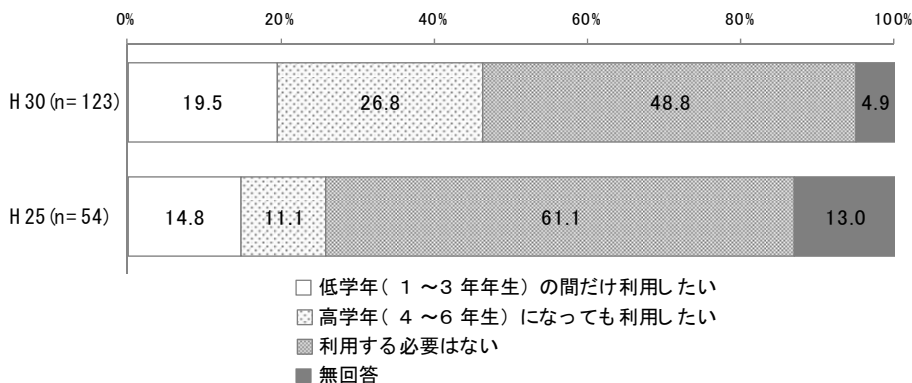
問 13 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇での放課後児童クラブの利用希望（SA）

【土曜日】

「利用する必要はない」が48.8%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が26.8%、「低学年の間だけ利用したい」が19.5%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「利用する必要はない」が12.3ポイント減少し、「高学年になっても利用したい」が15.7ポイント増加しています。

図表 124 土曜日の放課後児童クラブの利用希望

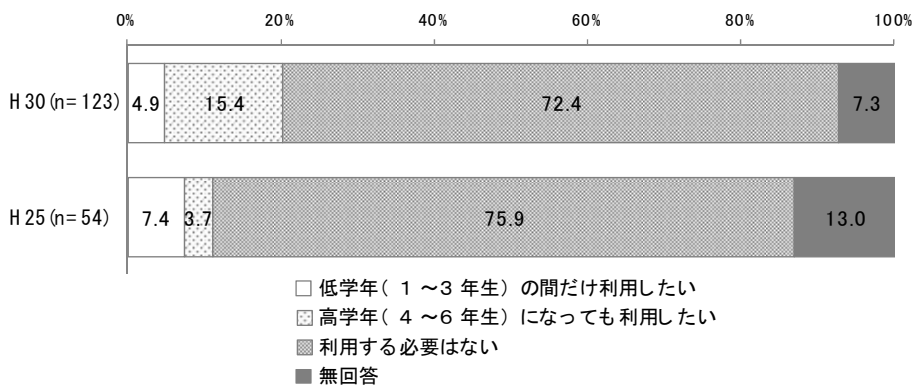


【日曜日・祝日】

「利用する必要はない」が72.4%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が15.4%、「低学年の間だけ利用したい」が4.9%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「高学年になっても利用したい」が11.7ポイント増加しています。

図表 125 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

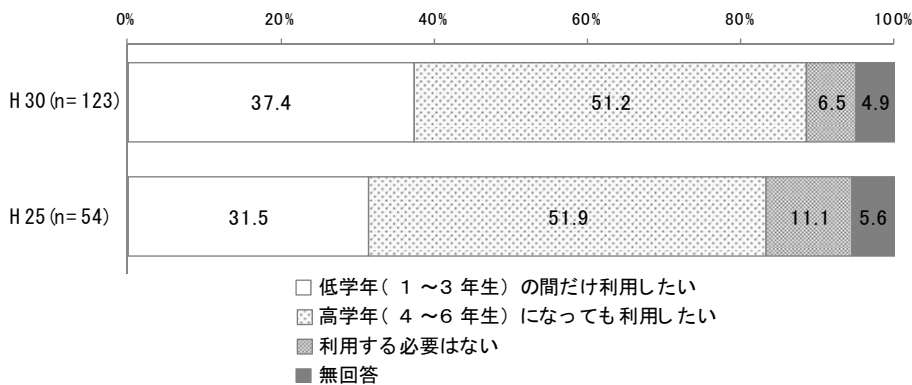


【長期休暇】

「高学年になっても利用したい」が51.2%と最も多く、次いで、「低学年の間だけ利用したい」が37.4%、「利用する必要はない」が6.5%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「低学年の間だけ利用したい」が5.9ポイント増加しています。

図表 126 長期休暇の放課後児童クラブの利用希望



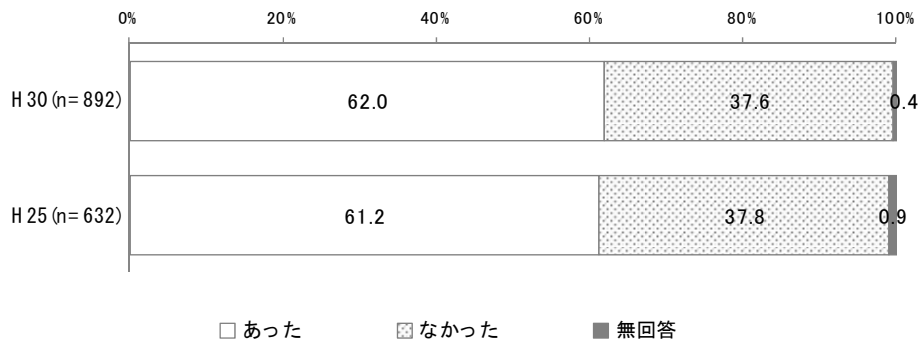
5. お子さんの病気の際の対応について

問 14 お子さんの病気やケガによって事業が利用できなかった経験 (SA)

「あった」が62.0%、「なかった」が37.6%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 127 お子さんの病気やケガによって事業が利用できなかった経験

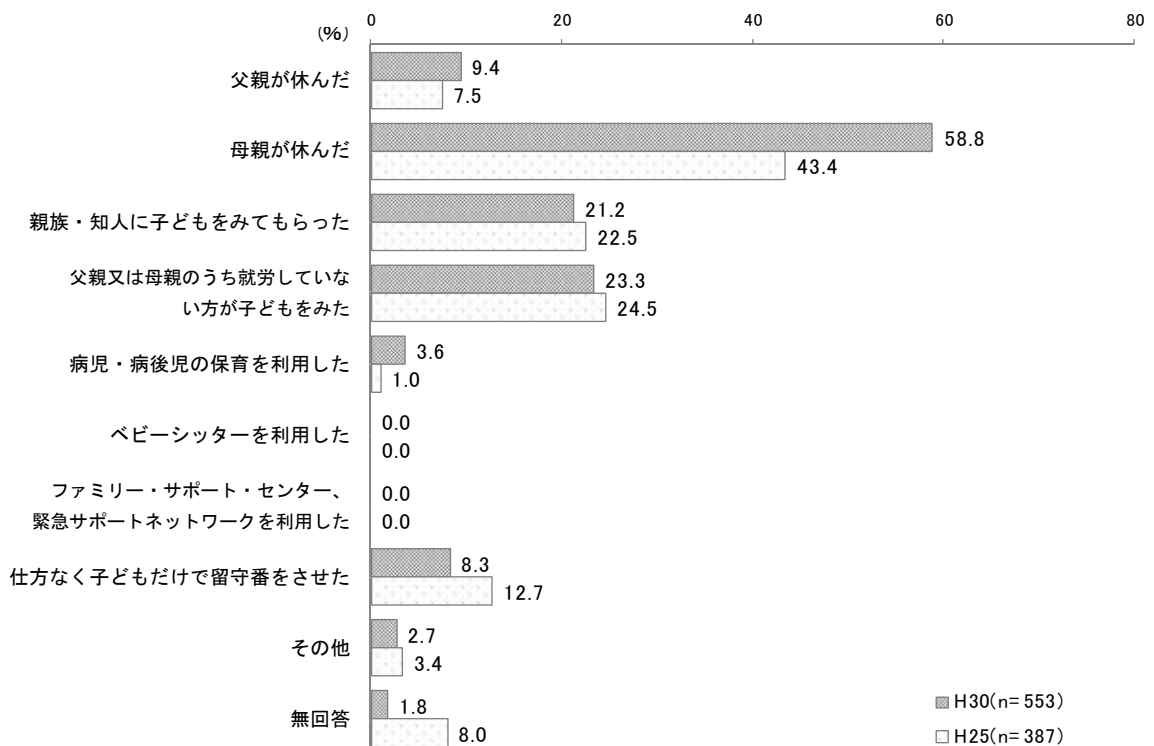


問 14-1 利用できなかったときの対処方法 (MA)

「母親が休んだ」が58.8%と最も多く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が23.3%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が21.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「母親が休んだ」が15.4ポイント増加しています。

図表 128 利用できなかったときの対処方法



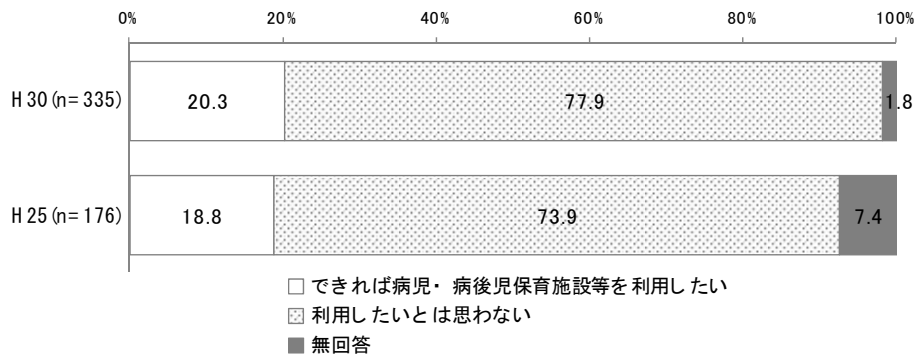
		問14-1 お子さんの病気やけがで学校を休んだ場合の対処方法										
		合計	父親が 休んだ	母親が 休んだ	親族・知人 に子どもを みてもらった	父親又は 母親のうち 就労してい ない方が子 どもをみた	病児・病後 児の保育を 利用した	ベビー シッターを 利用した	ファミリーサ ポート・セン ター、緊急 サポートネッ トワークを利 用した	仕方なく 子どもだけ で留守番を させた	その他	無回答
全 体		553 100.0	52 9.4	325 58.8	117 21.2	129 23.3	20 3.6	-	-	46 8.3	15 2.7	10 1.8
問2 お子さんの 学年	1年生	85 100.0	7 8.2	45 52.9	13 15.3	30 35.3	10 11.8	-	-	1 1.2	3 3.5	1 1.2
	2年生	97 100.0	6 6.2	57 58.8	31 32.0	20 20.6	5 5.2	-	-	2 2.1	1 1.0	1 1.0
	3年生	88 100.0	16 18.2	52 59.1	14 15.9	23 26.1	1 1.1	-	-	7 8.0	1 1.1	2 2.3
	4年生	107 100.0	10 9.3	65 60.7	24 22.4	20 18.7	4 3.7	-	-	9 8.4	2 1.9	2 1.9
	5年生	82 100.0	6 7.3	41 50.0	20 24.4	24 29.3	-	-	-	12 14.6	6 7.3	-
	6年生	94 100.0	7 7.4	65 69.1	15 16.0	12 12.8	-	-	-	15 16.0	2 2.1	4 4.3

問 14-2 病児・病後児の保育施設等の利用希望 (MA)

「利用したいとは思わない」が77.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が20.3%となっています。

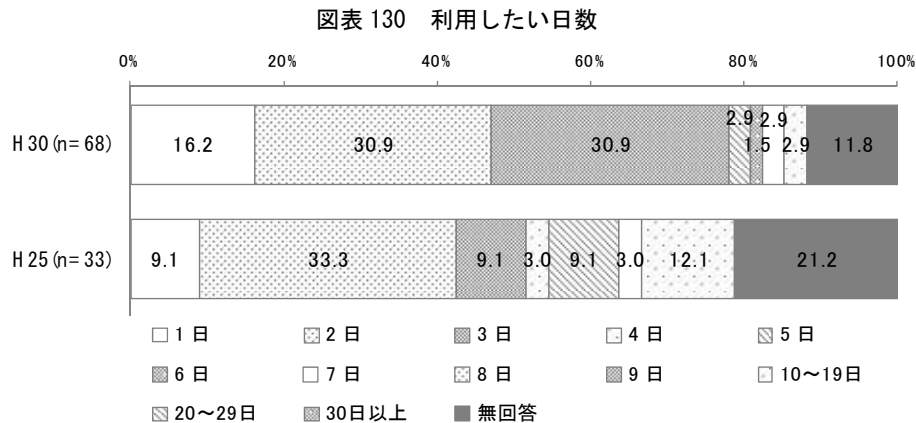
前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表 129 病児・病後児の保育施設等の利用希望



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方の利用したい日数は、「2日」と「3日」がともに30.9%と最も多くなっています。

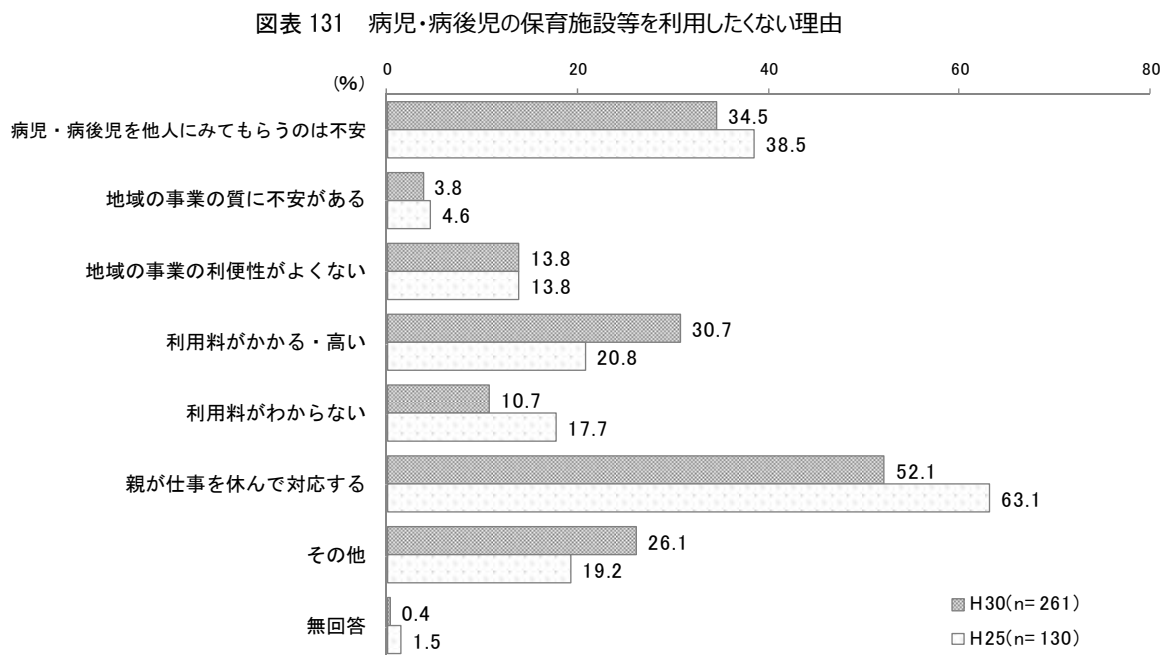
前回調査（H25）と比べると、「3日」が21.8ポイント増加しています。



問 14-3 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由 (MA)

「親が仕事を休んで対応する」が52.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が34.5%、「利用料がかかる・高い」が30.7%となっています。

前回調査（H25）と比べると、「親が仕事を休んで対応する」が11.0ポイント減少し、「利用料がかかる・高い」が9.9ポイント増加しています。



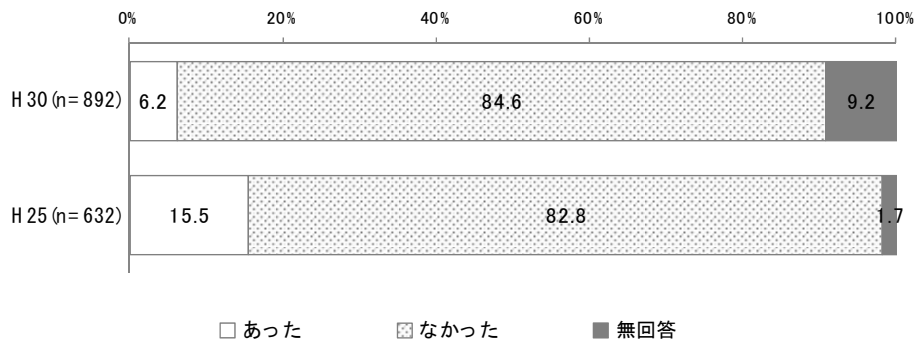
6. 一時預かり等の利用について

問 15 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況 (SA) (MA)

「なかった」が84.6%、「あった」が6.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「あった」が9.3ポイント減少しています。

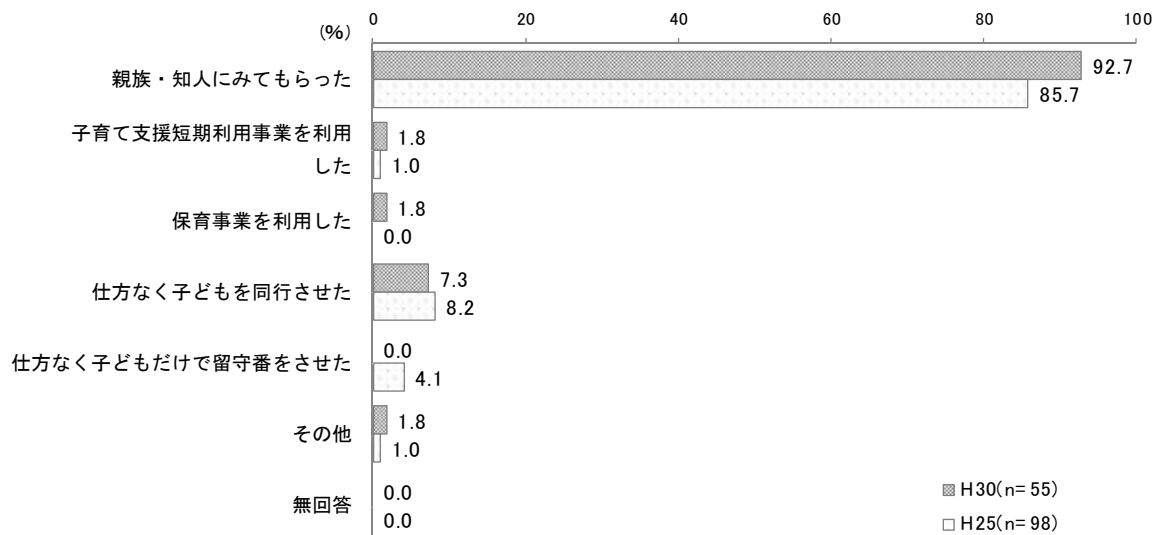
図表 132 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況



「あった」と回答した方の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が92.7%と最も多くなっています。

前回調査 (H25) と比べると、「親族・知人にみてもらった」が7.0ポイント増加しています。

図表 133 対処方法

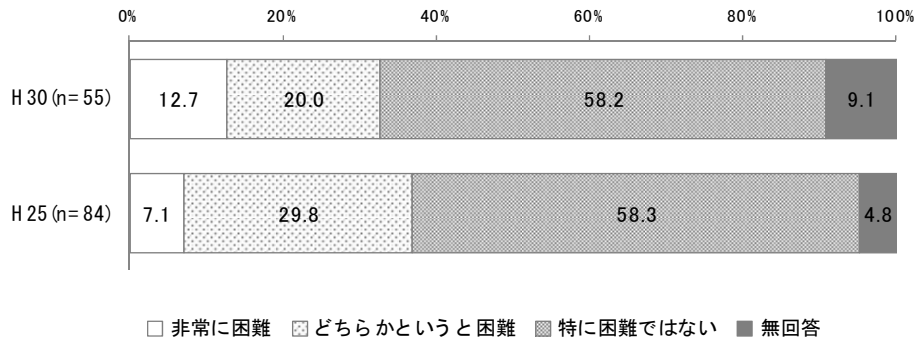


問 15-1 宿泊を伴う一時預かり等の利用する場合の困難度 (SA)

「特に困難ではない」が 58.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「どちらかという困難」が 9.8 ポイント減少しています。

図表 134 宿泊を伴う一時預かり等の利用する場合の困難度



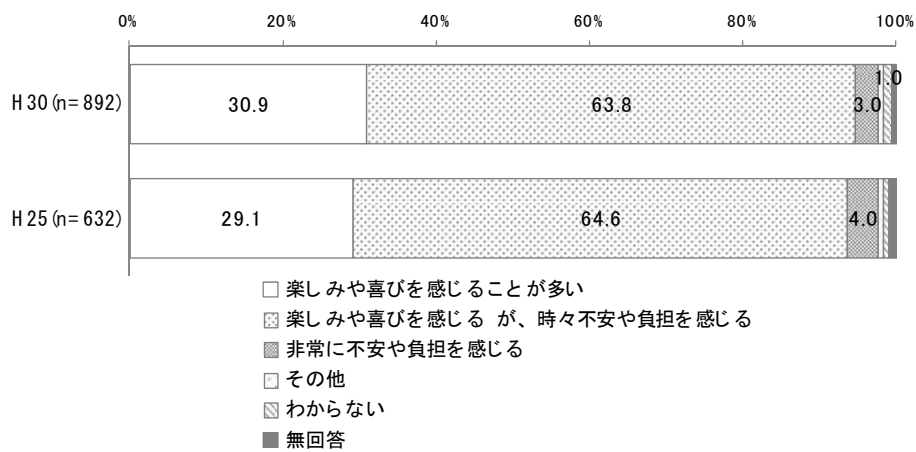
7. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて

問 16 子育てで感じていること (SA)

「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」が 63.8%、「楽しみや喜びを感じるが多い」が 30.9%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 135 子育てで感じていること



問 16-1 子育てで感じていることの原因 (FA)

子育てで感じていることの原因について、590 人が回答しています。

主な意見内容等は、以下のとおりです。

○負担や不安を感じる理由としては、自分の子育てが正しいのか不安、子どもの勉強をみることが負担、少年団や部活動の送迎負担などがあげられています。

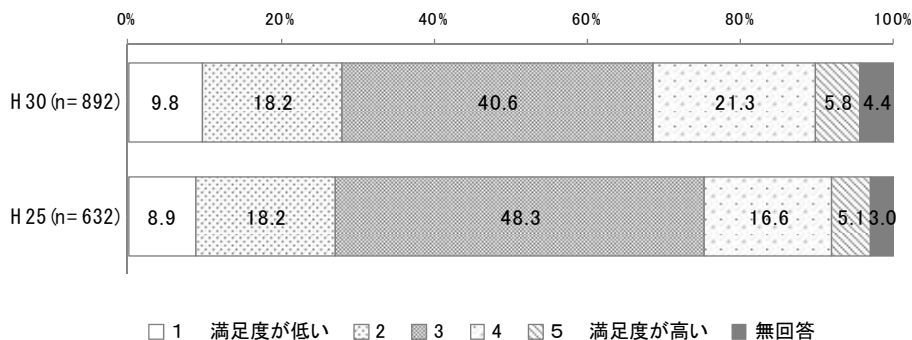
○楽しみや喜びを感じる人が多い理由としては、成長を感じると嬉しい、子どもがかわいいので楽しい、困難を乗り越えていくたびに自信をつけていく姿をみると嬉しいなどがあげられています。

問 17 地域の子育ての環境や支援の満足度 (SA)

中間の「3」が 40.6%と最も多く、次いで「4」が 21.3%、「2」が 18.2%となっています。

前回調査 (H25) と比べて満足度が高くなっています。

図表 136 地域の子育ての環境や支援の満足度

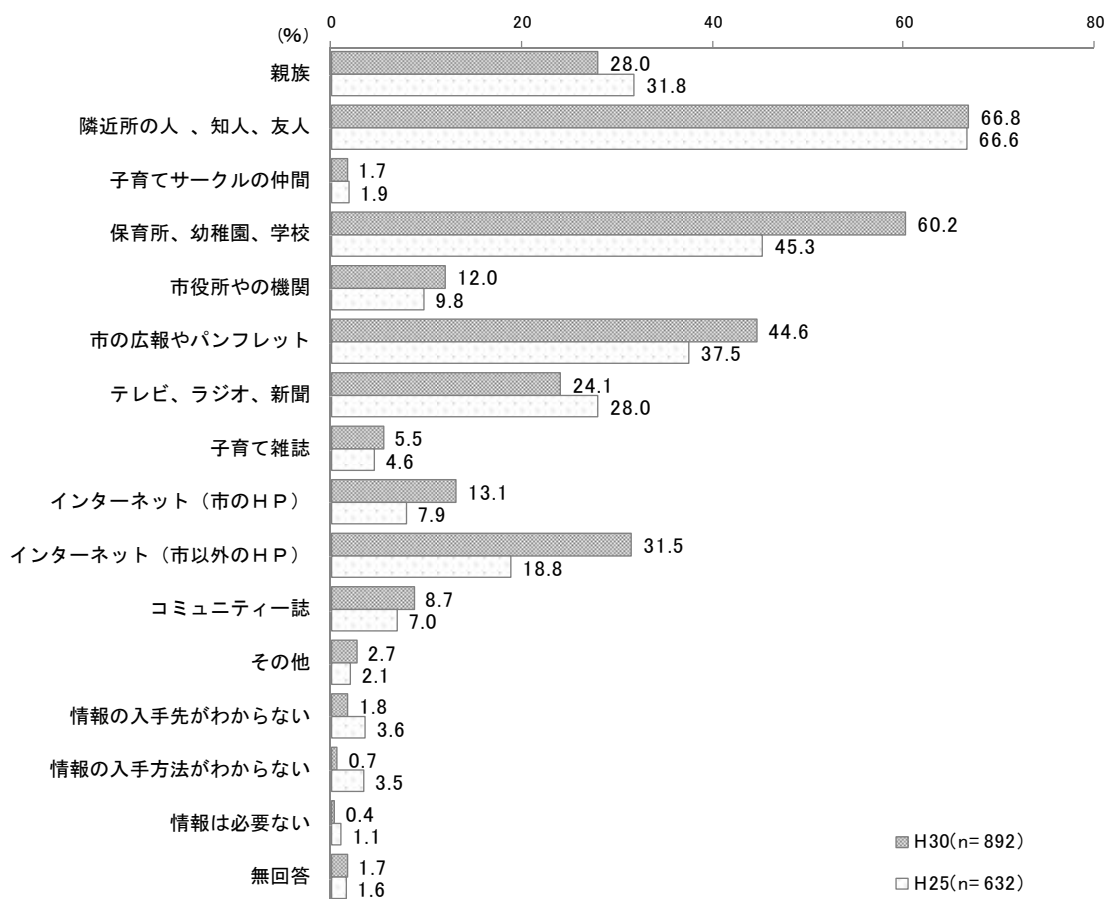


問 18 子育てに関する情報の入手先 (MA)

「隣近所の人、知人、友人」が 66.8%と最も多く、次いで「保育所、幼稚園、学校」が 60.2%、「市の広報やパンフレット」が 44.6%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「保育所、幼稚園、学校」が 14.9 ポイント、「インターネット (市以外の HP)」が 12.7 ポイント、「市の広報やパンフレット」が 7.1 ポイント、「インターネット (市の HP)」が 5.2 ポイント増加しています。

図表 137 子育てに関する情報の入手先

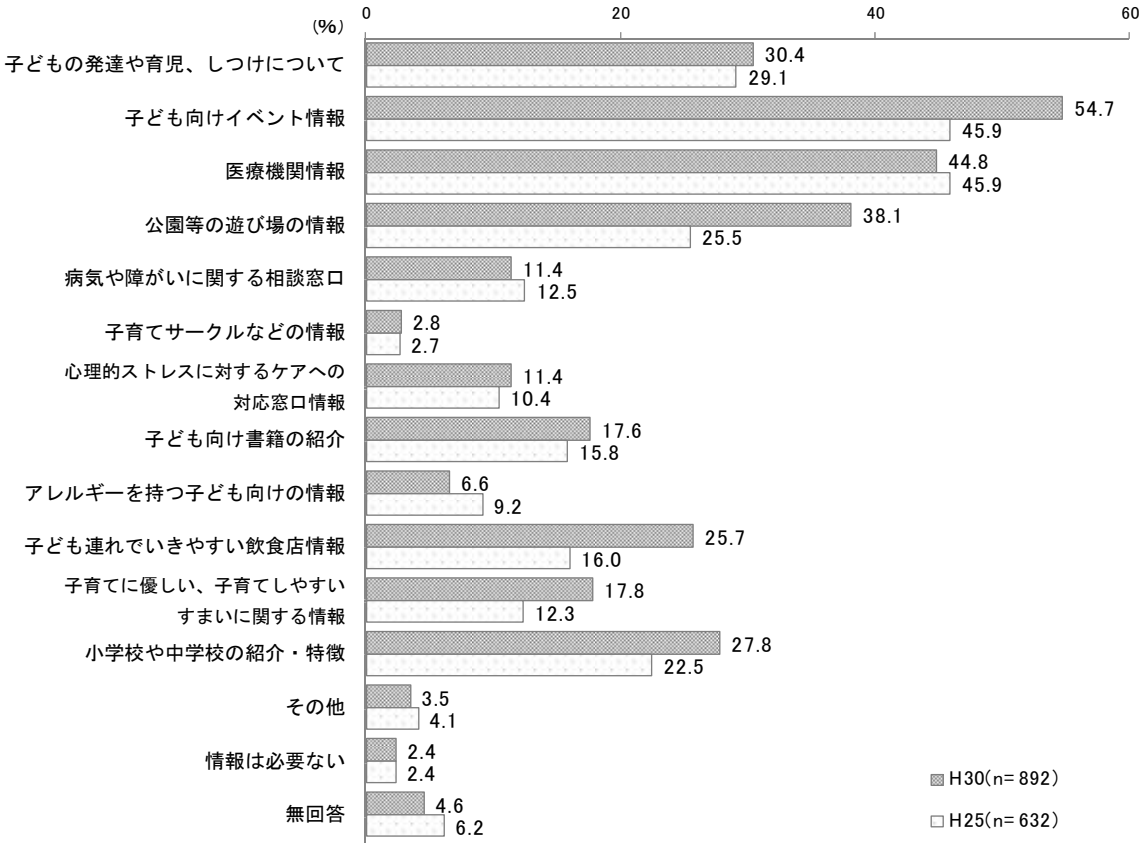


問 19 子育てに関する情報で欲しいこと (MA)

「子ども向けイベント情報」が 54.7%と最も多く、次いで「医療機関情報」が 44.8%、「公園等の遊び場の情報」が 38.1%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「公園等の遊び場の情報」が 12.6 ポイント、「子ども向けイベント情報」が 9.8 ポイント、「子ども連れでいきやすい飲食店情報」が 9.7 ポイント増加しています。

図表 138 子育てに関する情報で欲しいこと

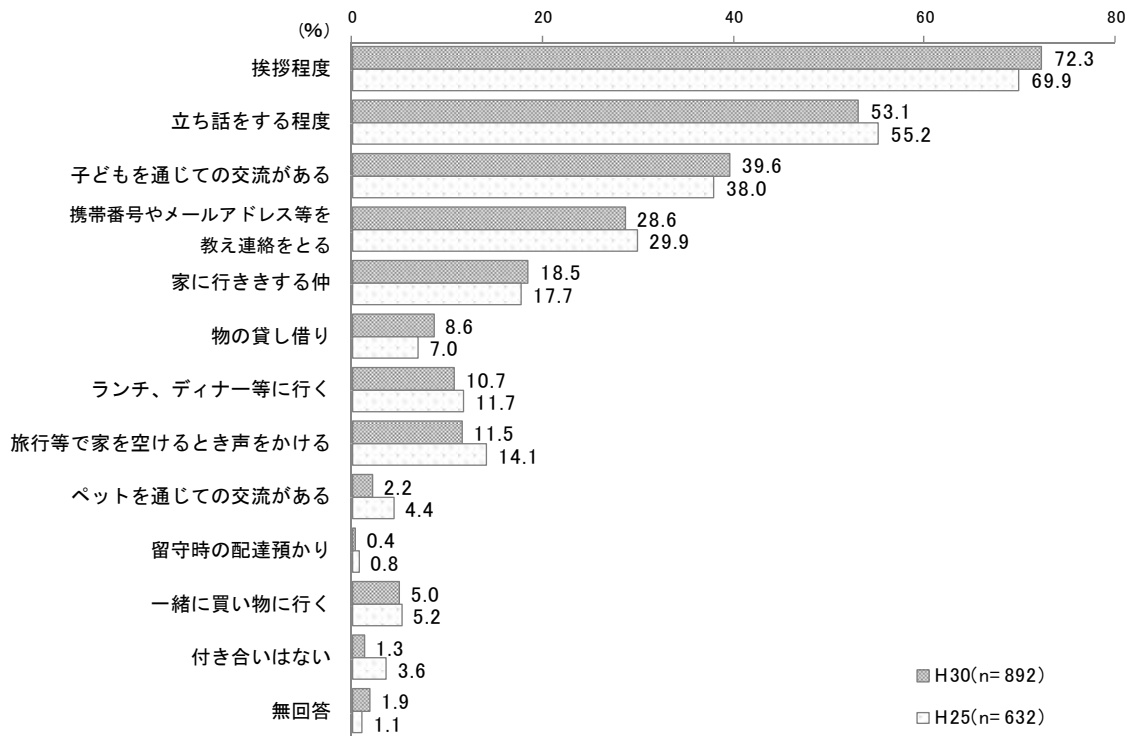


問 20 近所とのつきあいの程度 (MA)

「挨拶程度」が72.3%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が53.1%、「子どもを通じての交流がある」が39.6%となっています。

前回調査 (H25) と比べて大きな差はみられません。

図表 139 近所とのつきあいの程度

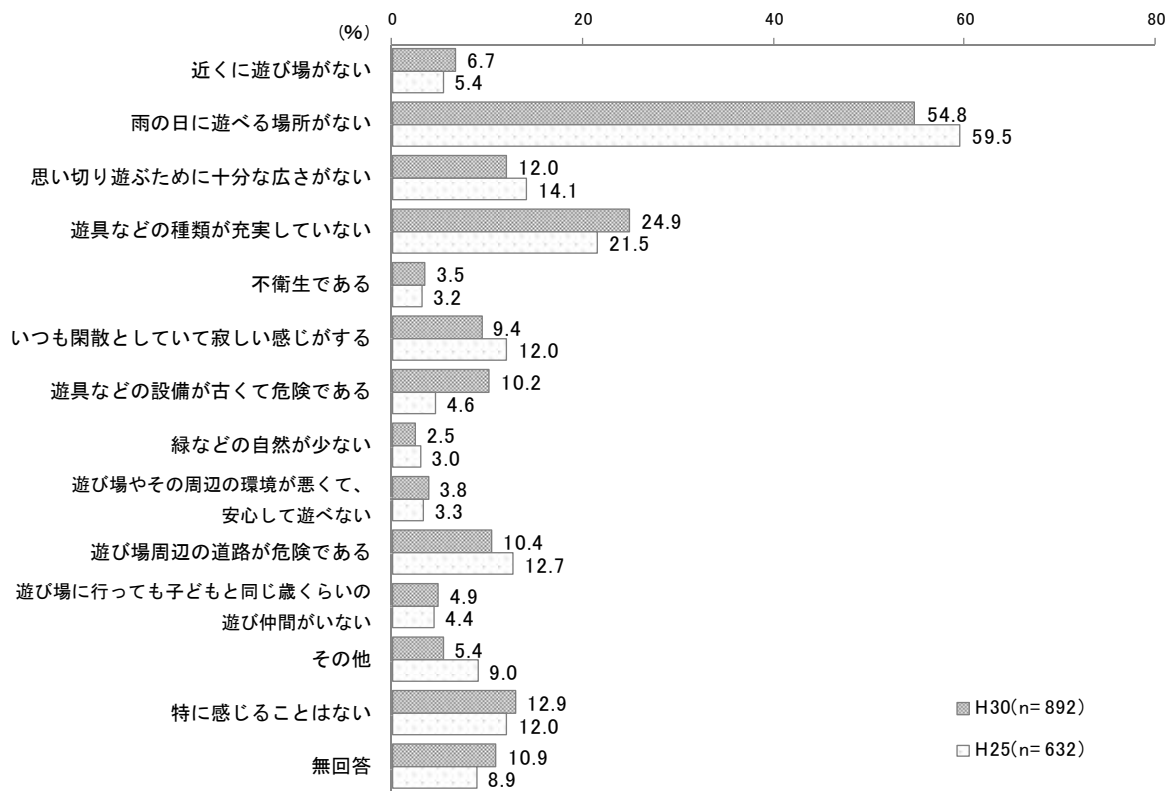


問 21 家の近くの遊び場について感じていること (MA)

「雨の日に遊べる場所がない」が54.8%と最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が24.9%、「特に感じることはない」が12.9%となっています。

前回調査（H25）と比べて大きな差はみられません。

図表 140 家の近くの遊び場について感じていること

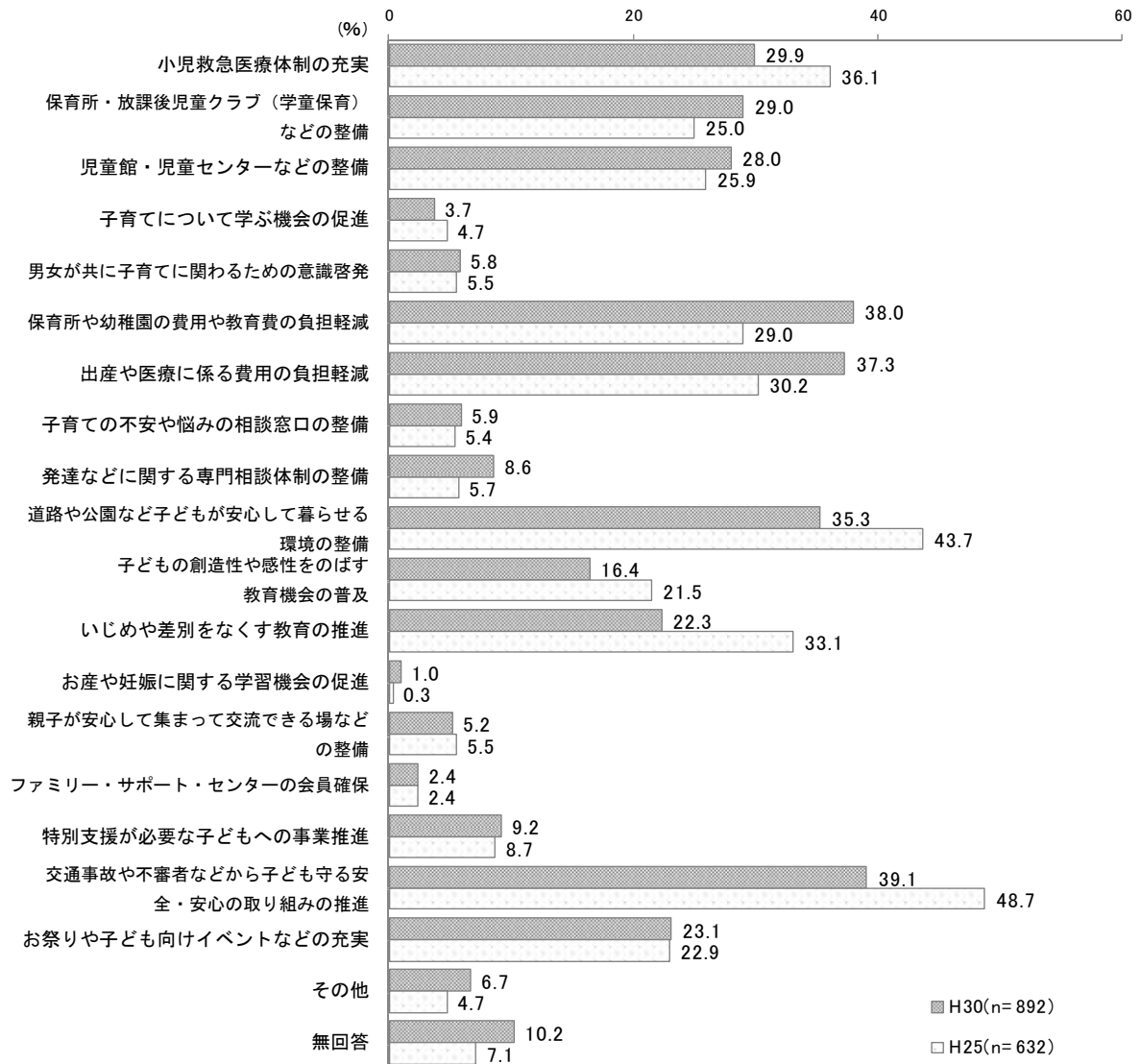


問 22 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと (MA)

「交通事故や不審者などから子どもを守る安全・安心の取り組みの推進」が39.1%と最も多く、次いで「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」が38.0%、「出産や医療に係る費用の負担軽減」が37.3%となっています。

前回調査 (H25) と比べると、「いじめや差別をなくす教育の推進」が10.8ポイント減少しています。

図表 141 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと



問 23 子育ての環境や支援に関してのご意見 (FA)

子育ての環境や支援に関してのご意見について、359 人が回答しています。

主な意見内容等は、以下のとおりです。

主な記述内容	件数
1. 地域における子育て支援（経済的支援、周囲の援助・情報）	57
2. 保育サービスの充実（延長、一時保育、預かりなど）	30
3. 生活環境の整備（交通・遊び場）	79
4. 健康の確保及び増進	23
5. 学校教育環境の整備（学校・幼稚園）	41
6. 職場と家庭の両立	37
7. 医療費の無料化	108
8. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実	93
9. 安全等の確保、不審者・交通事故	46
10. 幼児教育・保育の無償化	13
11. その他	90
合計	617

IV 資料編

以下、単純集計表と調査票を追加